

黒部市総合振興計画策定にかかる

『市民意識調査』

集計結果

平成 18 年 9 月

- 目 次 -

1 . 調査概要	1
1) 調査目的	
2) 調査対象	
3) 調査方法	
4) 調査期間	
5) 回収数及び回収率	
6) 回答者属性	
2 . 集計結果・分析	
1) 黒部市の現状について	8
2) 黒部市の自慢	20
3) 黒部市の嫌いな点や改善すべき点	25
4) 日常生活について	30
5) 市民活動などへの参加状況	31
6) 将来に向けた政策・施策について、力を入れるべき点	33
7) 市政への関心	45
8) 「新市建設計画(概要版)」について	47
9) 市民意見反映について	49
10) 今後の黒部市のまちづくりへの参画について	51
11) 市民の協働によるまちづくりについて	53
12) 行政サービスの維持・充実について	58
13) 黒部市の将来像	60

1 . 調査概要

1) 調査目的

- ・ 総合振興計画は、行政運営の総合的な指針となるもので、様々な分野別計画の基本となるものである。合併後初めてとなる「黒部市総合振興計画」の策定に向け、市民の意向を把握し、計画に反映することを目的とする。

2) 調査対象

- ・ 市内在住の 20 歳以上の方の中から、2,500 人を無作為抽出した。

3) 調査方法

- ・ 郵送による送付・回収（回答は無記名）

4) 調査期間

- ・ 平成 18 年 7 月 4 日（火）～7 月 18 日（火）

5) 回収数及び回収率

- ・ 回収数：1,025 票
- ・ 回収率：41.0%

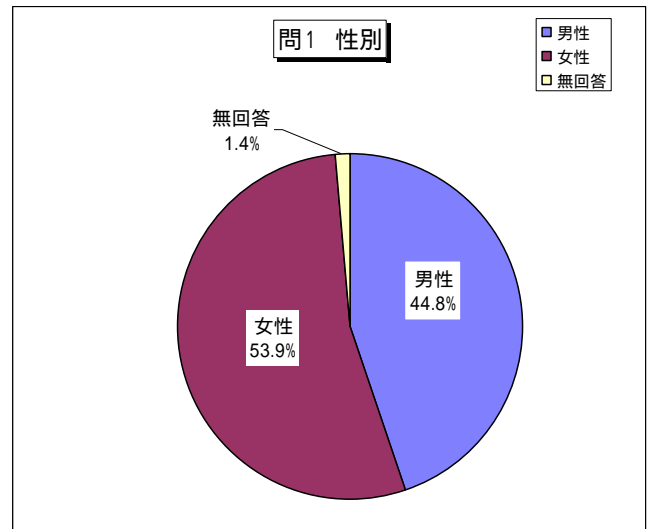
6) 回答者属性

(1) 性別 (問1)

全体傾向

選択項目	人数	構成比
男性	459	44.8%
女性	552	53.9%
無回答	14	1.4%
合計	1,025	100%

・「女性」が「男性」より約9%多い。

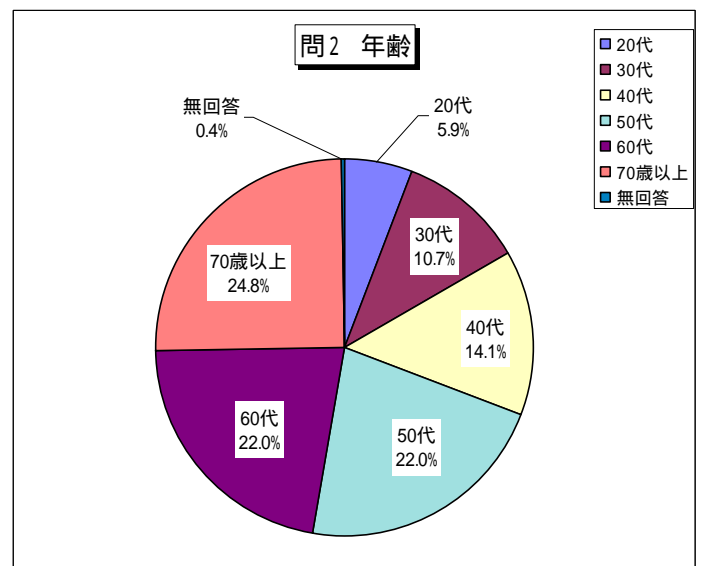


(2) 年齢 (問2)

全体傾向

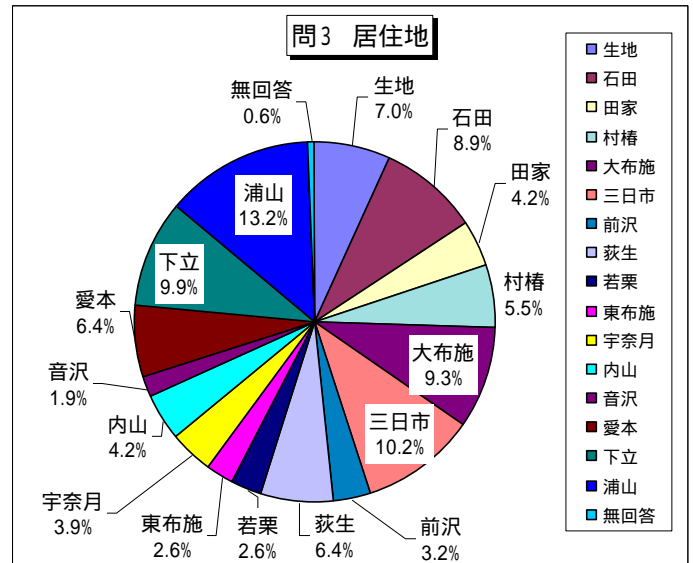
選択項目	人数	構成比
20代	60	5.9%
30代	110	10.7%
40代	145	14.1%
50代	226	22.0%
60代	226	22.0%
70歳以上	254	24.8%
無回答	4	0.4%
合計	1,025	100%

・「70歳以上」が24.8%と最も多く、次いで「50代」「60代」が22.0%である。
50歳以上で68.9%を占めている。



(3) 居住地 (問3)
全体傾向

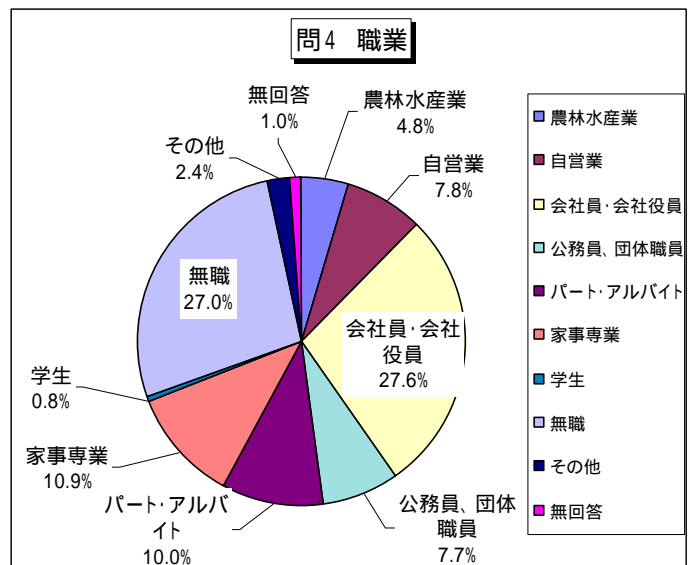
選択項目	人数	構成比
生地	72	7.0%
石田	91	8.9%
田家	43	4.2%
村椿	56	5.5%
大布施	95	9.3%
三日市	105	10.2%
前沢	33	3.2%
荻生	66	6.4%
若栗	27	2.6%
東布施	27	2.6%
宇奈月	40	3.9%
内山	43	4.2%
音沢	19	1.9%
愛本	66	6.4%
下立	101	9.9%
浦山	135	13.2%
無回答	6	0.6%
合計	1,025	100%



・旧黒部地域が 60%、旧宇奈月地域が 40%である。

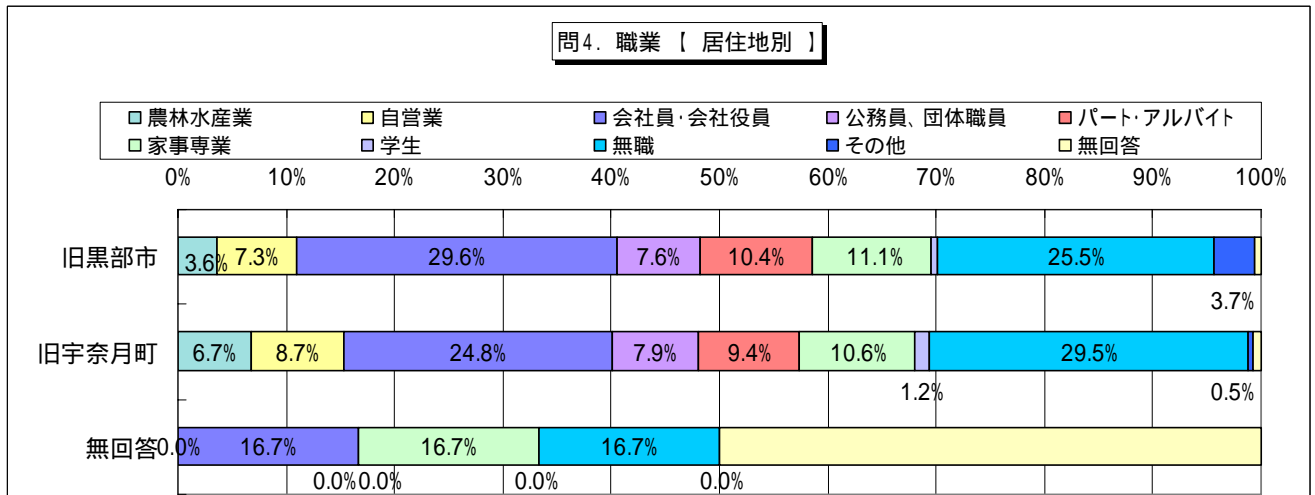
(4) 職業 (問4)
全体傾向

選択項目	人数	構成比
農林水産業	49	4.8%
自営業	80	7.8%
会社員・会社役員	283	27.6%
公務員、団体職員	79	7.7%
パート・アルバイト	102	10.0%
家事専業	112	10.9%
学生	8	0.8%
無職	277	27.0%
その他	25	2.4%
無回答	10	1.0%
合計	1,025	100%



・「会社員・会社役員」が 27.6%と最も多く、次いで「無職」が 27.0%である。

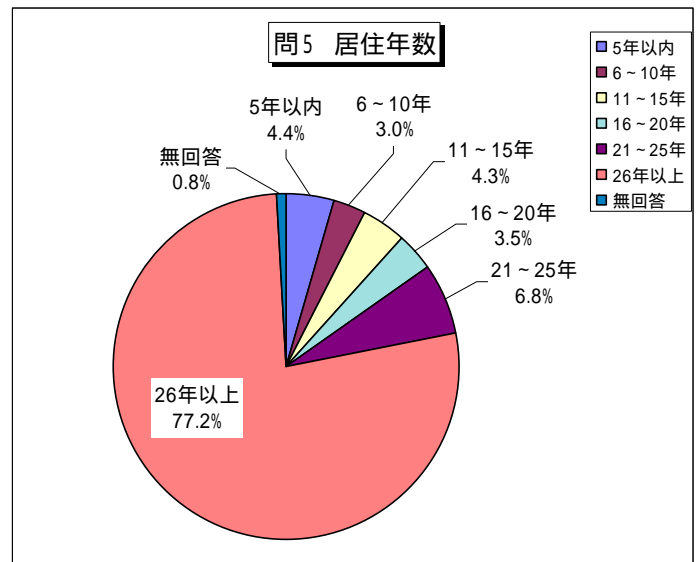
居住地別傾向



・旧黒部市は、「会社員・会社役員」が29.6%と最も多いのに対し、旧宇奈月町は、「無職」が29.5%と最も多い。

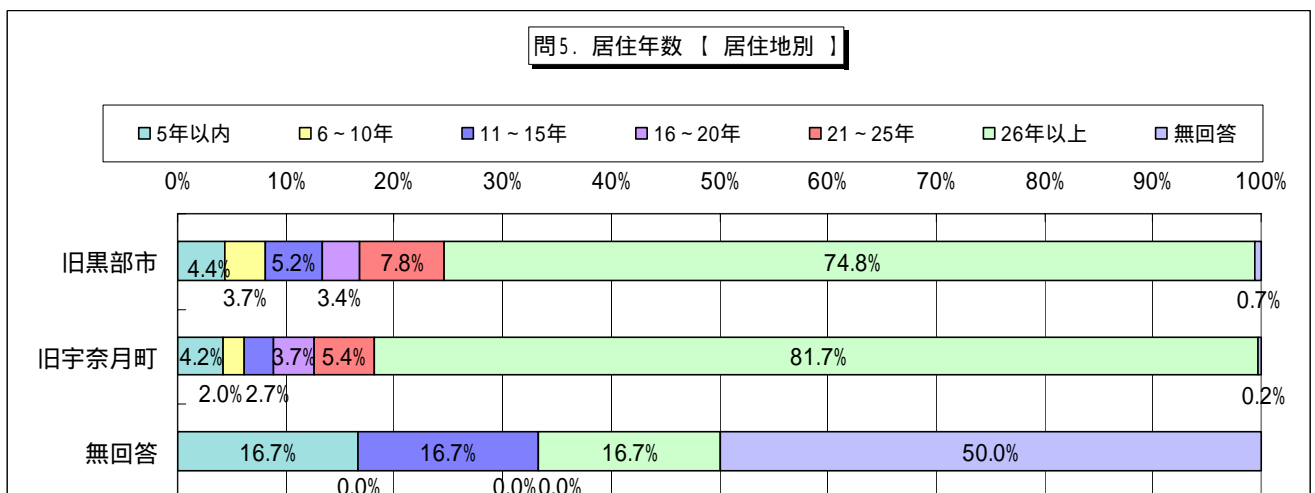
(5) 居住年数 (問5) 全体傾向

選択項目	人数	構成比
5年以内	45	4.4%
6～10年	31	3.0%
11～15年	44	4.3%
16～20年	36	3.5%
21～25年	70	6.8%
26年以上	791	77.2%
無回答	8	0.8%
合計	1,025	100%



・定住年数が「26年以上」が77.2%である。

居住地別傾向



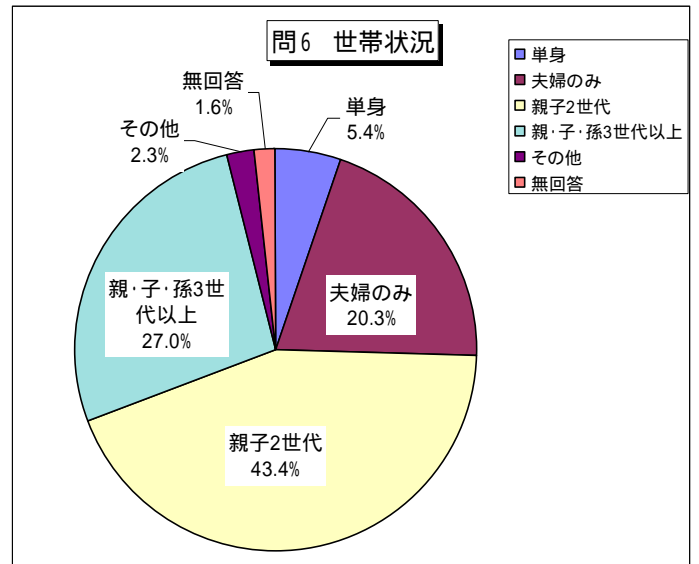
・旧黒部市、旧宇奈月町ともに、定住年数が「26年以上」がそれぞれ74.8%、81.7%と最も多い。

(6) 世帯状況 (問6)

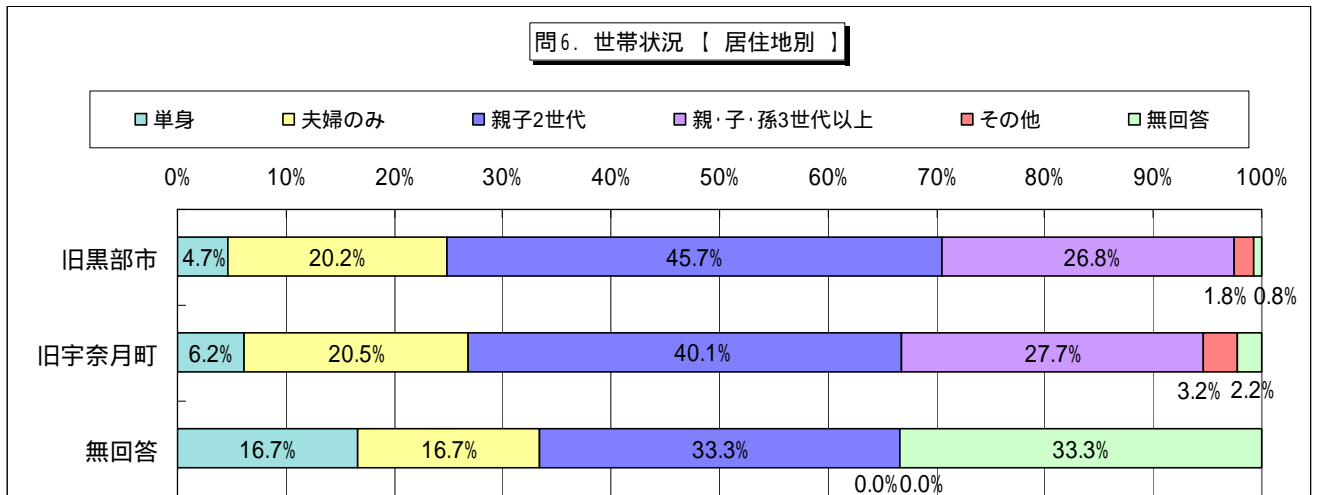
全体傾向

選択項目	人数	構成比
単身	55	5.4%
夫婦のみ	208	20.3%
親子2世代	445	43.4%
親・子・孫3世代以上	277	27.0%
その他	24	2.3%
無回答	16	1.6%
合計	1,025	100%

- ・「親子2世代」が43.4%と最も多く、次いで「親・子・孫3世代以上」が27.0%である。



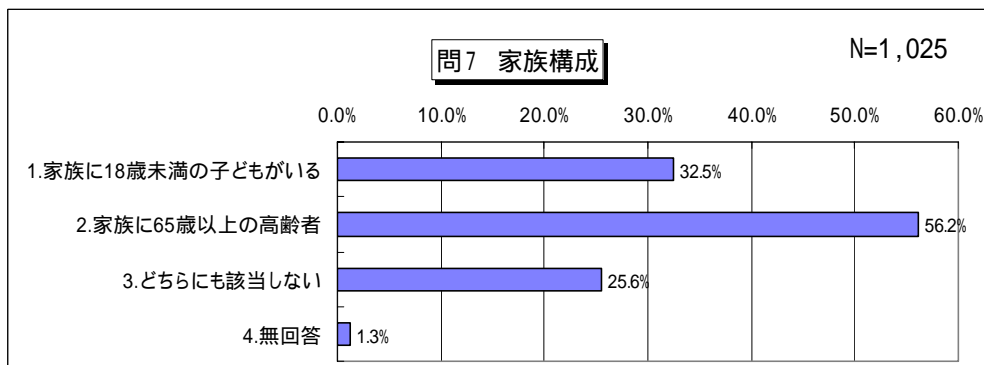
居住地別傾向



- ・旧黒部市、旧宇奈月町ともに、「親子2世代」が最も多く、次いで「親・子・孫3世代以上」、「夫婦のみ」の順となっている。

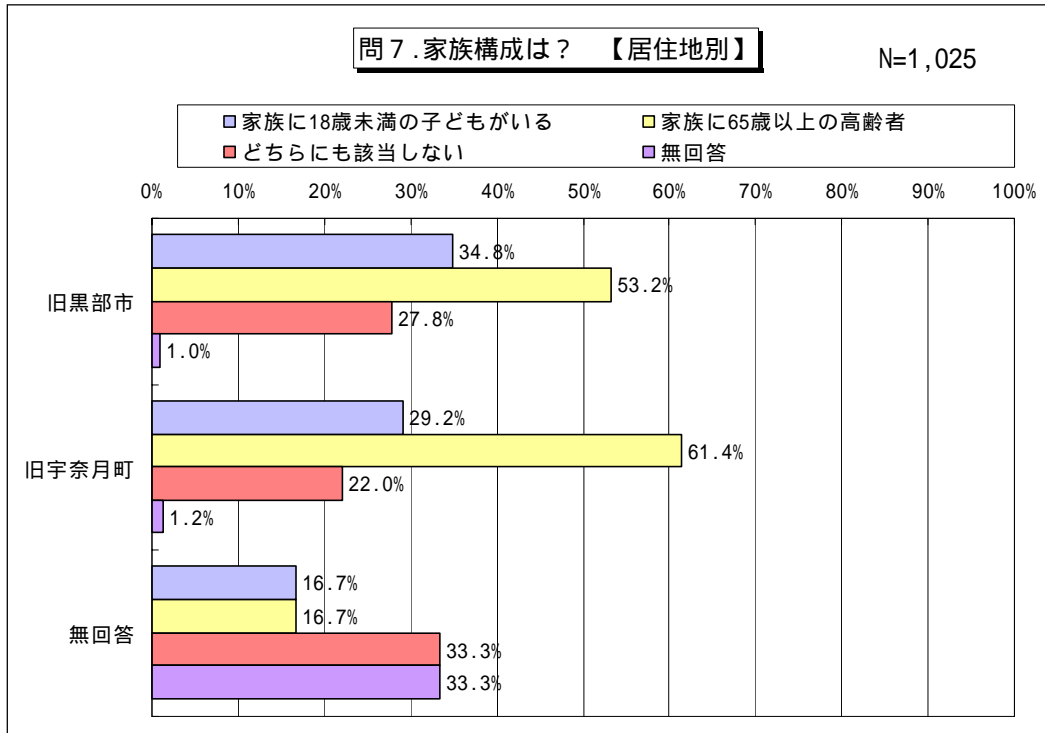
(7) 家族構成 (問7)

全体傾向



- ・「65歳以上の高齢者がいる」家族が、56.2%と半数を超えている。
- ・「18歳未満の子どもがいる」家族が、32.5%である。

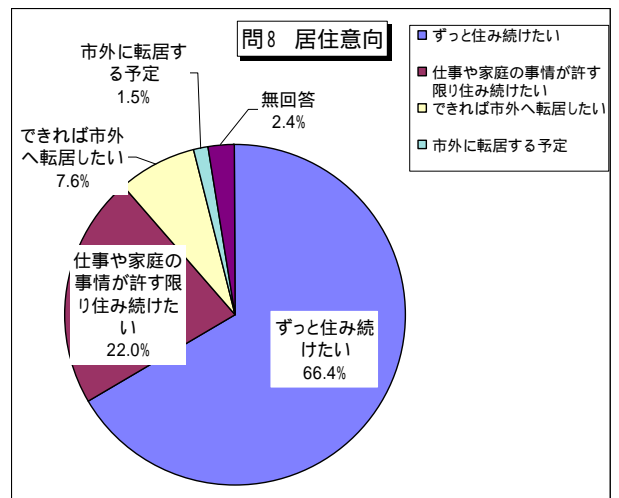
居住地別傾向



- ・旧黒部市、旧宇奈月町ともに「65歳以上の高齢者がいる」家族が、半数を超えている。特に旧宇奈月町では、61.4%と旧黒部市より高齢化が進行している。

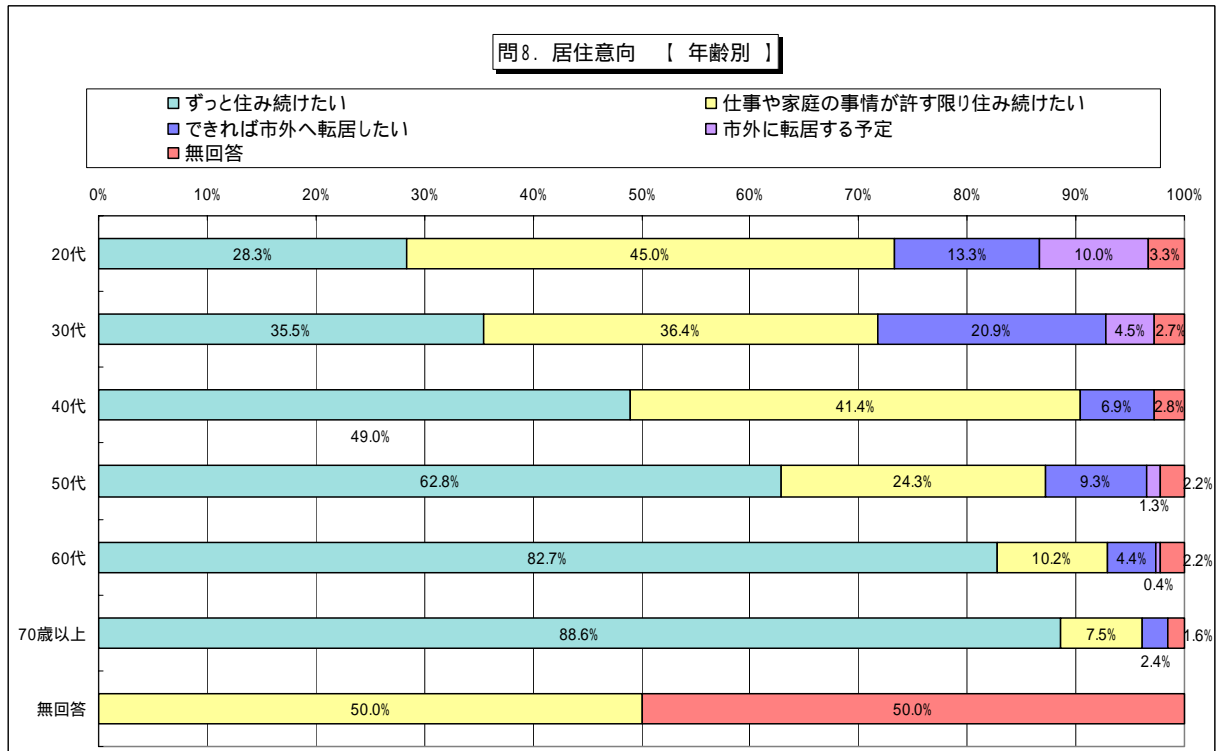
(8) 居住意向 (問8)
全体傾向

選択項目	人数	構成比
ずっと住み続けたい	681	66.4%
仕事や家庭の事情が許す限り住み続けたい	226	22.0%
できれば市外へ転居したい	78	7.6%
市外に転居する予定	15	1.5%
無回答	25	2.4%
合計	1,025	100%



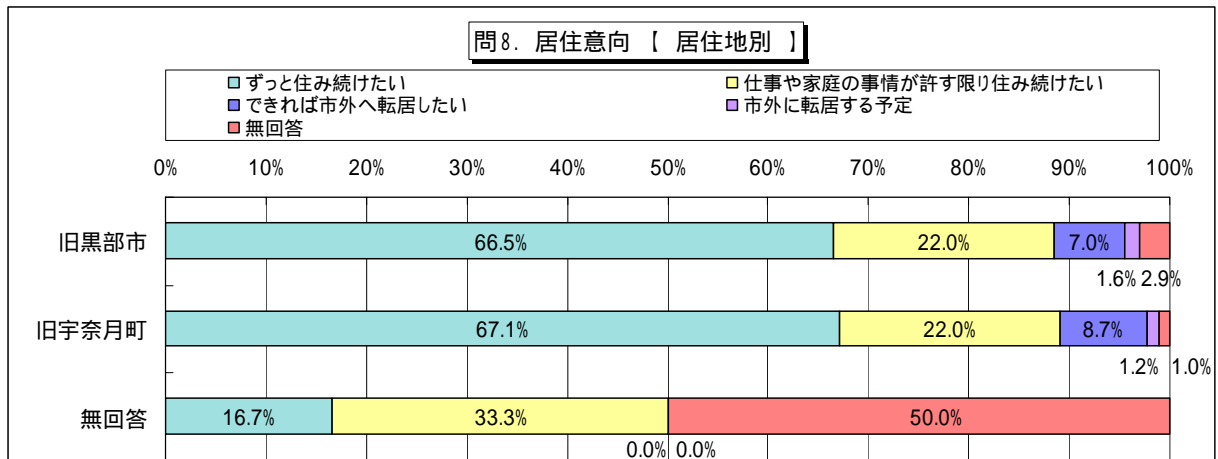
- ・「ずっとすみ続けたい」が66.4%と最も多く、次いで多い「仕事や家庭の事情が許す限りすみ続けたい」が22.0%と、あわせると居住意向を持つ人は全体の88.4%である。

年齢別傾向



- ・「ずっとすみ続けたい」と「仕事や家庭の事情が許す限りすみ続けたい」を合わせると、40代以上では87.1%～96.1%が居住意向を持っているが、20代、30代ではそれぞれ73.3%、71.9%と、1割以上低くなっている。

居住地別傾向



- ・旧黒部市、旧宇奈月町ともに「ずっとすみ続けたい」と「仕事や家庭の事情が許す限りすみ続けたい」を合わせるとそれぞれ88.5%、89.1%と、全体の約9割が居住意向を持っている。

2. 単純集計結果・分析

1) 黒部市の現状について (問9)

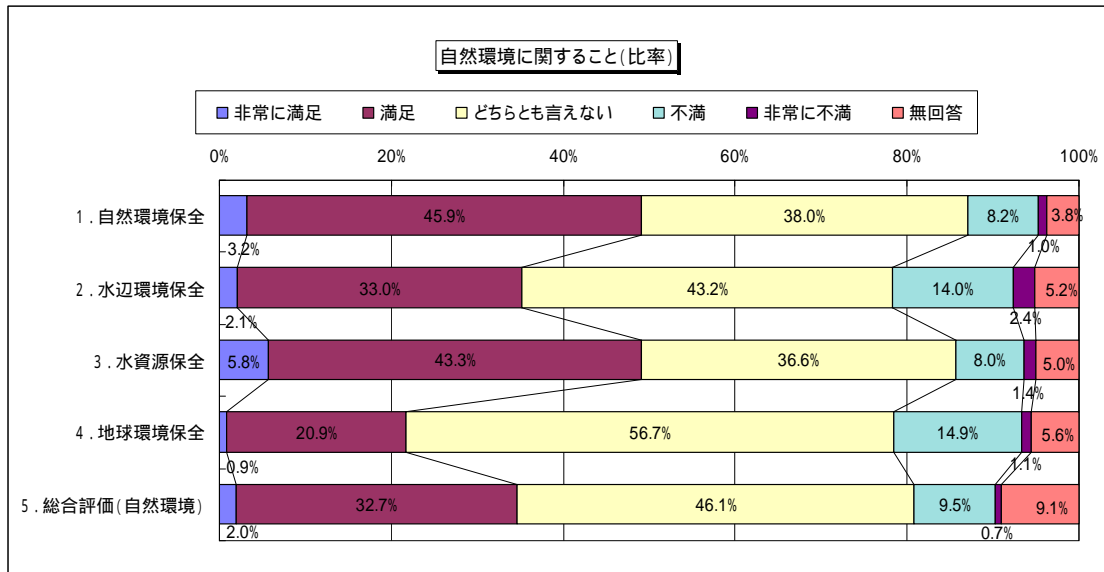
(1) 比率による評価

全体傾向

- ・非常に満足と満足をあわせると、「13. 上下水道の整備」(50.9%)が最も多く満足度が高い。次いで「1. 自然環境の保全」(49.1)及び「3. 水資源の保全」(49.1)となっている。
- ・非常に不満と不満をあわせると、「12. 公共交通機関の充実」(39.0%)が最も多く満足度が低い。次いで「11. 道路網の整備」(32.7%)、「9. 雇用機会の創出」(30.7%)となっている。

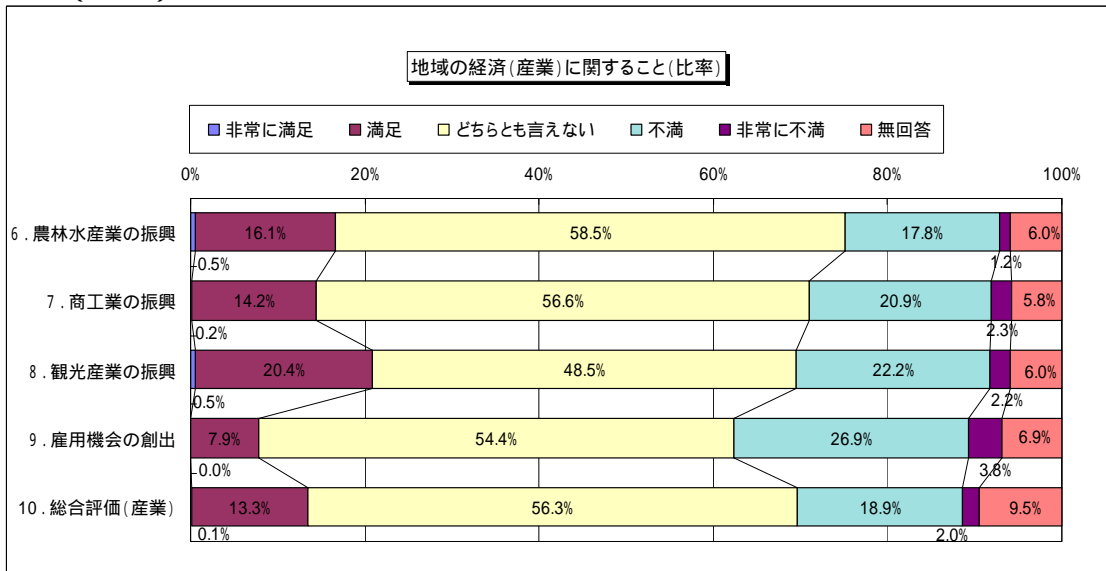
分野別傾向

自然環境



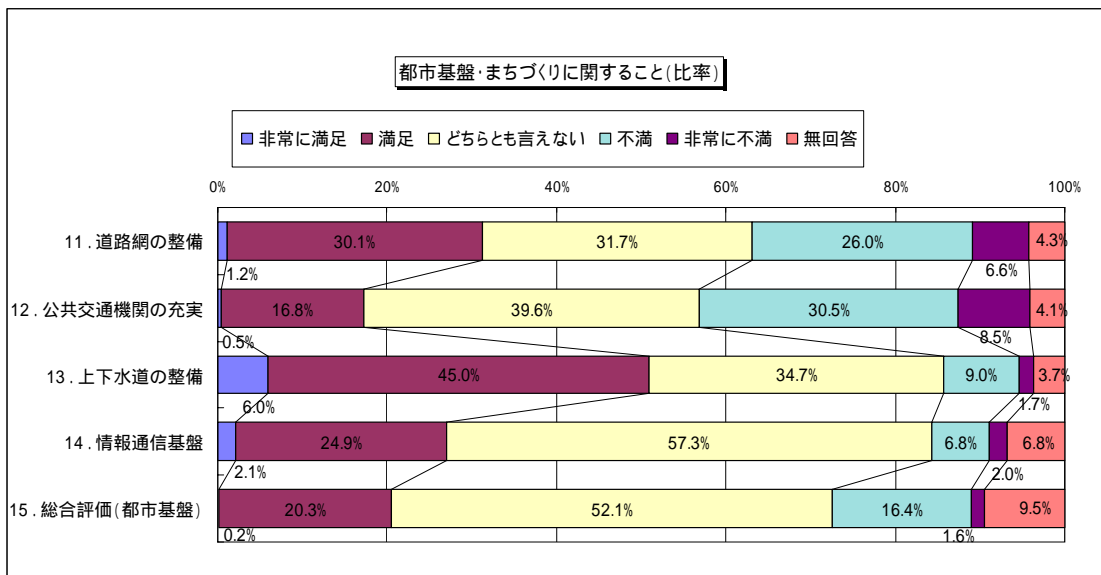
- ・「1. 自然環境の保全」及び「3. 水資源の保全」は、非常に満足と満足をあわせると 49.1%と、約半数の人が満足に感じている。
- ・「5. 総合評価(自然環境)」は、非常に満足と満足をあわせると 34.7%と、約 1/3 の人が満足に感じている。

地域経済（産業）



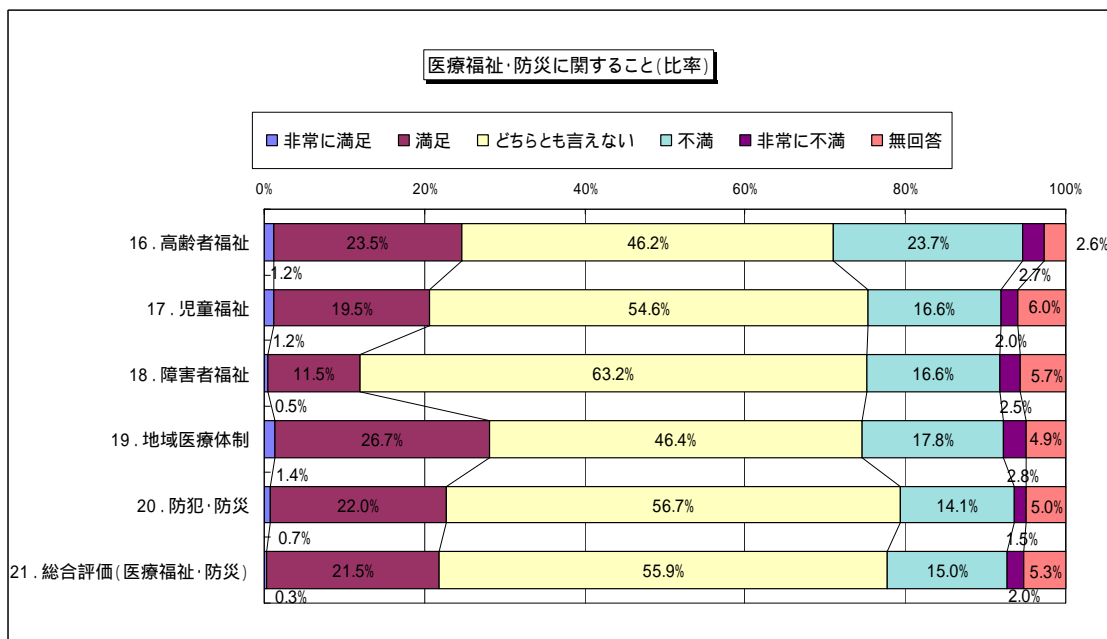
- ・全ての項目において、非常に満足と満足の合計（以下、満足に感じている人）よりも、非常に不満と不満の合計（以下、不満に感じている人）が多い。
- ・特に、「9.雇用機会の創出」については、不満に感じている人が3割である。
- ・「10.総合評価（産業）」についても、満足に感じている人が13.4%であるのに対し、不満に感じている人が20.9%と多い。

都市基盤・まちづくり



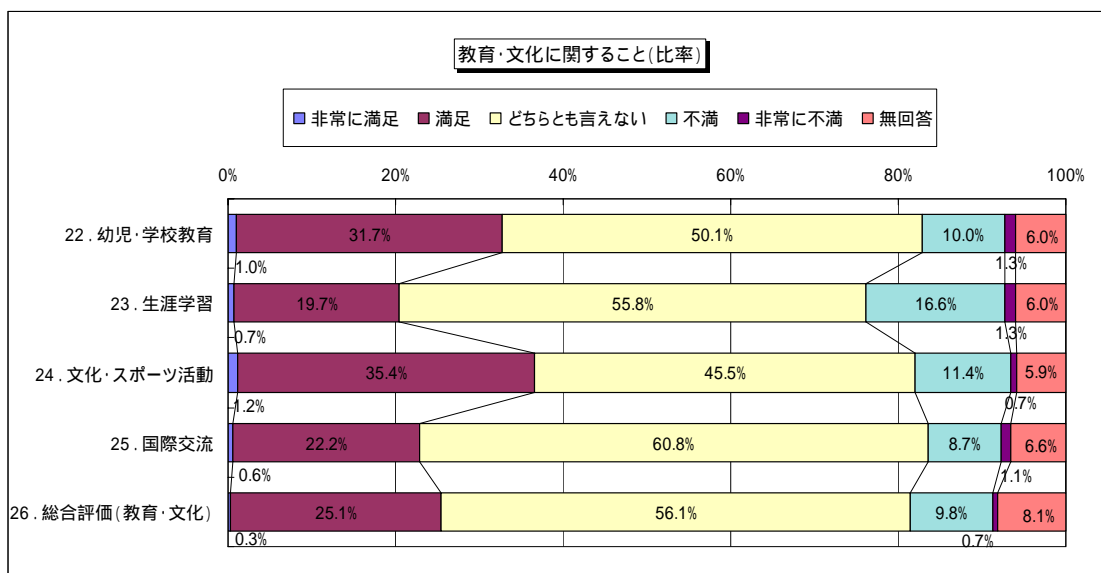
- ・「13.上下水道の整備」について、満足に感じている人が51.0%と半数を超え、最も高い。
- ・「11.道路網の整備」及び「12.公共交通機関の充実」については、不満に感じている人がそれぞれ32.6%、39.0%と満足に感じている人を上回っている。
- ・「15.総合評価（都市基盤）」については、満足に感じている人が20.5%、不満に感じている人が18.0%と、満足している人の方が多い。

医療福祉・防災



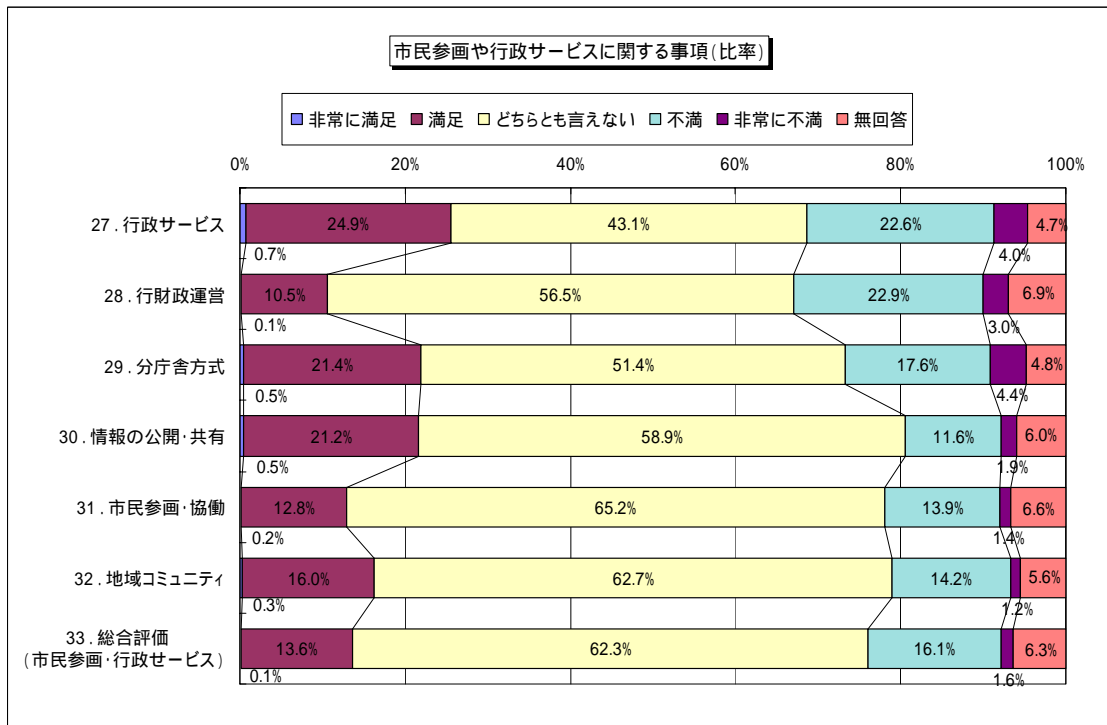
- ・「19.地域医療体制」について、満足に感じている人が28.1%と最も高い。
- ・「16.高齢者福祉」及び「18.障害者福祉」については、不満に感じている人がそれぞれ26.4%、19.1%と満足に感じている人を上回っている。
- ・「21.総合評価(医療福祉・防災)」については、満足に感じている人が21.8%、不満に感じている人が17.0%と、満足している人の方が多い。

教育・文化



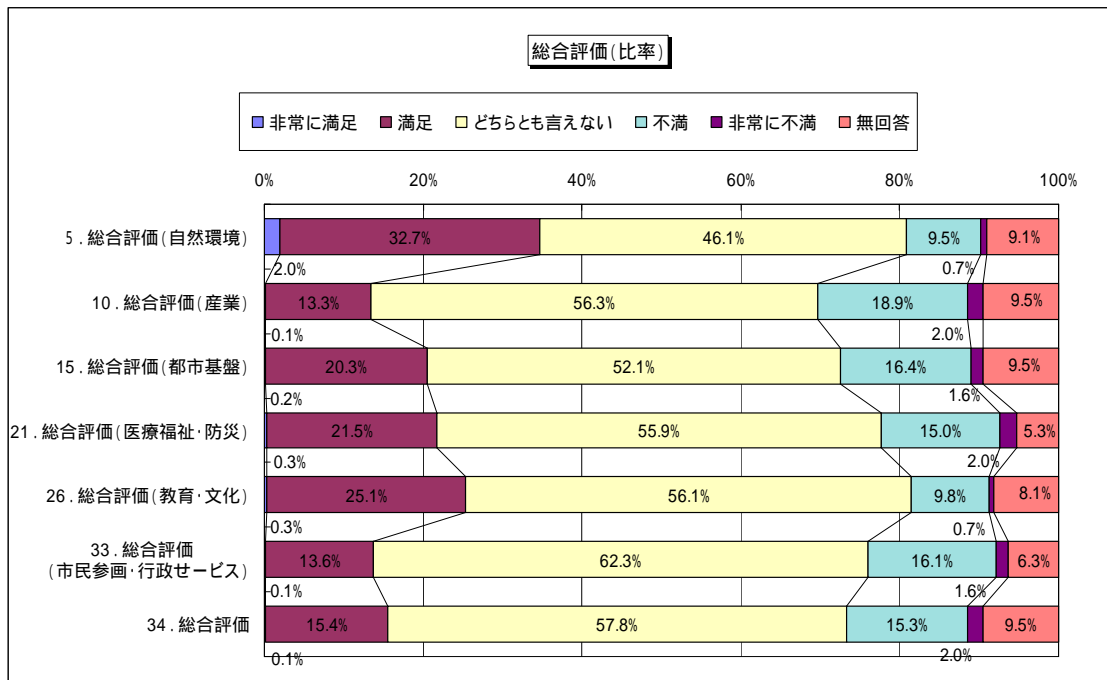
- ・「22.幼児・学校教育」及び「24.文化・スポーツ活動」については、満足と感じている人がそれぞれ32.7%、36.6%と他項目と比較すると多い。
- ・「26.総合評価(教育・文化)」については、満足に感じている人が25.4%、不満に感じている人が10.5%と、満足している人の方が多い。

市民参画や行政サービス



- ・「27.行政サービス」、「29.分庁舎方式」及び「30.情報の公開・共有」については、満足と感じている人がそれぞれ25.6%、21.9%、21.7と、他項目より多い。
- ・「28.行財政運営」について、満足に感じている人は10.6%と少ない。
- ・「33.総合評価(市民参画・行政サービス)」については、満足に感じている人が13.7%、不満に感じている人が17.7%と、満足していない人の方が多い。

施策に対する総合評価



- ・「5.総合評価(自然環境)」について満足と感じている人が34.7%と、最も多い。
- ・「10.総合評価(産業)」及び「33.総合評価(市民参画・行政サービス)」については、満足に感じている人(13.4%、13.7%)より、不満に感じている人(21.9%、17.7%)が多い。
- ・「34.総合評価」については、満足に感じている人が15.5%、不満に感じている人が17.3%と、満足していない人の方が多い。

(2) 点数化による評価

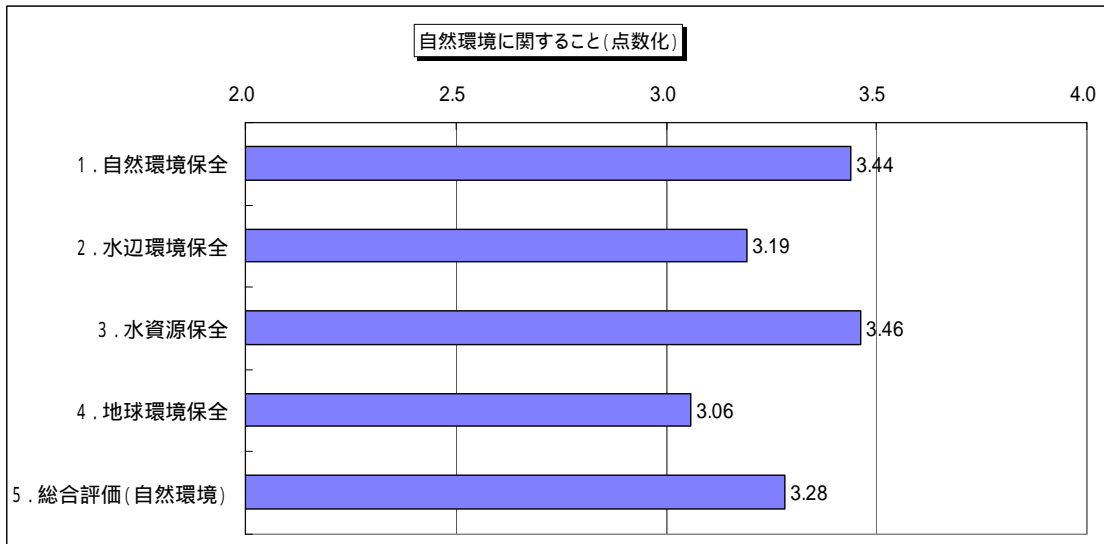
非常に満足5点、満足4点、どちらとも言えない3点、不満2点、非常に不満1点とし平均値を満足度とした。

全体動向

順位	項目	分野	満足度
1	3. 水資源保全	自然環境	3.46
	13. 上下水道の整備	都市基盤・まちづくり	3.46
3	1. 自然環境保全	自然環境	3.44
4	24. 文化・スポーツ活動	教育・文化	3.27
5	22. 幼児・学校教育	教育・文化	3.23
6	14. 情報通信基盤	都市基盤・まちづくり	3.20
7	2. 水辺環境保全	自然環境	3.19
8	25. 国際交流	教育・文化	3.13
9	30. 情報の公開・共有	市民参画・行政サービス	3.07
	20. 防犯・防災	医療福祉・防災	3.07
11	19. 地域医療体制	医療福祉・防災	3.06
12	4. 地球環境保全	自然環境	3.06
13	23. 生涯学習	教育・文化	3.02
14	17. 児童福祉	医療福祉・防災	3.01
15	32. 地域コミュニティ	市民参画・行政サービス	3.00
16	6. 農林水産業に関すること	地域経済(産業)	2.97
	16. 高齢者福祉	医療福祉・防災	2.97
18	31. 市民参画・協働	市民参画・行政サービス	2.96
	29. 分庁舎方式	市民参画・行政サービス	2.96
20	27. 行政サービス	市民参画・行政サービス	2.95
	8. 観光商業の振興	地域経済(産業)	2.95
22	11. 道路網の整備	都市基盤・まちづくり	2.93
23	18. 障害者福祉	医療福祉・防災	2.90
24	7. 商工業の振興	地域経済(産業)	2.88
25	28. 行財政運営	市民参画・行政サービス	2.80
26	9. 雇用機会の創出	地域経済(産業)	2.71
27	12. 公共交通機関の充実	都市基盤・まちづくり	2.69

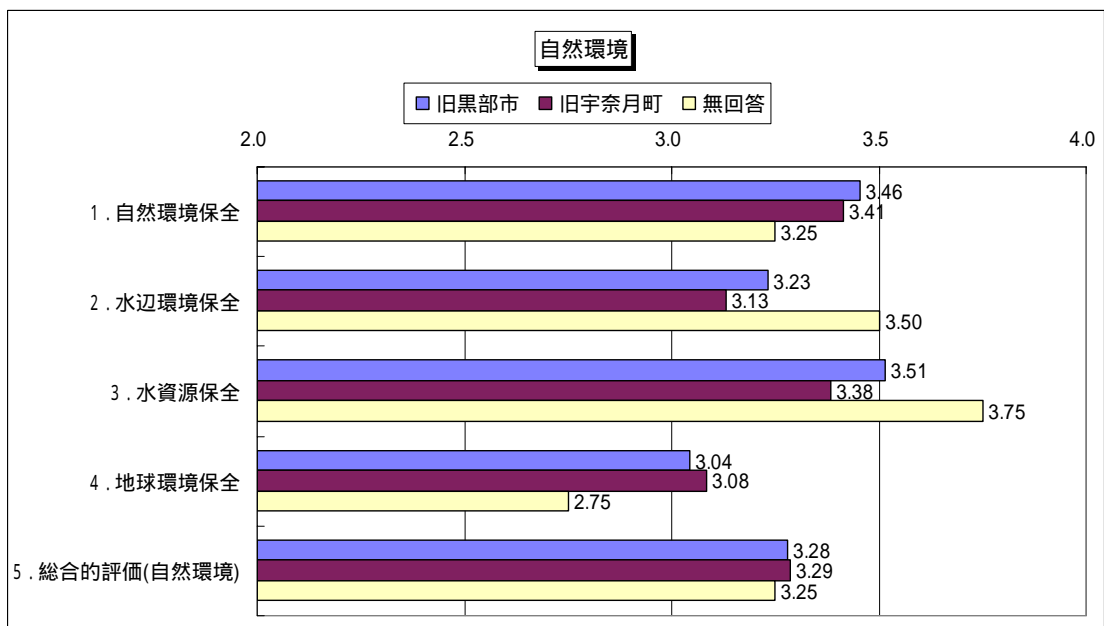
- ・「3.水資源保全」「1.自然環境保全」「2.水辺環境保全」などの自然環境に関する満足度や、「13.上下水道の整備」「14.情報通信基盤」などの都市基盤・まちづくりに関する満足度、及び、「24.文化・スポーツ活動」「22.幼児・学校教育」「25.国際交流」などの教育・文化に関する満足度が高い。
- ・「12.公共交通機関の充実」「11.道路網の整備」などの都市基盤・まちづくりに関する満足度や、「9.雇用機会の創出」「7.商工業の振興」「8.観光商業の振興」などの地域経済(産業)に関する満足度、「28.行財政運営」「27.行政サービス」「29.分庁舎方式」「31.市民参画・協働」などの市民参画・行政サービスに関する満足度、及び、「18.障害者福祉」などの医療福祉・防災に関する満足度が低い。

自然環境
分野別傾向



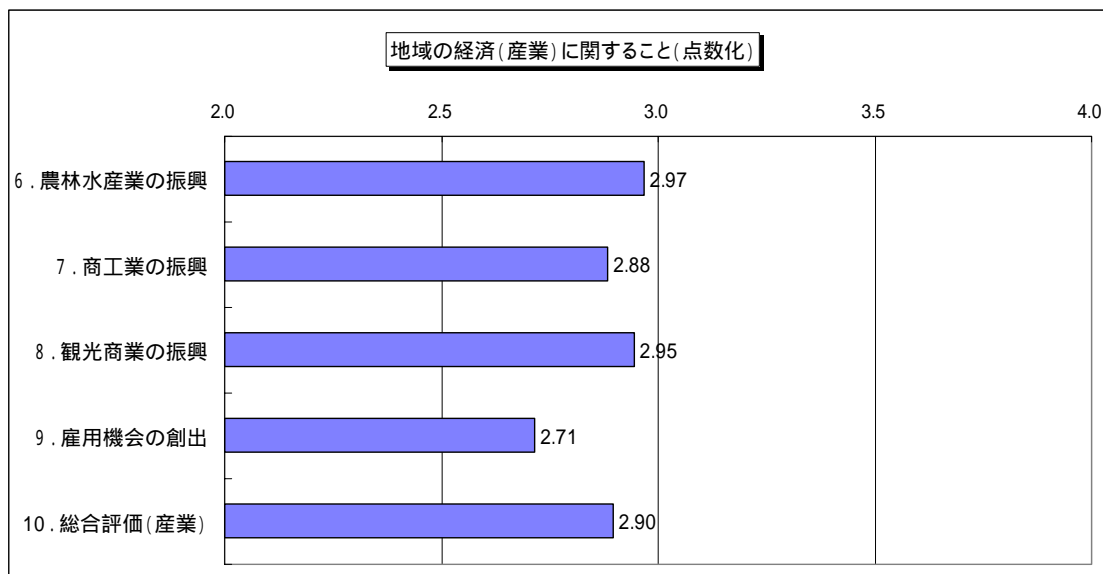
- ・「3.水資源保全」及び「1.自然環境保全」の満足度は、それぞれ 3.46 点、3.44 点と、「5.総合評価(自然環境)」の満足度より高い。

居住地別傾向



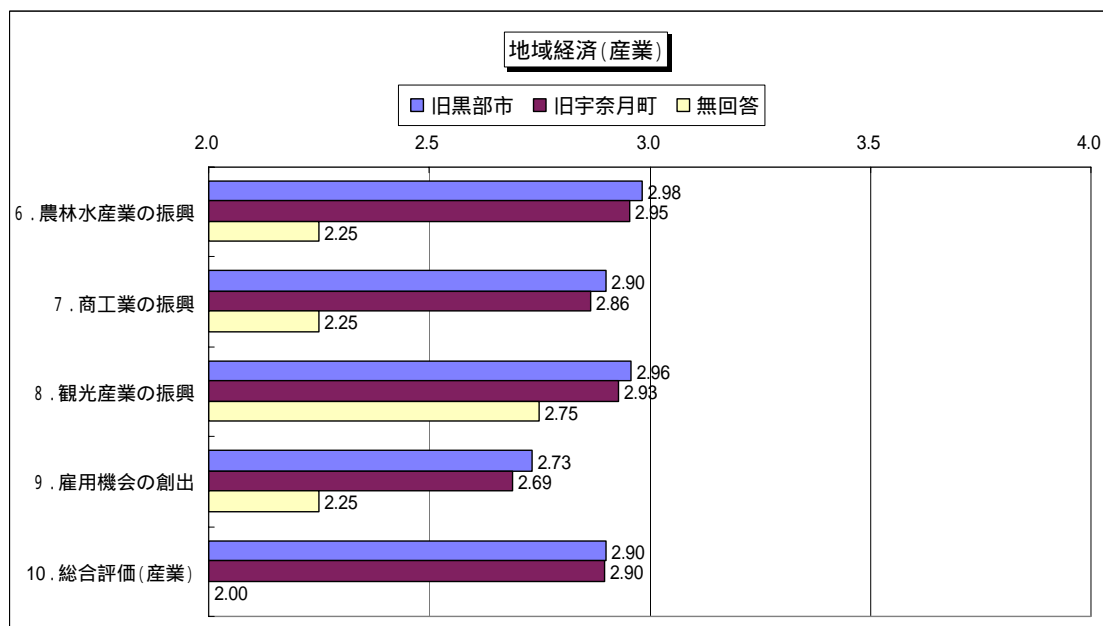
- ・旧黒部市は、「3.水資源保全」の満足度(3.51)が最も高く、次いで「1.自然環境保全」(3.46)「2.水辺環境保全」(3.23)の順となっている。
- ・旧宇奈月町は、「1.自然環境保全」の満足度(3.41)が最も高く、次いで「3.水資源保全」(2.93)「2.水辺環境保全」(3.13)の順となっている。

地域経済（産業）
分野別傾向



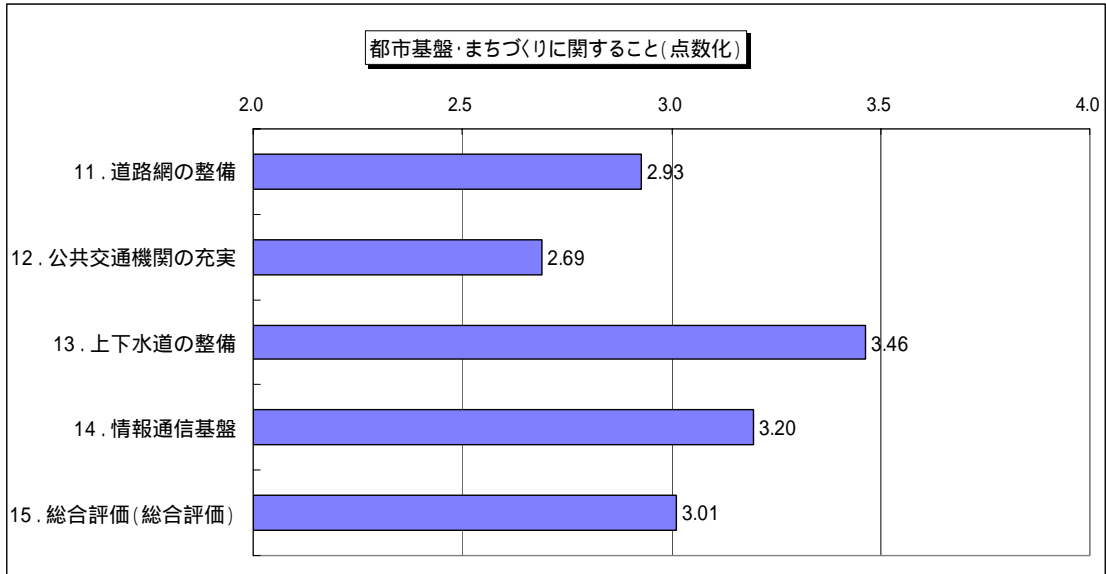
- ・「6. 農林水産業の振興」及び「8. 観光商業の振興」の満足度は、それぞれ 2.97 点、2.95 点と、「10. 総合評価（産業）」の満足度より高い。
- ・他分野と比較すると、全体的に満足度が低い。

居住地別傾向



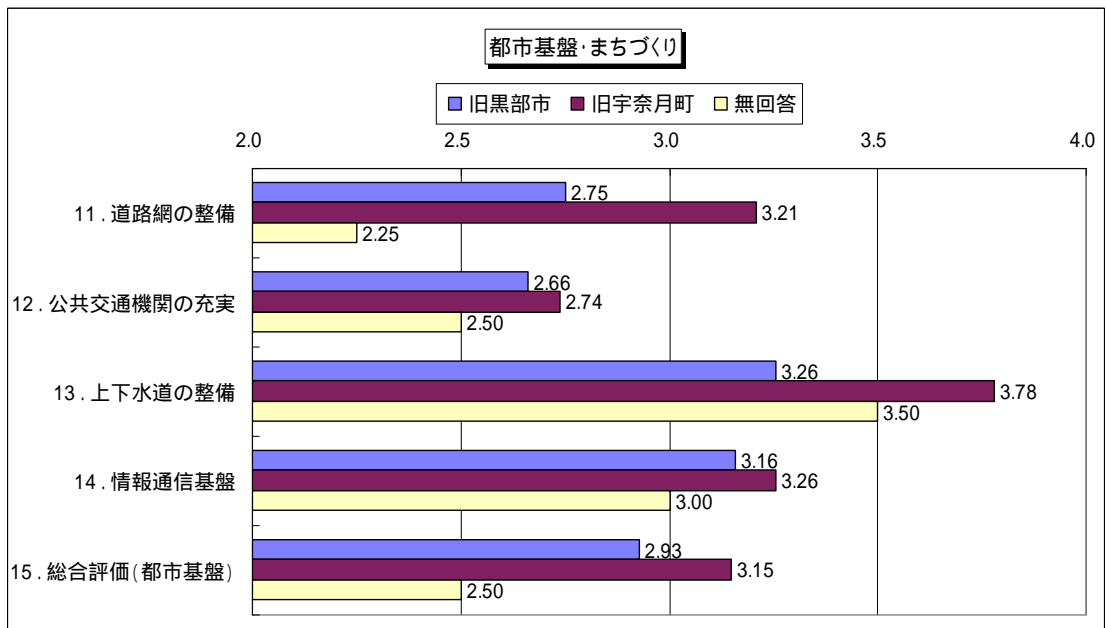
- ・旧黒部市は、「6. 農林水産業の振興」の満足度（2.98）が最も高く、次いで「8. 観光産業の振興」（2.90）「7. 商工業の振興」（2.90）の順となっている。
- ・旧宇奈月町は、「6. 農林水産業の振興」の満足度（2.95）が最も高く、次いで「8. 観光産業の振興」（2.93）「7. 商工業の振興」（2.86）の順となっている。
- ・他分野と比較すると、全体的に満足度が低い。

都市基盤・まちづくり
分野別傾向



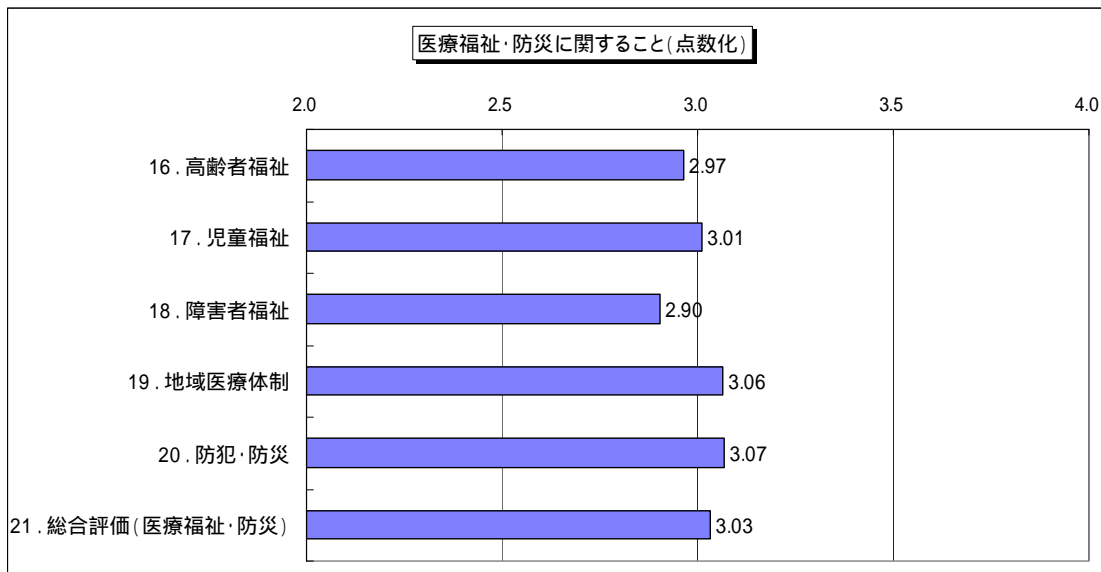
- ・「13.上下水道の整備」及び「14.情報通信基盤」の満足度は、それぞれ3.46点、3.20点と、「15.総合評価(都市基盤)」の満足度より高い。

居住地別傾向



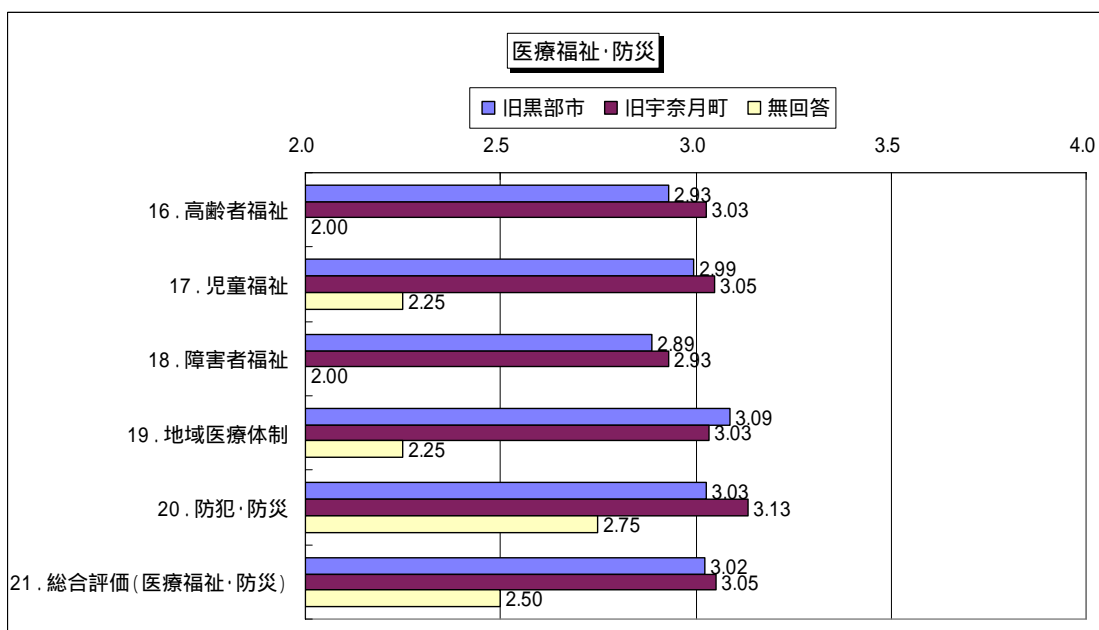
- ・旧黒部市は、「13.上下水道の整備」の満足度(3.26)が最も高く、次いで「14.情報通信基盤」(3.16)「11.道路網の整備」(2.75)の順となっている。
- ・旧宇奈月町は、「13.上下水道の整備」の満足度(3.78)が最も高く、次いで「14.情報通信基盤」(3.26)「11.道路網の整備」(3.21)の順となっている。
- ・都市基盤・まちづくり分野では、旧黒部市より旧宇奈月町の満足度が高く、特に、「11.道路網の整備」「13.上下水道の整備」については、旧宇奈月町がそれぞれ0.46、0.52点上まわっている。

医療福祉・防災
分野別傾向



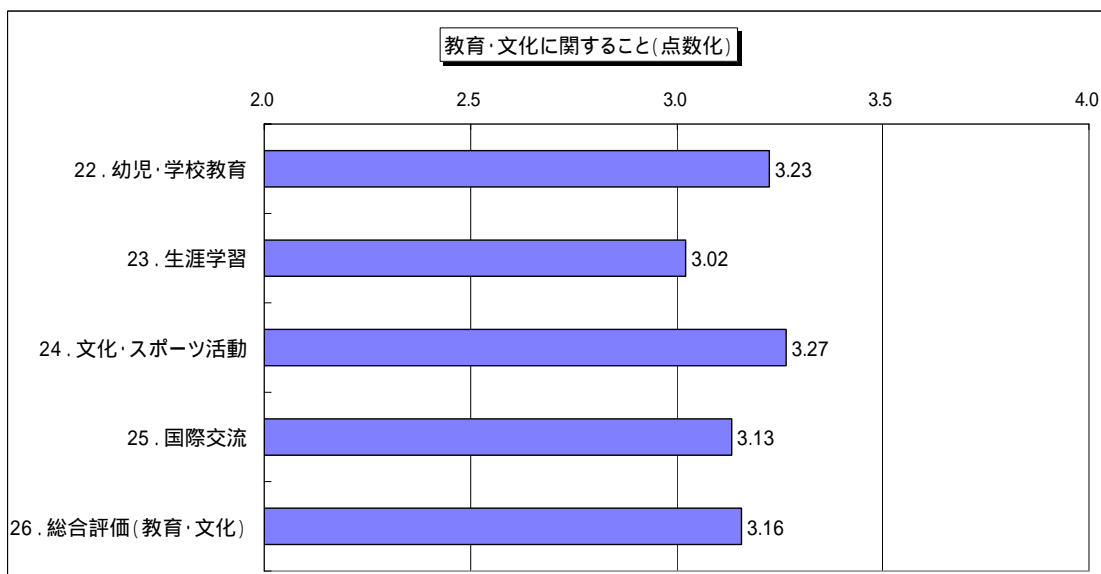
- ・「19.地域医療体制」及び「20.防犯・防災」の満足度は、それぞれ3.06点、3.07点と、「21.総合評価(医療福祉・防災)」の満足度より高い。

居住地別傾向



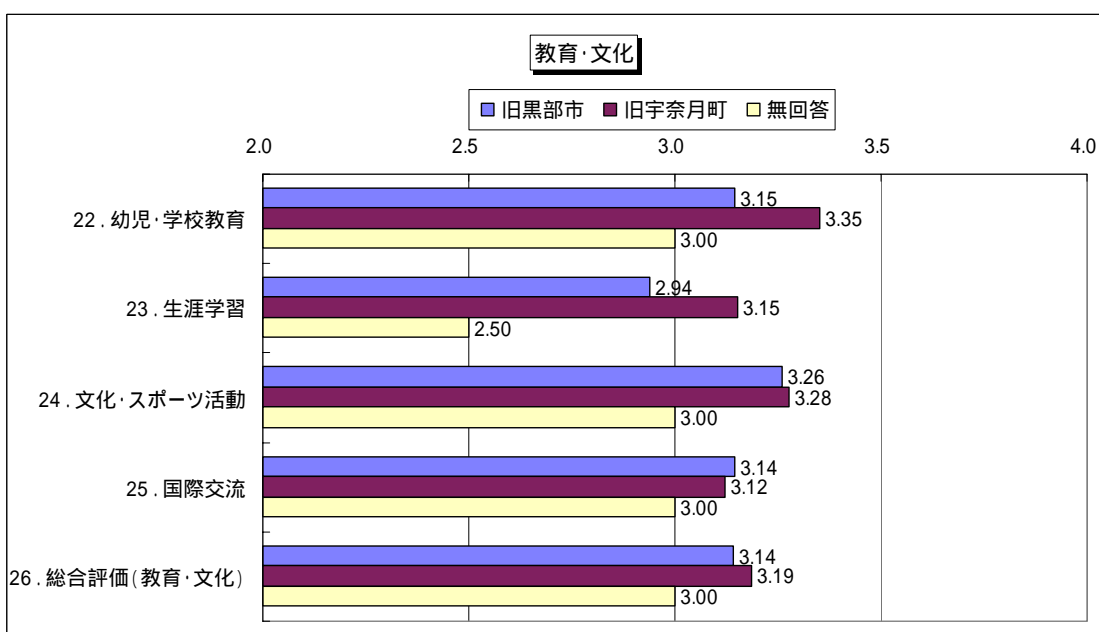
- ・旧黒部市は、「19.地域医療体制」の満足度(3.09)が最も高く、次いで「20.防犯・防災」(3.03)「17.児童福祉」(2.99)の順となっている。
- ・旧宇奈月町は、「19.地域医療体制」の満足度(3.13)が最も高く、次いで「17.児童福祉」(3.05)「16.高齢者福祉」(3.03)「19.地域医療体制」(3.03)の順となっている。

教育・文化
分野別傾向



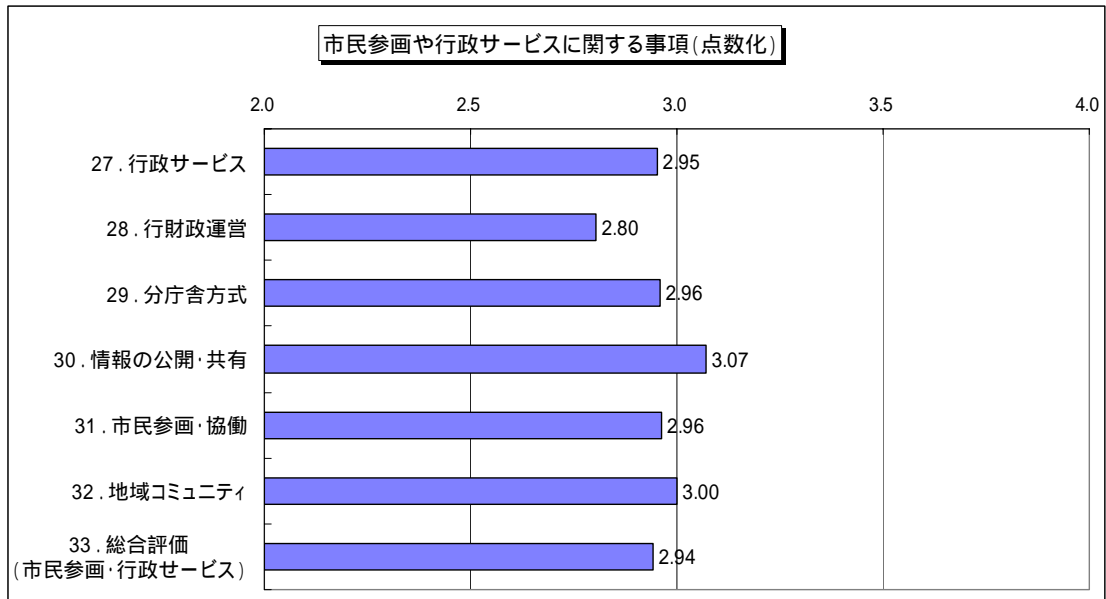
- ・「22. 幼児・学校教育」及び「24. 文化・スポーツ活動」の満足度は、それぞれ 3.23 点、3.27 点と、「26. 総合評価(教育・文化)」の満足度より高い。

居住地別傾向



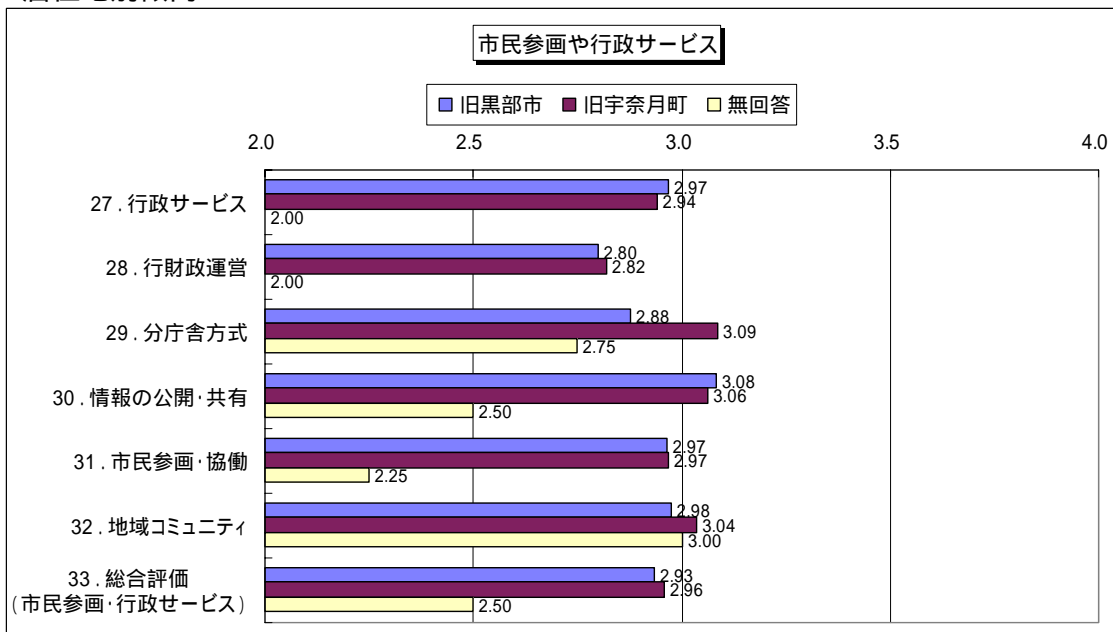
- ・旧黒部市は、「24. 文化・スポーツ活動」の満足度(3.26)が最も高く、次いで「22. 幼児・学校教育」(3.15)「25. 国際交流」(3.14)の順となっている。
- ・旧宇奈月町は、「22. 幼児・学校教育」の満足度(3.35)が最も高く、次いで「24. 文化・スポーツ活動」(3.28)「23. 生涯学習」(3.15)の順となっている。

市民参画や行政サービス 分野別傾向



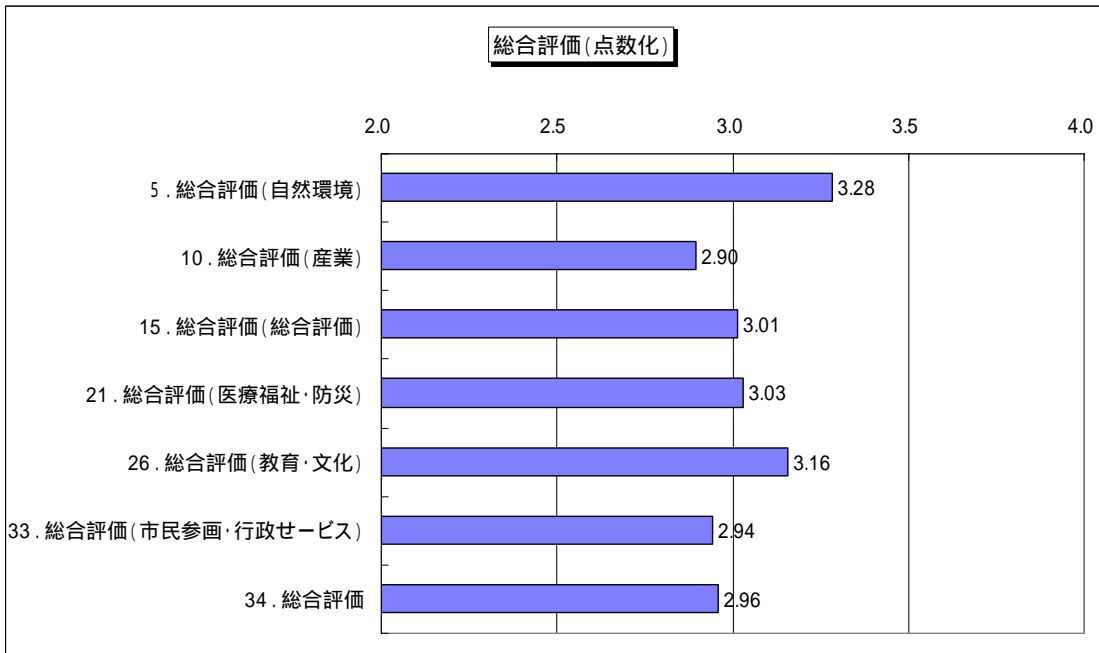
- ・「30.情報の公開・共有」の満足度は、3.07点と高い。
- ・他分野と比較すると、全体的に満足度が低い。

居住地別傾向



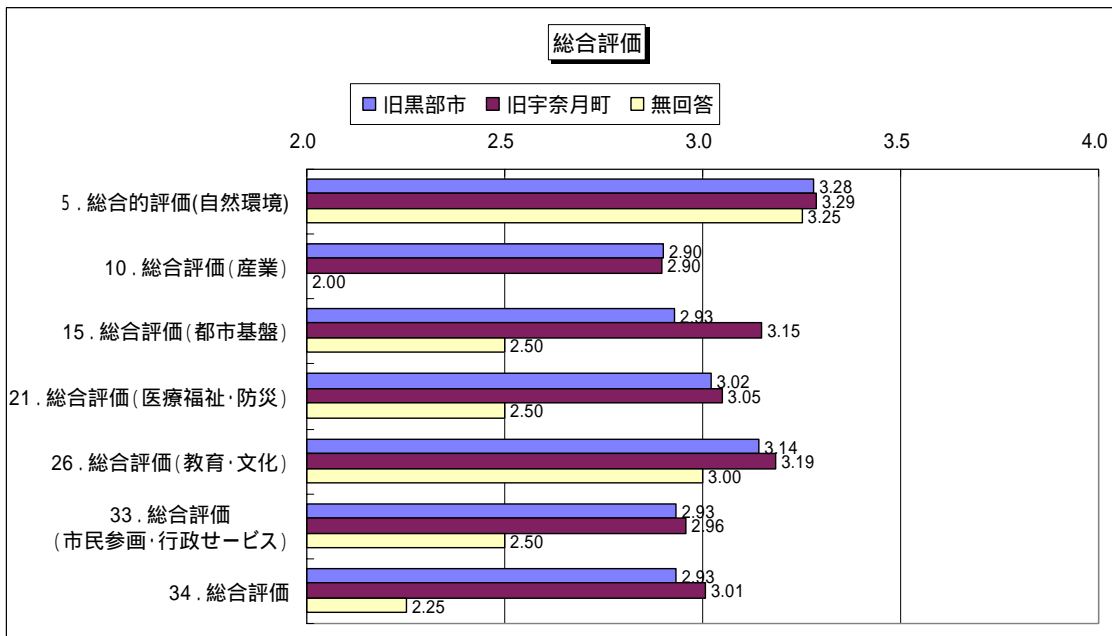
- ・旧黒部市は、「30.情報の公開・共有」の満足度(3.08)が最も高く、次いで「32.地域コミュニティ」(2.98)「27.行政サービス」(2.97)「31.市民参画・協働」(2.97)の順となっている。
- ・旧宇奈月町は、「29.分庁舎方式」の満足度(3.09)が最も高く、次いで「30.情報の公開・共有」(3.06)「32.地域コミュニティ」(3.04)の順となっている。

施策に対する総合評価
分野別傾向



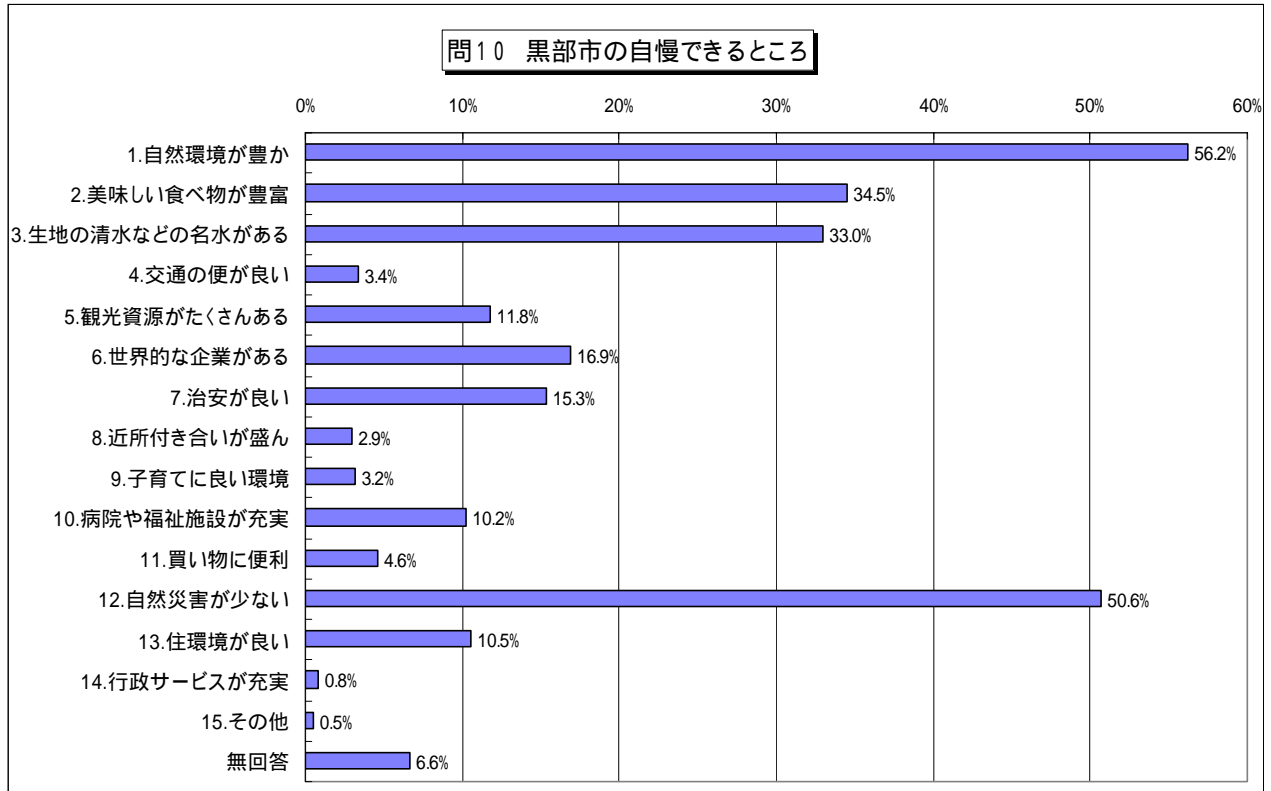
- ・「5.総合評価(自然環境)」及び「26.総合評価(教育・文化)」の満足度はそれぞれ3.28点、3.16点と高い。
- ・「10.総合評価(産業)」及び「33.総合評価(市民参画・行政サービス)」の満足度は、それぞれ2.90点、2.94点と、「34.総合評価」より低い。

居住地別傾向



- ・旧黒部市は、「5.総合評価(自然環境)」の満足度(3.28)が最も高く、次いで「26.総合評価(教育・文化)」(3.14)「21.総合評価(医療福祉・防災)」(3.02)の順となっている。
- ・旧宇奈月町は、「5.総合評価(自然環境)」の満足度(3.29)が最も高く、次いで「26.総合評価(教育・文化)」(3.19)「15.総合評価(都市基盤)」(3.15)の順となっている。

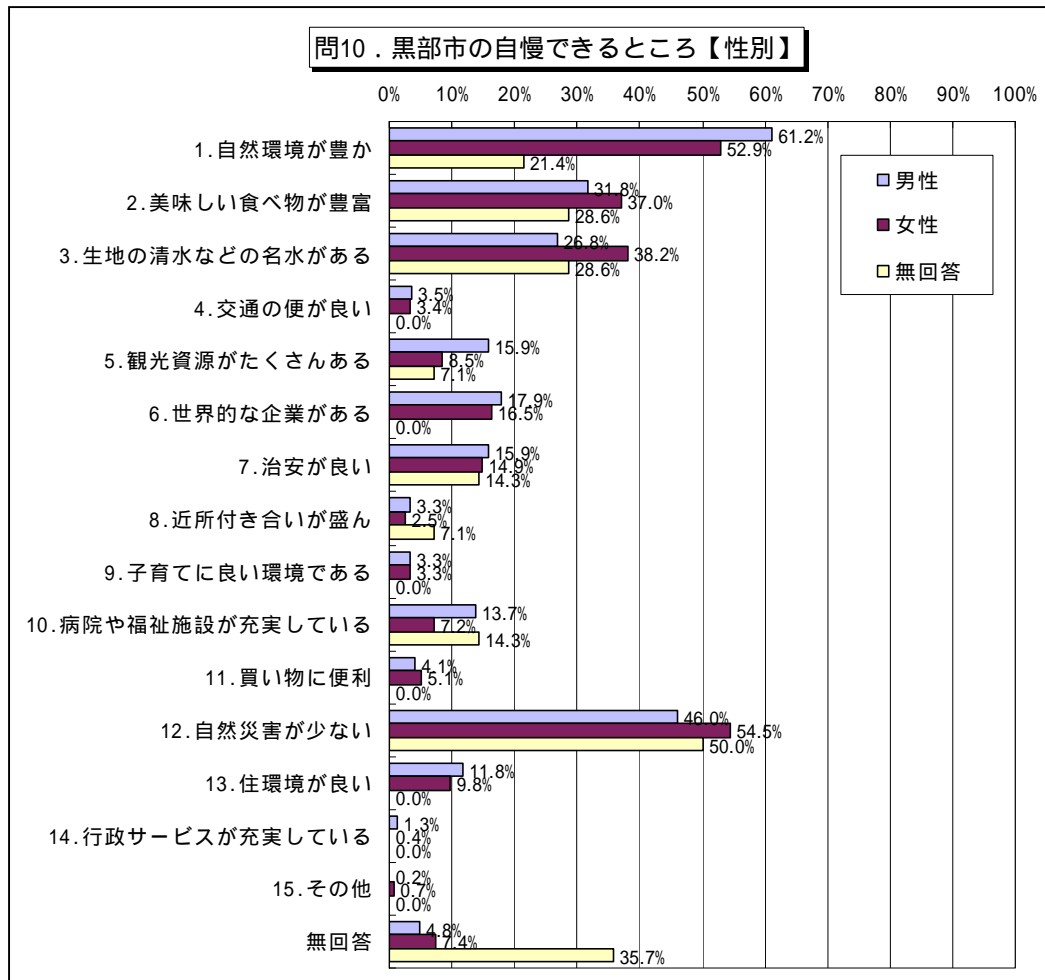
2) 黒部市の自慢 (問10)
全体傾向



	1位	2位	3位	4位	5位
全 体	1. 自然環境が豊か	12. 自然災害が少ない	2. 美味しい食べ物が豊富	3. 生地の清水などの名水がある	6. 世界的な企業がある
	56.2%	50.6%	34.5%	33.0%	16.9%

- ・「1. 自然環境が豊か」が 56.2%と最も多く、次いで「12. 自然災害が少ない」が 50.6%、「2. 美味しい食べ物が豊富」が 34.5%となっている。
- ・「14. 行政サービスが充実」は 0.8%と非常に低い割合となっている。

性別傾向



性別	1位	2位	3位	4位	5位
男性	1. 自然環境が豊か 61.2%	12. 自然災害が少ない 46.0%	2. 美味しい食べ物が豊富 31.8%	3. 生地の清水などの名水がある 26.8%	6. 世界的な企業がある 17.9%
女性	12. 自然災害が少ない 54.5%	1. 自然環境が豊か 52.9%	3. 生地の清水などの名水がある 38.2%	2. 美味しい食べ物が豊富 37.0%	6. 世界的な企業がある 16.5%

- ・性別順位では、男性女性ともに「1. 自然環境が豊か」「2. 美味しい食べ物が豊富」「3. 生地の清水などの名水がある」「6. 世界的な企業がある」「12. 自然災害が少ない」が上位5項目を占めている。

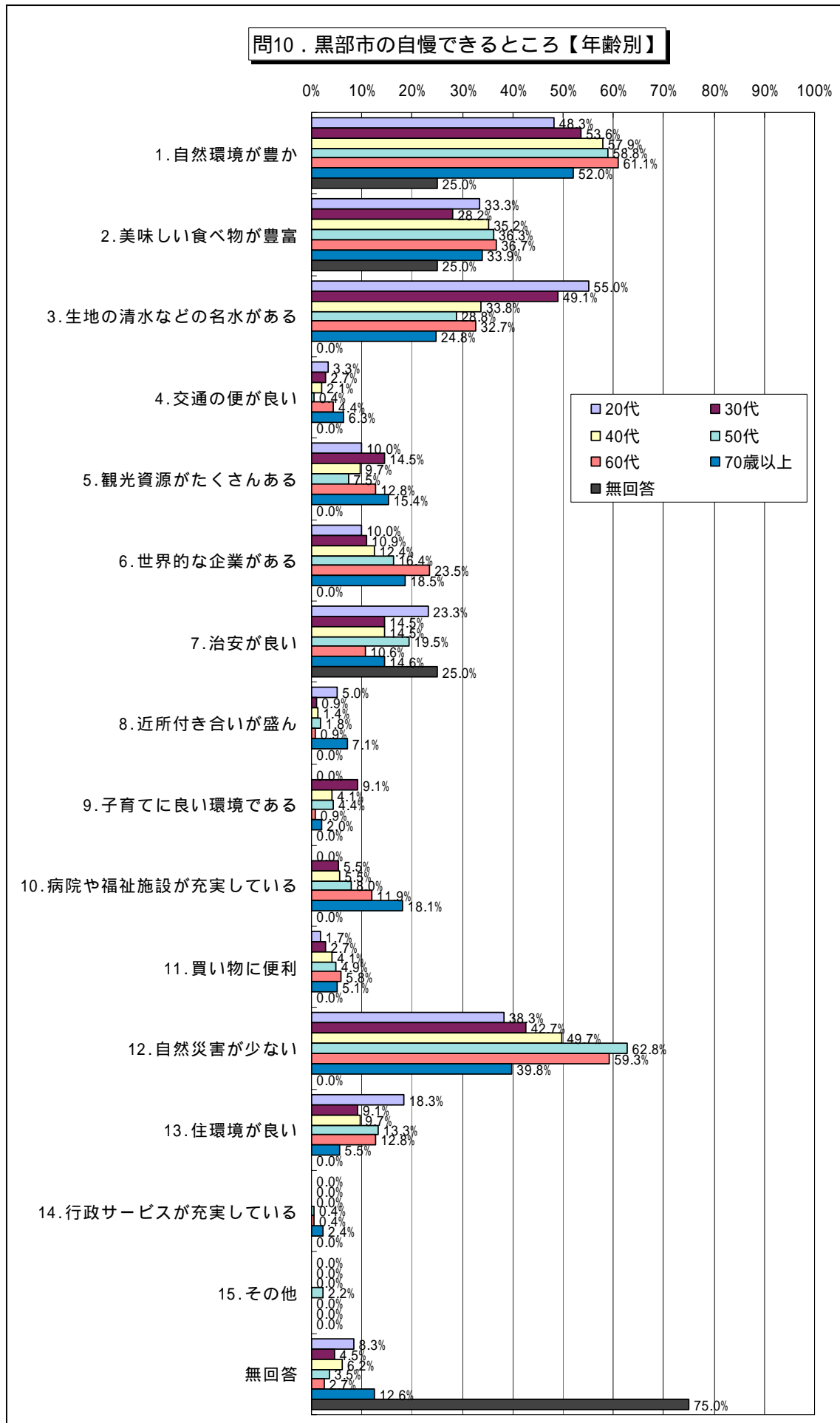
性別格差がみられる項目

- ・「1. 自然環境が豊か」(男性 61.2%、女性 52.9%)「5. 観光資源がたくさんある」(男性 15.9%、女性 8.5%)「10. 病院や福祉施設が充実している」(男性 13.7%、女性 7.2%)は、男性の方が高い割合となっている。
- ・「2. 美味しい食べ物が豊富」(男性 31.8%、女性 37.0%)「3. 生地の清水などの名水がある」(男性 26.8%、女性 38.2%)「12. 自然災害が少ない」(男性 46.0%、女性 54.5%)は、女性の方が高い割合となっている。

性別格差が小さい項目

- ・「4. 交通の便が良い」「6. 世界的な企業がある」「7. 治安が良い」「8. 近所付き合いが盛ん」「9. 子育てに良い環境である」「14. 行政サービスが充実している」「11. 買い物に便利」「13. 住環境が良い」は、性別による格差が小さい。

年齢別傾向



年 齢	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
20 代	3. 生地の清水などの名水がある	1. 自然環境が豊か	12. 自然災害が少ない	2. 美味しい食べ物が豊富	7. 治安が良い
	55.0%	48.3%	38.3%	33.3%	23.3%
30 代	1. 自然環境が豊か	3. 生地の清水などの名水がある	12. 自然災害が少ない	2. 美味しい食べ物が豊富	5. 観光資源がたくさんある
	53.6%	49.1%	42.7%	28.2%	14.5%
40 代	1. 自然環境が豊か	12. 自然災害が少ない	2. 美味しい食べ物が豊富	3. 生地の清水などの名水がある	7. 治安が良い
	57.9%	49.7%	35.2%	33.8%	14.5%
50 代	12. 自然災害が少ない	1. 自然環境が豊か	2. 美味しい食べ物が豊富	3. 生地の清水などの名水がある	7. 治安が良い
	62.8%	58.8%	36.3%	28.8%	19.5%
60 代	1. 自然環境が豊か	12. 自然災害が少ない	2. 美味しい食べ物が豊富	3. 生地の清水などの名水がある	6. 世界的な企業がある
	61.1%	59.3%	36.7%	32.7%	23.5%
70 歳以上	1. 自然環境が豊か	12. 自然災害が少ない	2. 美味しい食べ物が豊富	3. 生地の清水などの名水がある	6. 世界的な企業がある
	52.0%	39.8%	33.9%	24.8%	18.5%

- ・年齢別順位では、「1. 自然環境が豊か」「2. 美味しい食べ物が豊富」「3. 生地の清水などの名水がある」「12. 自然災害が少ない」が上位4項目を占めており、5位は「5. 観光資源がたくさんある」「6. 世界的な企業がある」「7. 治安が良い」となっている。

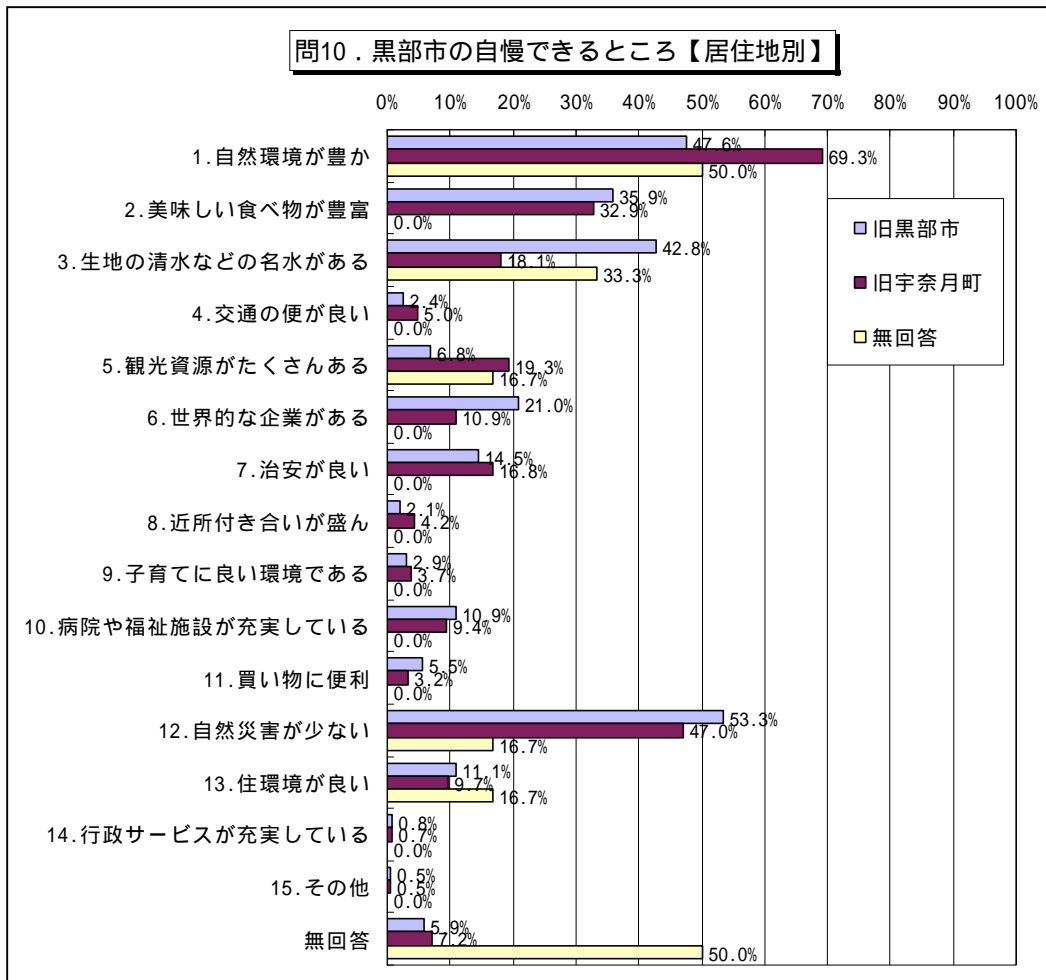
年齢別格差がみられる項目

- ・「3. 生地の清水などの名水がある」との回答は、若年層になるほど増える傾向にある。
- ・「1. 自然環境が豊か」「6. 世界的な企業がある」「10. 病院や福祉施設が充実している」「11. 買い物に便利」「12. 自然災害が少ない」との回答は、高齢層になるほどが増える傾向にある。

年齢別格差が小さい項目

- ・「4. 交通の便が良い」「14. 行政サービスが充実している」との回答は、年齢による格差は小さい。

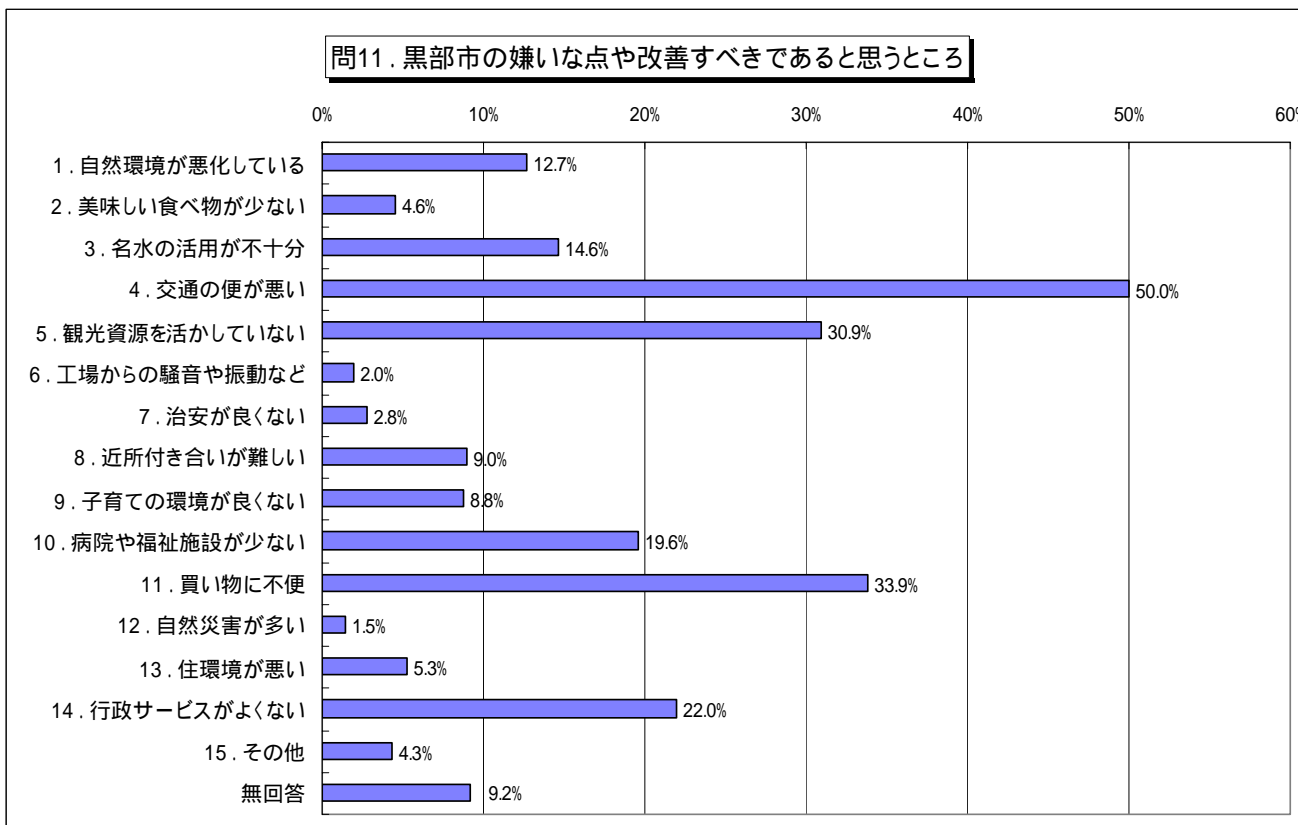
居住地別傾向



居住地	1位	2位	3位	4位	5位
旧黒部市	12. 自然災害が少ない 53.3%	1. 自然環境が豊か 47.6%	3. 生地の清水などの名水がある 42.8%	2. 美味しい食べ物が豊富 35.9%	6. 世界的な企業がある 21.0%
旧宇奈月町	1. 自然環境が豊か 69.3%	12. 自然災害が少ない 47.0%	2. 美味しい食べ物が豊富 32.9%	5. 観光資源がたくさんある 19.3%	3. 生地の清水などの名水がある 18.1%

- ・居住地別順位では、「1. 自然環境が豊か」「2. 美味しい食べ物が豊富」「3. 清水などの名水がある」「12. 自然災害が少ない」の4項目が上位5項目に入っている。
- ・「5. 観光資源がたくさんある」は全体で7位であったが、旧宇奈月町では4位となっている。
居住地別格差がみられる項目
- ・「3. 生地の清水などの名水がある」(旧黒部市 42.8%、旧宇奈月町 18.1%)「6. 世界的な企業がある」(旧黒部市 21.0%、旧宇奈月町 10.9%)「12. 自然災害が少ない」(旧黒部市 53.3%、旧宇奈月町 47.0%)は、旧黒部市の方が高い割合となっている。
- ・「1. 自然環境が豊か」(旧黒部市 47.6%、旧宇奈月町 69.3%)「5. 観光資源がたくさんある」(旧黒部市 6.8%、旧宇奈月町 19.3%)は、旧宇奈月町の方が高い割合となっている。
居住地別格差が小さい項目
- ・「9. 子育てに良い環境である」「10. 病院や福祉施設が充実している」「13. 住環境が良い」「14. 行政サービスが充実している」は、居住地による格差が小さい。

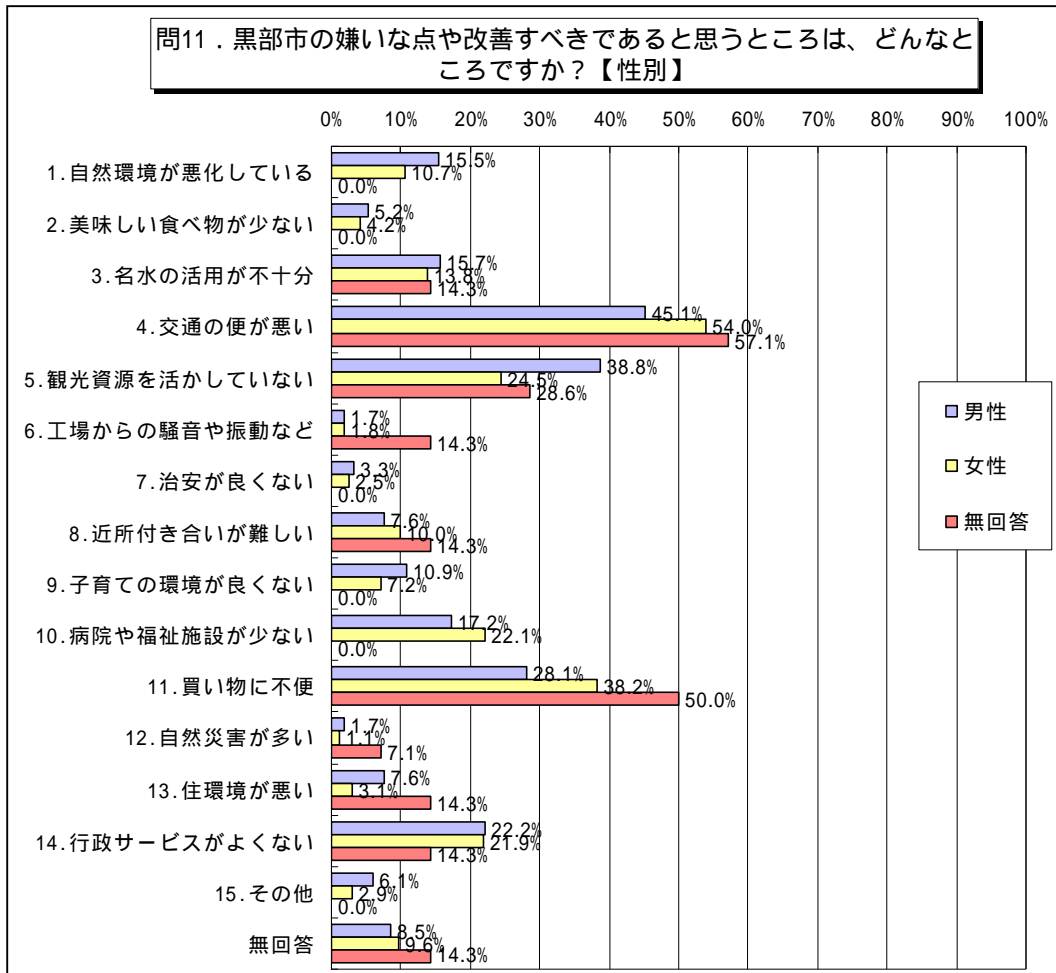
3) 黒部市の嫌いな点や改善すべき点 (問11)
全体傾向



	1位	2位	3位	4位	5位
全 体	4. 交通の便が悪い	11. 買い物に不便	5. 観光資源を活かしていない	14. 行政サービスが悪い	10. 病院や福祉施設が少ない
	50.0%	33.9%	30.9%	22.0%	19.6%

・「4.交通の便が悪い」が50.0%と最も多く、次いで「11.買い物に不便」が33.9%、「5.観光資源を活かしていない」が30.9%となっている。

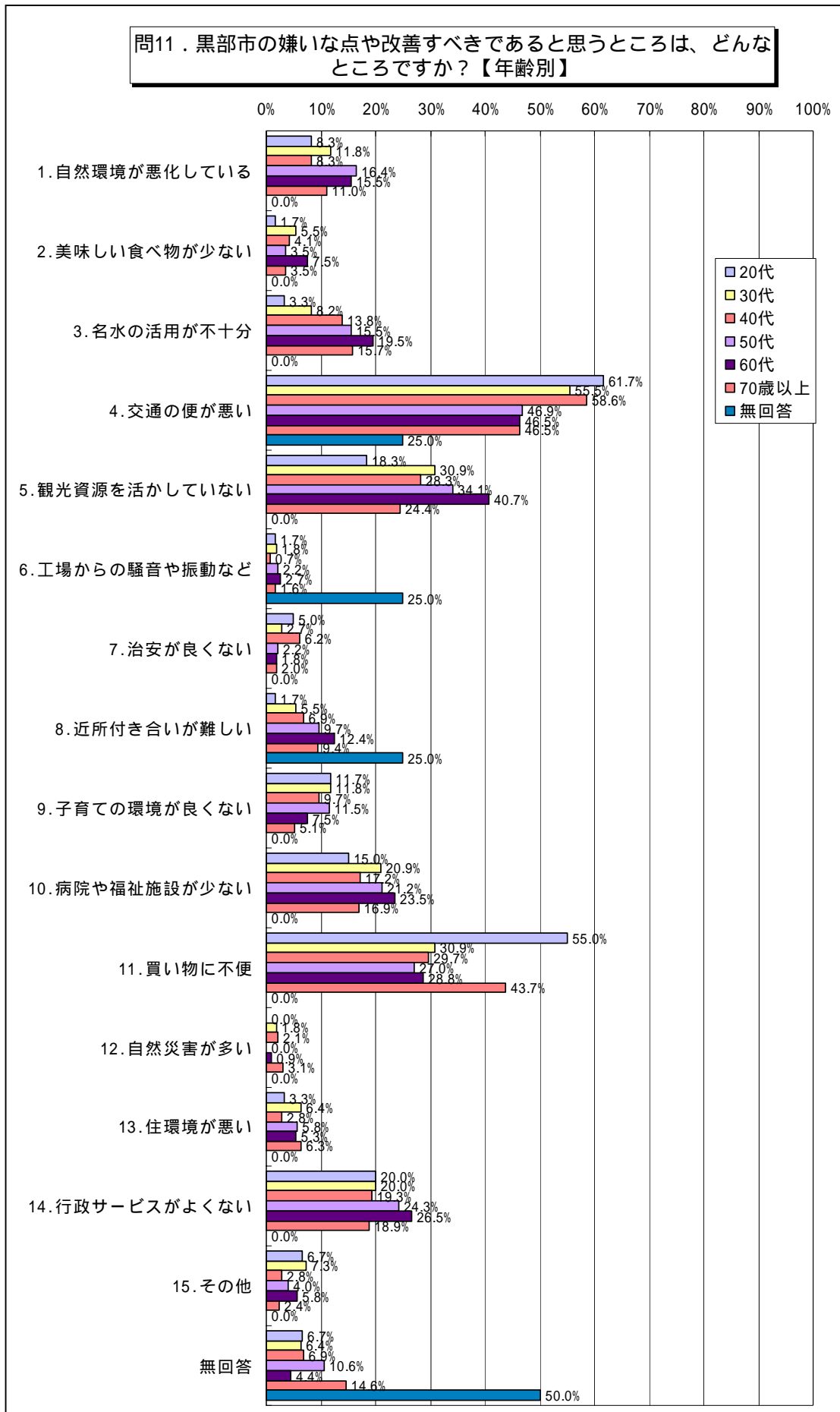
性別傾向



性別	1位	2位	3位	4位	5位
男性	4. 交通の便が悪い 45.1%	5. 観光資源を活かしていない 38.8%	11. 買い物に不便 28.1%	14. 行政サービスが少ない 22.2%	10. 病院や福祉施設が少ない 17.2%
女性	4. 交通の便が悪い 54.0%	11. 買い物に不便 38.2%	5. 観光資源を活かしていない 24.5%	10. 病院や福祉施設が少ない 22.1%	14. 行政サービスが少ない 21.9%

- ・性別順位では、男性女性ともに「4. 交通の便が悪い」「5. 観光資源を活かしていない」「10. 病院や福祉施設が少ない」「11. 買い物に不便」「14. 行政サービスが良くない」が上位5項目を占めている。
- ・「4. 交通の便が悪い」は、男性女性ともに1位となっている。
性別格差がみられる項目
- ・「1. 観光資源を活かしていない」(男性38.8%、女性24.5%)は、男性の方が高い割合となっている。
- ・「4. 交通の便が悪い」(男性45.1%、女性54.0%)「11. 買い物に不便」(男性28.1%、女性38.2%)は、女性の方が高い割合となっている。
性別格差が小さい項目
- ・「2. 美味しい食べ物が少ない」「3. 名水の活用が不十分」「6. 工場からの騒音や振動」「7. 治安が良くない」「12. 自然災害が多い」「14. 行政サービスが良くない」は、性別による格差が小さい。

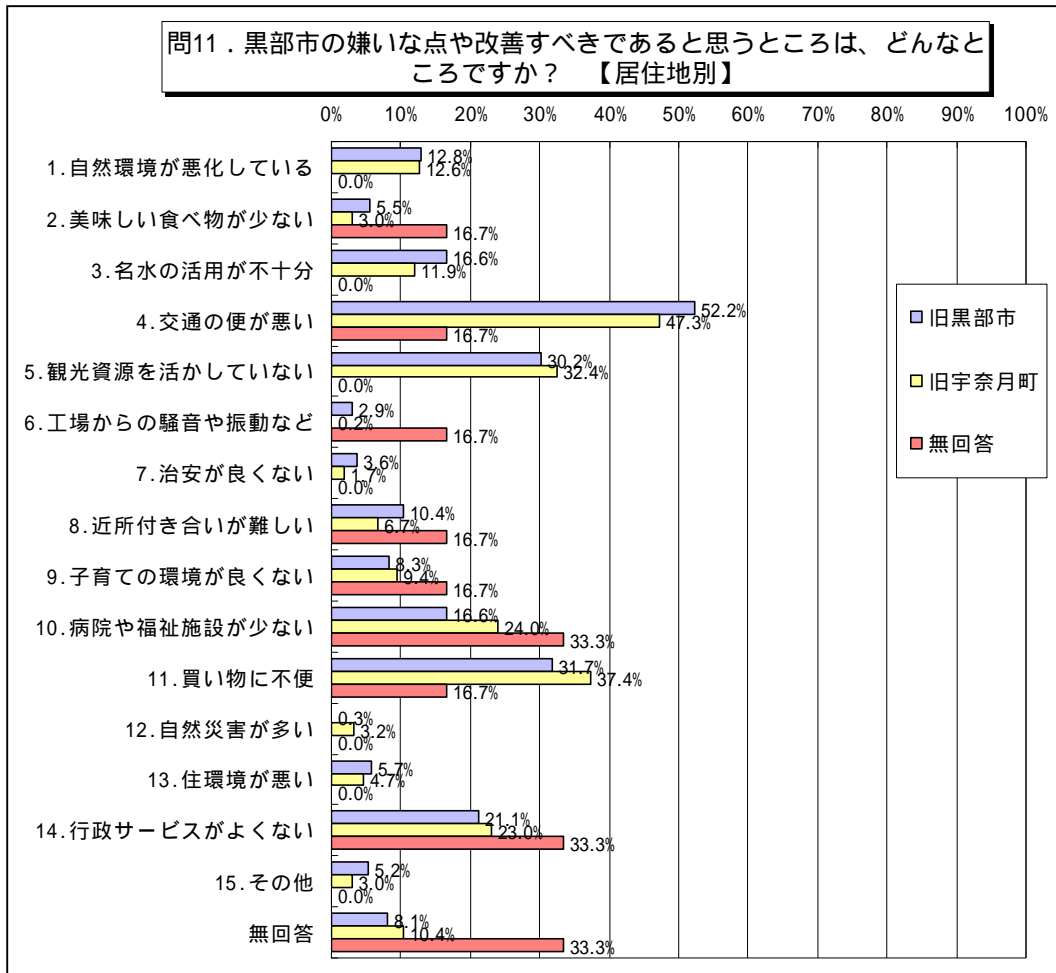
年齢別傾向



年 齢	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
20 代	4. 交通の便が悪い	11. 買い物に不便	14. 行政サービスがよくない	5. 観光資源を活かしていない	10. 病院や福祉施設が少ない
	61.7%	55.0%	20.0%	18.3%	15.0%
30 代	4. 交通の便が悪い	5. 観光資源を活かしていない	11. 買い物に不便	10. 病院や福祉施設が少ない	14. 行政サービスがよくない
	55.5%	30.9%		20.9%	20.0%
40 代	4. 交通の便が悪い	11. 買い物に不便	5. 観光資源を活かしていない	14. 行政サービスがよくない	10. 病院や福祉施設が少ない
	58.6%	29.7%	28.3%	19.3%	17.2%
50 代	4. 交通の便が悪い	5. 観光資源を活かしていない	11. 買い物に不便	14. 行政サービスがよくない	10. 病院や福祉施設が少ない
	46.9%	34.1%	27.0%	24.3%	21.2%
60 代	4. 交通の便が悪い	5. 観光資源を活かしていない	11. 買い物に不便	14. 行政サービスがよくない	10. 病院や福祉施設が少ない
	46.5%	40.7%	28.8%	26.5%	23.5%
70 歳以上	4. 交通の便が悪い	11. 買い物に不便	5. 観光資源を活かしていない	14. 行政サービスがよくない	10. 病院や福祉施設が少ない
	46.5%	43.7%	24.4%	18.9%	16.9%

- ・年齢別順位では、全ての年齢層において「4. 交通の便が悪い」「5. 観光資源を活かしていない」「10. 病院や福祉施設が少ない」「11. 買い物に不便」「14. 行政サービスがよくない」が上位5項目を占めている。
- ・「4. 交通の便が悪い」は、全ての年齢層において1位となっている。
年齢別格差がみられる項目
- ・「4. 交通の便が悪い」「9. 子育ての環境が良くない」との回答は、若年層になるほど増える傾向にある。
- ・「3. 名水の活用が不十分」「5. 観光資源を活かしていない」「14. 行政サービスがよくない」との回答は、高齢層になるほどが増える傾向にある。
- ・「11. 買い物に不便」との回答は、20代（55.0%）、70歳以上（43.7%）で高い割合となっている。
年齢別格差が小さい項目
- ・「2. 美味しい食べ物が少ない」「16. 工場からの騒音や振動など」「7. 治安が良くない」「自然災害が多い」「住環境が悪い」との回答は、年齢による格差は小さい。

居住地別傾向

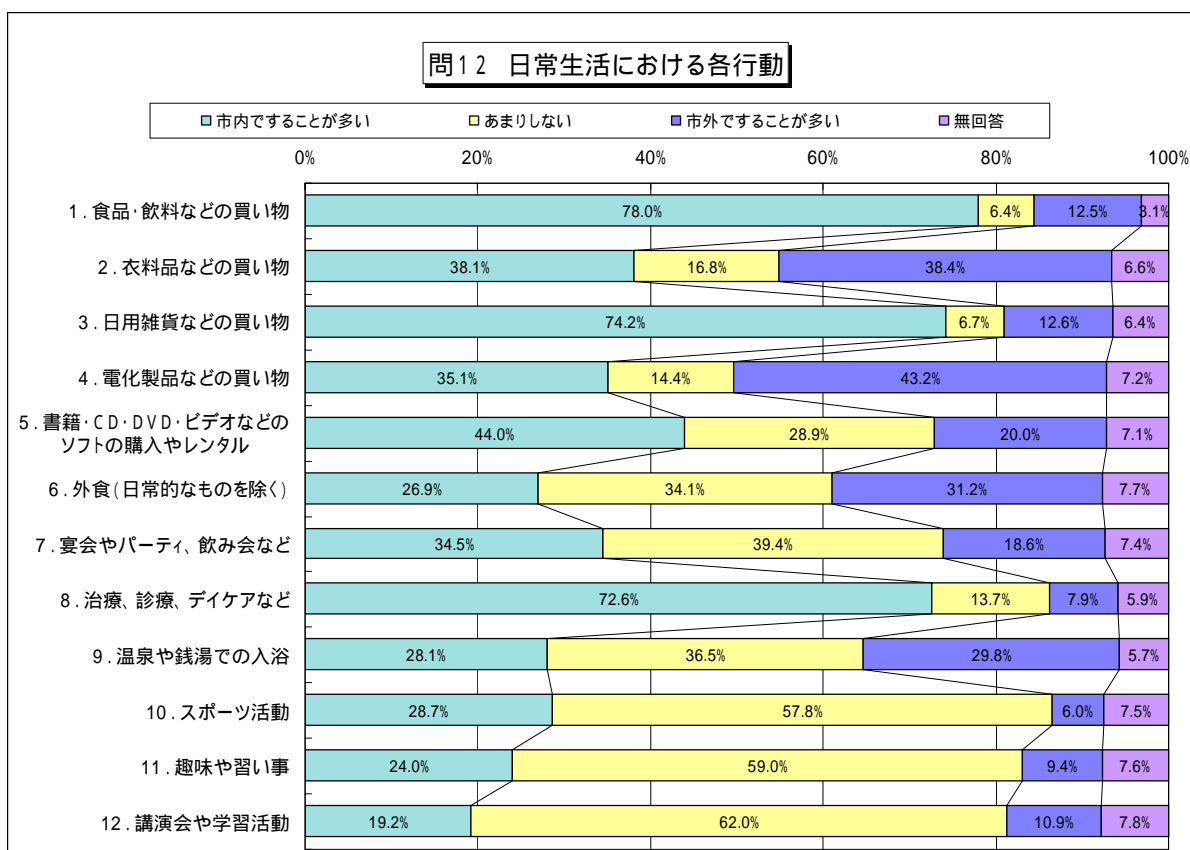


居住地	1位	2位	3位	4位	5位
旧黒部市	4. 交通の便が悪い 52.2%	11. 買い物に不便 31.7%	5. 観光資源を活かしていない 30.2%	14. 行政サービスが良くない 21.1%	3. 名水の活用が不十分 16.6%
旧宇奈月町	4. 交通の便が悪い 47.3%	11. 買い物に不便 37.4%	5. 観光資源を活かしていない 32.4%	10. 病院や福祉施設が少ない 24.0%	14. 行政サービスが良くない 23.0%

- ・居住地別順位では、「4. 交通の便が悪い」「5. 観光資源を活かしていない」「11. 買い物に不便」「14. 行政サービスが良くない」の4項目が上位5項目に入っている。
- ・「4. 交通の便が悪い」は、旧黒部市、旧宇奈月町ともに1位となっている。
- ・「3. 名水の活用が不十分」が全体では6位であったが、旧黒部市では5位となっている。
居住地別格差がみられる項目
- ・「10. 病院や福祉施設が少ない」(旧黒部市 16.6%、旧宇奈月町 24.0%)「11. 買い物に不便」(旧黒部市 31.7%、旧宇奈月町 37.4%)は、旧宇奈月町の方が高い割合となっている。
居住地別格差が小さい項目
- ・「1. 自然環境が悪化している」「7. 治安が良くない」「9. 子育ての環境が良くない」「13. 住環境が悪い」「14. 行政サービスが良くない」は、居住地による格差が小さい。

4) 日常生活について (問12)

全体傾向



- ・「1.食品・飲料などの買い物」、「3.日用雑貨などの買い物」及び「8.治療、診療、デイケアなど」は、7割以上の方が市内ですることが多い。
- ・「2.衣料品などの買い物」、「4.電化製品などの買い物」、「6.外食(日常的なものを除く)」及び「9.温泉や銭湯での入浴」は、市内より市外でする人が多い。
- ・約6割の人は、「10.スポーツ活動」、「11.趣味や習い事」及び「12.講演会や学習活動」をあまり行っていない。

性別傾向

- ・女性は、「7.宴会やパーティ、飲み会」(45.3%)「10.スポーツ活動」(63.4%)をあまりしない人が多い。

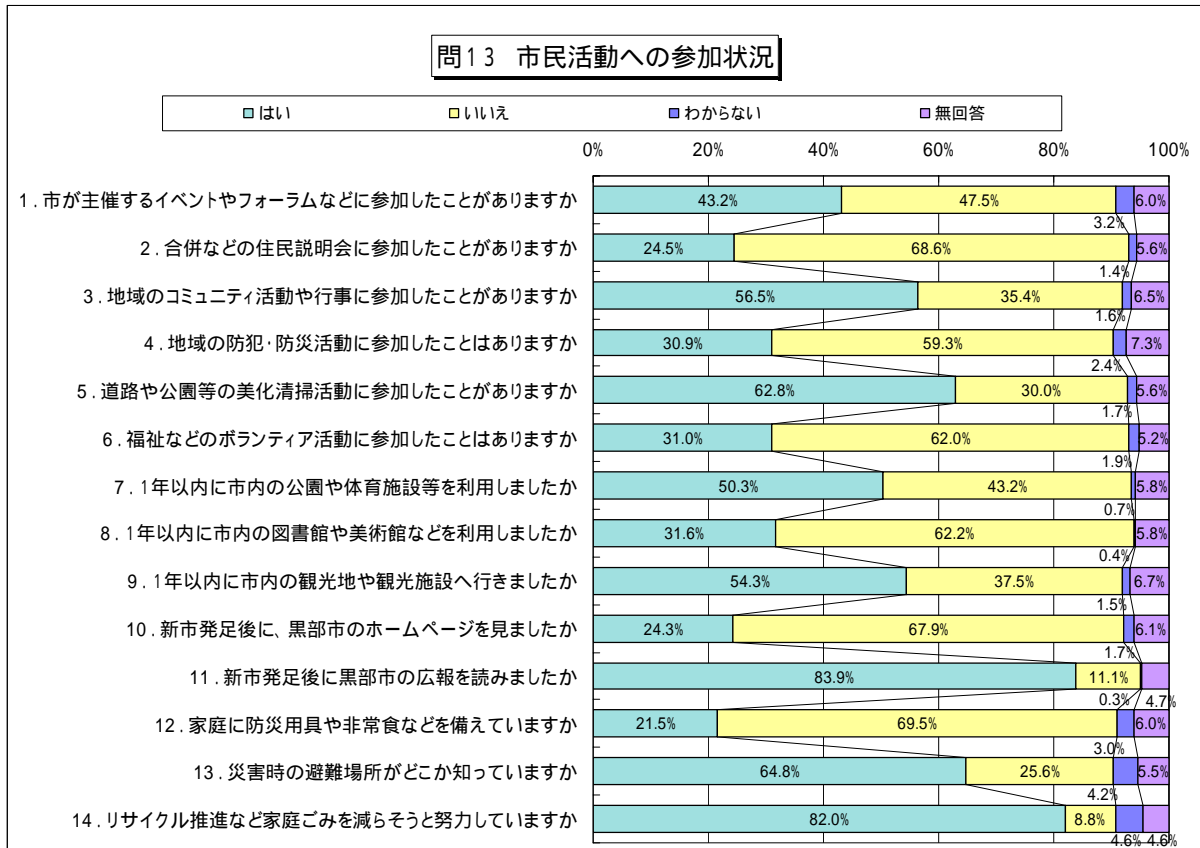
年齢別傾向

- ・「1.食品・飲料などの買い物」(20代30.0%)「2.衣料品などの買い物」(20代76.7%、30代70.9%)「4.電化製品などの買い物」(20代68.3%、30代69.1%)「6.外食(日常的なものを除く)」(20代60.0%、30代56.4%)「10.スポーツ活動」(20代20.0%、30代17.3%)「11.趣味や習い事」(20代23.3%)は、若年層になるほど市外で行動する人が多くなる傾向にある。
- ・「3.日用雑貨などの買い物」(70歳以上86.3%)「9.温泉や銭湯での入浴」(70歳以上38.6%)は、高齢層になるほどあまりしない人が減り、市内で行動する人が多くなる傾向にある。

居住地別傾向

- ・12項目中9項目において、旧黒部市より旧宇奈月町の方が市内で行動する人の割合が高い。
- ・「9.温泉や銭湯での入浴」(旧黒部市18.7%、旧宇奈月町42.6%)は、旧宇奈月町の方が市内でする人が多い。
- ・「8.治療、診療、デイケアなど」(旧黒部市76.7%、旧宇奈月町66.6%)は、旧黒部市の方が市内で行動する人が多い。

5) 市民活動などへの参加状況 (問13)
全体傾向



- ・「11. 新市発足後に黒部市の広報を読んだ」(83.9%)「14. リサイクル推進など家庭ごみを減らそうと努力している」(82.0%)との回答が多い。
- ・「合併などの住民参加説明会に参加したことがある」(24.5%)「4. 地域の防犯・防災活動に参加したことがある」(30.9%)「6. 福祉などのボランティア活動に参加したことがある」(31.0%)「8. 1年以内に市内の図書館や美術館などを利用したことがある」(31.6%)「10. 新市発足後に、黒部市のホームページを見た」(24.3%)「12. 家庭に防災用具や非常食などを備えている」(21.5%)との回答は、2～3割程度と少ない。

性別傾向

- ・「2. 合併などの住民説明会に参加したことがある」(男性 38.6%、女性 12.9%)「4. 地域の防災・防火活動に参加したことがある」(男性 43.4%、女性 20.7%)「5. 道路や公園等の美化清掃活動に参加したことがある」(男性 68.6%、女性 58.3%)「7. 1年以内に市内の公園や体育施設を利用したことがある」(男性 55.3%、女性 46.7%)「9. 1年以内に市内の観光地や観光施設へ行った」(男性 58.4%、女性 51.6%)「10. 新市発足後に、黒部市のホームページを見た」(男性 28.8%、女性 20.3%)では、男性より女性の方が参加するとの回答の割合が低い。
- ・参加回数は、男性女性ともに7回から9回(男性 31.1%、女性 32.4%)が最も多い。

年齢別傾向

- ・「6.福祉などのボランティア活動への参加している」「10.新市発足後に、黒部市のホームページを見た」「12.家庭に防災用具や非常食などを備えている」との回答は、高齢層になるにつれて緩やかに増加している。
- ・それ以外の市民活動では、高齢層になるにつれて市民活動に参加するとの回答の割合は大きく増加し、50代、60代でピークとなり、70歳以上で減少する傾向にある。
- ・「2.合併などの住民説明会に参加したことがある」(20代5.0%、30代4.5%)「4.地域の防犯・防災活動に参加したことがある」(20代6.7%、30代17.3%)は、20代、30代の回答の割合が低い。
- ・「7.1年以内に市内の公園や体育施設を利用したことがある」は、30代が75.5%と回答の割合が高い。
- ・参加回数は、20代、30代、70歳以上は4回から6回(20代43.1%、30代36.4%、70歳以上26.9%)、40代、50代、60代は7回から9回(40代37.2%、50代35.0%、60代36.0%)が最も多い。

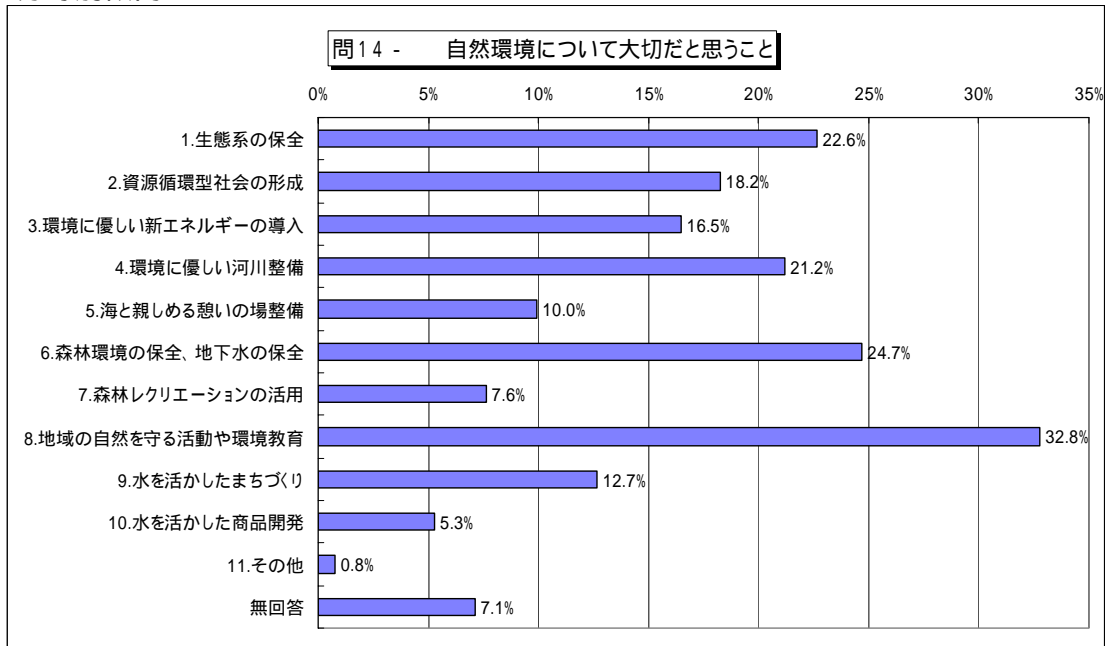
居住地別傾向

- ・12項目中9項目において、旧黒部市より旧宇奈月町の方が市内で行動する人の割合が高い。
- ・「9.1年以内に市内の観光地や観光施設へ行った」(旧黒部市48.9%、旧宇奈月町62.6%)「13.災害時の避難所がどこか知っている」(旧黒部市60.7%、旧宇奈月町71.3%)との回答は、旧宇奈月町の方が高い割合となっている。
- ・参加回数は、旧黒部市、旧宇奈月町ともに7回から9回(旧黒部市30.%、旧宇奈月町34.1%)が最も多い。

6) 将来に向けた政策・施策について、力を入れるべき点 (問14)

自然環境

分野別傾向



	1位	2位	3位	4位	5位
全体	8.地域の自然を守る活動や環境教育	6.森林環境の保全、地下水の保全	1.生態系の保全	4.環境に優しい河川整備	2.資源循環型社会の形成
	32.8%	24.7%	22.6%	21.2%	18.2%

・「8.地域の自然を守る活動や環境教育」が32.8%と最も多く、次いで「6.森林環境の保全、地下水の保全」が24.7%、「1.生態系の保全」が22.6%となっている。

性別傾向

性別	1位	2位	3位	4位	5位
男性	8.地域の自然を守る活動や環境教育	6.森林環境の保全、地下水の保全	4.環境に優しい河川整備	1.生態系の保全	2.資源循環型社会の形成
	30.5%	26.6%	25.3%	23.7%	19.2%
女性	8.地域の自然を守る活動や環境教育	6.森林環境の保全、地下水の保全	1.生態系の保全	4.環境に優しい河川整備	3.環境に優しい新エネルギーの導入
	35.3%	23.4%	21.7%	17.9%	17.6%

・男性は、全体と比較すると5位までの項目は同じであるが、「1.生態系の保全」(全体3位)と「4.環境に優しい河川整備」(全体4位)の順が入れ替わっている。
 ・女性は、1位から4位までは全体と変わらないが、5位が「3.環境に優しい新エネルギーの導入」となっている。

年齢別傾向

年 齢	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
20 代	3. 環境に優しい新エネルギーの導入	4. 環境に優しい河川整備	8. 地域の自然を守る活動や環境教育	5. 海と親しめる憩いの場整備	1. 生態系の保全
	25.0%	23.3%		21.7%	20.0%
30 代	1. 生態系の保全	8. 地域の自然を守る活動や環境教育	6 森林環境の保全、地下水の保全	2. 資源循環型社会の形成	4. 環境に優しい河川整備
	39.1%	27.3%	20.9%	20.0%	19.1%
40 代	8. 地域の自然を守る活動や環境教育	1. 生態系の保全	2. 資源循環型社会の形成	6 森林環境の保全、地下水の保全	4. 環境に優しい河川整備
	32.4%	31.0%	25.5%		20.0%
50 代	8. 地域の自然を守る活動や環境教育	6 森林環境の保全、地下水の保全	2. 資源循環型社会の形成	1. 生態系の保全	4. 環境に優しい河川整備
	32.7%	31.0%	23.9%	19.9%	17.7%
60 代	8. 地域の自然を守る活動や環境教育	1. 生態系の保全	6 森林環境の保全、地下水の保全	4. 環境に優しい河川整備	3. 環境に優しい新エネルギーの導入
	36.3%	22.1%		21.2%	17.7%
70 歳以上	8. 地域の自然を守る活動や環境教育	4. 環境に優しい河川整備	6 森林環境の保全、地下水の保全	3. 環境に優しい新エネルギーの導入	9. 水を活かしたまちづくり
	35.0%	25.6%	24.4%	15.4%	

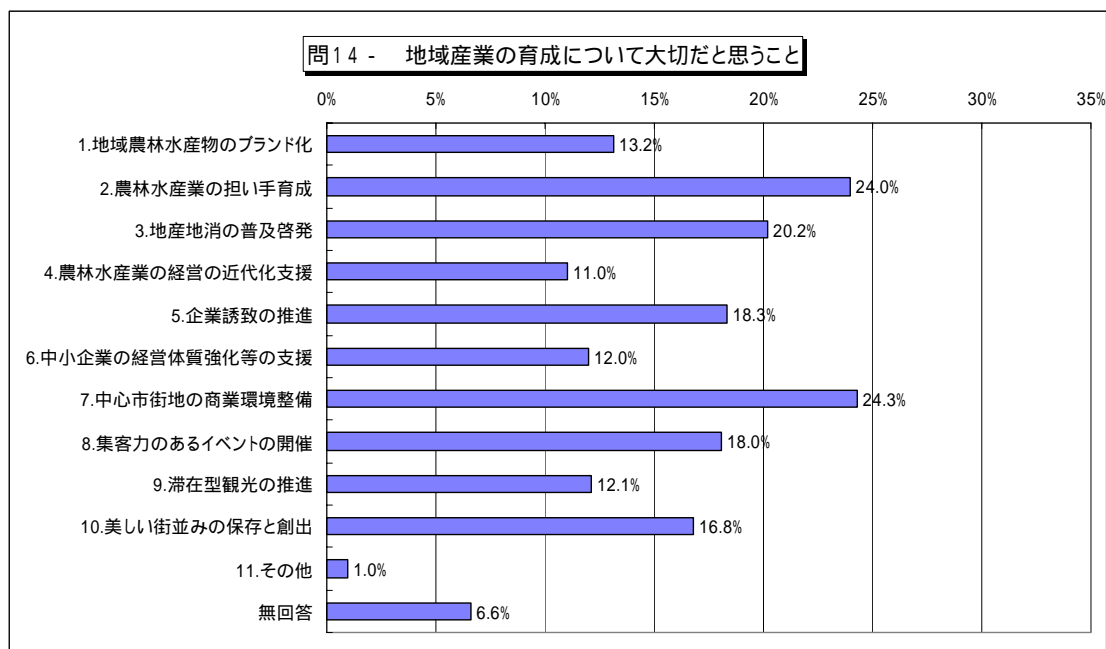
- ・30代、40代、50代は、5位までの項目は全体と同じであるが、順位が入れ替わっている。
- ・「3. 環境に優しい新エネルギーの導入」との回答が20代、60代、70歳以上でみられ、20代では1位となっている。

居住地別傾向

居住地	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
旧黒部市	8. 地域の自然を守る活動や環境教育	6 森林環境の保全、地下水の保全	1. 生態系の保全	4. 環境に優しい河川整備	3. 環境に優しい新エネルギーの導入
	31.5%	26.2%	22.9%	20.0%	18.0%
旧宇奈月町	8. 地域の自然を守る活動や環境教育	4. 環境に優しい河川整備	6 森林環境の保全、地下水の保全	1. 生態系の保全	2. 資源循環型社会の形成
	34.9%	22.8%		22.3%	19.1%

- ・旧黒部市は、1位から4位までの項目は全体と同じであるが、5位が「3. 環境に優しい新エネルギーの導入」となっている。
- ・旧宇奈月町は、5位までの項目は全体と同じであるが、「4. 環境に優しい河川整備」が2位となっている。

地域産業の育成 分野別傾向



	1位	2位	3位	4位	5位
全 体	7. 中心市街地の商業環境整備	2. 農林水産業の担い手育成	3. 地産地消の普及啓発	5. 企業誘致の推進	8. 集客力のあるイベントの開催
	24.3%	24.0%	20.2%	18.3%	18.0%

・「中心市街地の商業環境整備」が24.3%と最も多く、次いで「農林水産業の担い手育成」が24.0%、「3. 地産地消の普及啓発」が20.2%となっている。

性別傾向

性 別	1位	2位	3位	4位	5位
男 性	5. 企業誘致の推進	2. 農林水産業の担い手育成	7. 中心市街地の商業環境整備	8. 集客力のあるイベントの開催	3. 地産地消の普及啓発
	23.5%	22.9%	21.8%	18.1%	17.2%
女 性	7. 中心市街地の商業環境整備	2. 農林水産業の担い手育成	3. 地産地消の普及啓発	10. 美しい街並みの保存と創出	8. 集客力のあるイベントの開催
	26.8%	25.0%	23.2%	19.2%	18.3%

- ・ 男性は、5位までの項目は全体と同じであるが、順位が入れ替わり「5. 企業誘致の推進」が1位となっている。
- ・ 女性は、1位から3位と5位までの項目は全体と同じであるが、5位が「10. 美しい街並みの保存と創出」となっている。

年齢別傾向

年 齢	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
20 代	8. 集客力のあるイベントの開催	7. 中心市街地の商業環境整備	10. 美しい街並みの保存と創出	1. 地域農林水産物のブランド化	3. 地産地消の普及啓発
	31.7%	30.0%	20.0%	18.3%	16.7%
30 代	7. 中心市街地の商業環境整備	8. 集客力のあるイベントの開催	2. 農林水産業の担い手育成	10. 美しい街並みの保存と創出	3. 地産地消の普及啓発
	37.3%	21.8%	20.0%		19.1%
40 代	7. 中心市街地の商業環境整備	8. 集客力のあるイベントの開催	3. 地産地消の普及啓発	6. 中小企業の経営体質強化等の支援	2. 農林水産業の担い手育成
	31.0%	24.1%	23.4%	17.9%	16.6%
50 代	2. 農林水産業の担い手育成	3. 地産地消の普及啓発	7. 中心市街地の商業環境整備	5. 企業誘致の推進	10. 美しい街並みの保存と創出
	25.7%	21.7%		18.6%	18.1%
60 代	7. 中心市街地の商業環境整備	5. 企業誘致の推進	2. 農林水産業の担い手育成	8. 集客力のあるイベントの開催	3. 地産地消の普及啓発
	25.2%	24.3%	23.9%	16.4%	15.5%
70 歳以上	2. 農林水産業の担い手育成	3. 地産地消の普及啓発	10. 美しい街並みの保存と創出	5. 企業誘致の推進	8. 集客力のあるイベントの開催
	31.9%	22.4%	18.1%	16.9%	15.7%

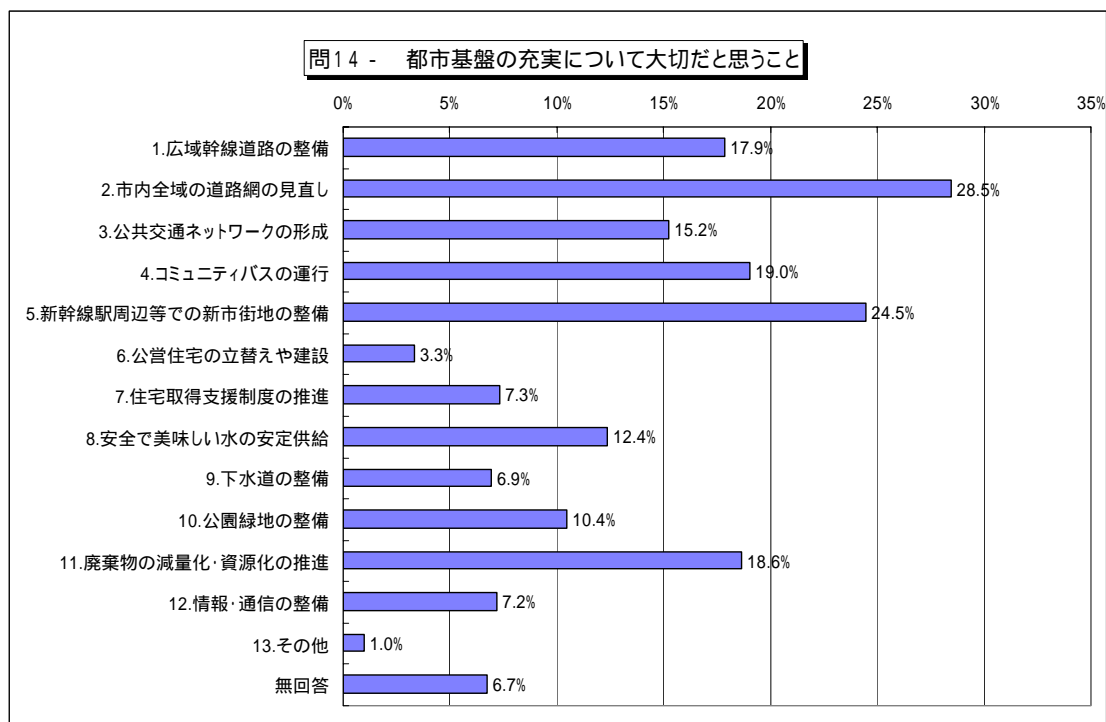
- ・20代では、「8.集客力のあるイベントの開催」が1位となっているが、「2.農林水産業の担い手育成」「5.企業誘致の推進」は、5位までに入っていない。
- ・30代、40代では、「8.集客力のあるイベントの開催」が2位となっているが、「5.企業誘致の推進」は、5位までに入っていない。
- ・「10.美しい街並みの保存と創出」は、60代以外で回答の割合が高く3位から5位までに入っている。
- ・「7.中心市街地の商業環境整備」は、唯一70歳以上では5位までに入っていない。

居住地別傾向

居住地	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
旧黒部市	7. 中心市街地の商業環境整備	2. 農林水産業の担い手育成	3. 地産地消の普及啓発	5. 企業誘致の推進	8. 集客力のあるイベントの開催
	29.6%	21.6%	20.8%	19.0%	17.4%
旧宇奈月町	2. 農林水産業の担い手育成	9. 滞在型観光の推進	3. 地産地消の普及啓発	8. 集客力のあるイベントの開催	10. 美しい街並みの保存と創出
	28.0%	20.0%	19.6%	19.1%	17.6%

- ・旧黒部市は、全体と同じ順位である。
- ・旧宇奈月町では、「7.中心市街地の商業環境整備」「5.企業誘致の推進」がみられないが、新たに「9.滞在型観光の推進」(2位)「10.美しい街並みの保存と創出」(5位)が5位までに入っている。

都市基盤の充実 分野別傾向



	1位	2位	3位	4位	5位
全体	2. 市内全域の道路網の見直し	5. 新幹線駅周辺等での新市街地の整備	4. コミュニティバスの運行	11. 廃棄物の減量化・資源化の推進	1. 広域幹線道路の整備
	28.5%	24.5%	19.0%	18.6%	17.9%

・「2. 市内全域の道路網の見直し」が 28.5%と最も多く、次いで「5. 新幹線駅周辺等での新市街地の整備」が 24.5%、「4. コミュニティバスの運行」が 19.0%となっている。

性別傾向

性別	1位	2位	3位	4位	5位
男性	2. 市内全域の道路網の見直し	5. 新幹線駅周辺等での新市街地の整備	1. 広域幹線道路の整備	3. 公共交通ネットワークの形成	11. 廃棄物の減量化・資源化の推進
	33.3%	29.0%	23.5%	18.3%	16.1%
女性	2. 市内全域の道路網の見直し	4. コミュニティバスの運行	5. 新幹線駅周辺等での新市街地の整備	11. 廃棄物の減量化・資源化の推進	8. 安全で美味しい水の安定供給
	24.6%	22.8%	21.0%	20.8%	14.3%

・男性は、全体と比較すると「1. 広域幹線道路の整備」が3位となり、新たに「3. 公共交通ネットワークの形成」が4位に入っている。
 ・女性は、1位から4位までの項目は全体と同じであるが、5位に「8. 安全で美味しい水の安定供給」が入っている。

年齢別傾向

年 齢	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
20 代	5. 新幹線駅周辺等での新市街地の整備	3. 公共交通ネットワークの形成	1. 広域幹線道路の整備	8. 安全で美味しい水の安定供給	12. 情報・通信の整備
	30.0%	23.3%	15.0%		
30 代	2. 市内全域の道路網の見直し	5. 新幹線駅周辺等での新市街地の整備	1. 広域幹線道路の整備	3. 公共交通ネットワークの形成	10. 公園緑地の整備
	23.6%		19.1%	17.3%	16.4%
40 代	2. 市内全域の道路網の見直し	5. 新幹線駅周辺等での新市街地の整備	3. 公共交通ネットワークの形成	4. コミュニティバスの運行	1. 広域幹線道路の整備
	29.0%	23.4%	20.7%	18.6%	17.9%
50 代	5. 新幹線駅周辺等での新市街地の整備	2. 市内全域の道路網の見直し	3. 公共交通ネットワークの形成	1. 広域幹線道路の整備	4. コミュニティバスの運行
	29.2%	27.9%	17.7%	17.3%	16.8%
60 代	2. 市内全域の道路網の見直し	5. 新幹線駅周辺等での新市街地の整備	11. 廃棄物の減量化・資源化の推進	1. 広域幹線道路の整備	4. コミュニティバスの運行
	35.0%	22.6%		20.8%	20.8%
70 歳以上	2. 市内全域の道路網の見直し	4. コミュニティバスの運行	5. 新幹線駅周辺等での新市街地の整備	11. 廃棄物の減量化・資源化の推進	1. 広域幹線道路の整備
	29.1%	23.2%	21.7%		16.1%

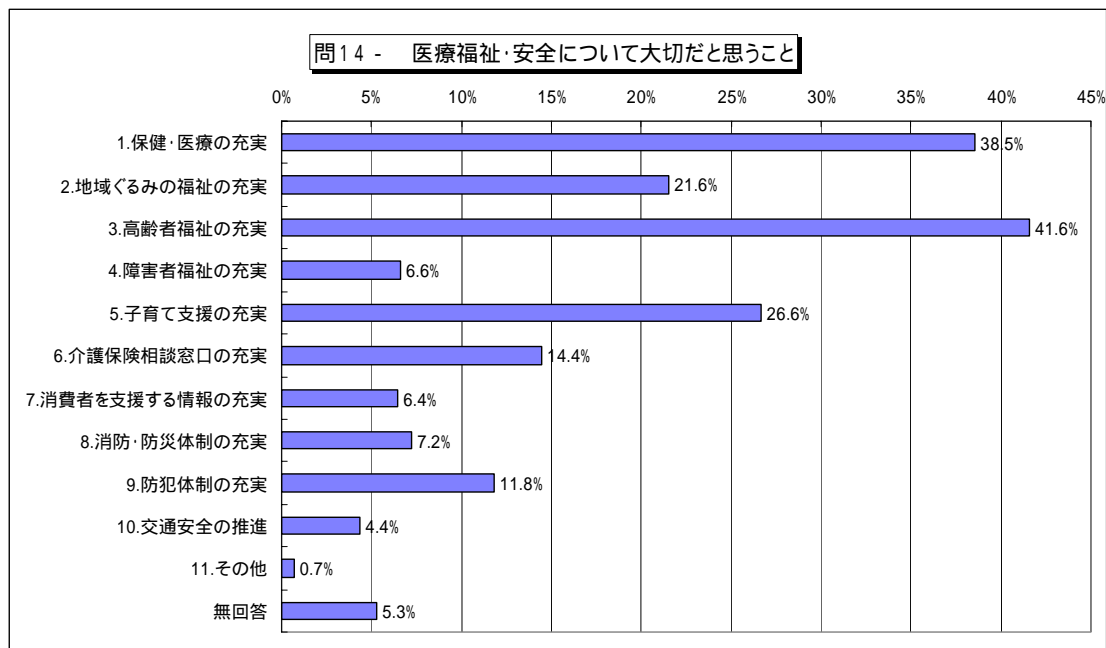
- ・ 20 代では、唯一「2. 市内全域の道路網の見直し」が 5 位までに入っていない。
- ・ 20 代、30 代では、「4. コミュニティバスの運行」は、5 位までに入っていない。
- ・ 50 代以下では、「3. 公共交通ネットワークの形成」の回答の割合が高く 2 位から 4 位までに入っているが、「11. 廃棄物の減量化・資源化の推進」は 5 位までに入っていない。
- ・ 60 代、70 歳以上は、5 位までの項目が全体と同じである。

居住地別傾向

居住地	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
旧黒部市	2. 市内全域の道路網の見直し	5. 新幹線駅周辺等での新市街地の整備	1. 広域幹線道路の整備	11. 廃棄物の減量化・資源化の推進	4. コミュニティバスの運行
	32.8%	21.8%	19.5%	17.7%	16.6%
旧宇奈月町	5. 新幹線駅周辺等での新市街地の整備	4. コミュニティバスの運行	2. 市内全域の道路網の見直し	11. 廃棄物の減量化・資源化の推進	3. 公共交通ネットワークの形成
	28.7%	23.0%	22.0%	20.3%	16.3%

- ・ 旧黒部市は、5 位までの項目が全体と同じである。
- ・ 旧宇奈月町は、4 位までの項目は同じであるが、「3. 公共交通ネットワークの形成」が 5 位となっている。

医療福祉・安全
分野別傾向



	1位	2位	3位	4位	5位
全 体	3.高齢者福祉の 充実	1.保健・医療の 充実	5.子育て支援の 充実	2.地域ぐるみの 福祉の充実	6.介護保険相談 窓口の充実
	41.6%	38.5%	26.6%	21.6%	14.4%

- ・「3.高齢者福祉の充実」が41.6%と最も多く、次いで「1.保健・医療の充実」が38.5%、「5.子育て支援の充実」が26.6%となっている。

性別傾向

性 別	1位	2位	3位	4位	5位
男 性	3.高齢者福祉の 充実	1.保健・医療の 充実	5.子育て支援の 充実	2.地域ぐるみの 福祉の充実	9.防犯体制の充 実
	42.3%	35.1%	28.8%	24.8%	12.9%
女 性	1.保健・医療の 充実	3.高齢者福祉の 充実	5.子育て支援の 充実	2.地域ぐるみの 福祉の充実	6.介護保険相談 窓口の充実
	41.7%	41.3%	25.4%	18.8%	16.7%

- ・男性は、1位から4位までの順位は全体と同じであるが、5位に「9.防犯体制の充実」が入っている。
- ・女性は、「3.高齢者福祉の充実」(全体1位)と「1.保健・医療の充実」(全体2位)の順位が入れ替わっている。

年齢別傾向

年 齢	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
20 代	5.子育て支援の 充実	1.保健・医療の 充実	3.高齢者福祉の 充実	9.防犯体制の充 実	4.障害者福祉の 充実
	48.3%	43.3%	30.0%	16.7%	11.7%
30 代	5.子育て支援の 充実	1.保健・医療の 充実	3.高齢者福祉の 充実	9.防犯体制の充 実	2.地域ぐるみの 福祉の充実
	49.1%	47.3%	29.1%	15.5%	12.7%
40 代	1.保健・医療の 充実	3.高齢者福祉の 充実	5.子育て支援の 充実	2.地域ぐるみの 福祉の充実	9.防犯体制の充 実
	45.5%	40.0%	32.4%	19.3%	9.7%
50 代	1.保健・医療の 充実	3.高齢者福祉の 充実	2.地域ぐるみの 福祉の充実	5.子育て支援の 充実	6.介護保険相談 窓口の充実
	44.7%	42.0%	22.6%	21.7%	18.1%
60 代	3.高齢者福祉の 充実	2.地域ぐるみの 福祉の充実	1.保健・医療の 充実	5.子育て支援の 充実	6.介護保険相談 窓口の充実
	48.2%	28.8%	28.3%	24.3%	21.7%
70 歳以上	3.高齢者福祉の 充実	1.保健・医療の 充実	2.地域ぐるみの 福祉の充実	6.介護保険相談 窓口の充実	5.子育て支援の 充実
	44.5%	33.5%	23.2%	16.5%	15.4%

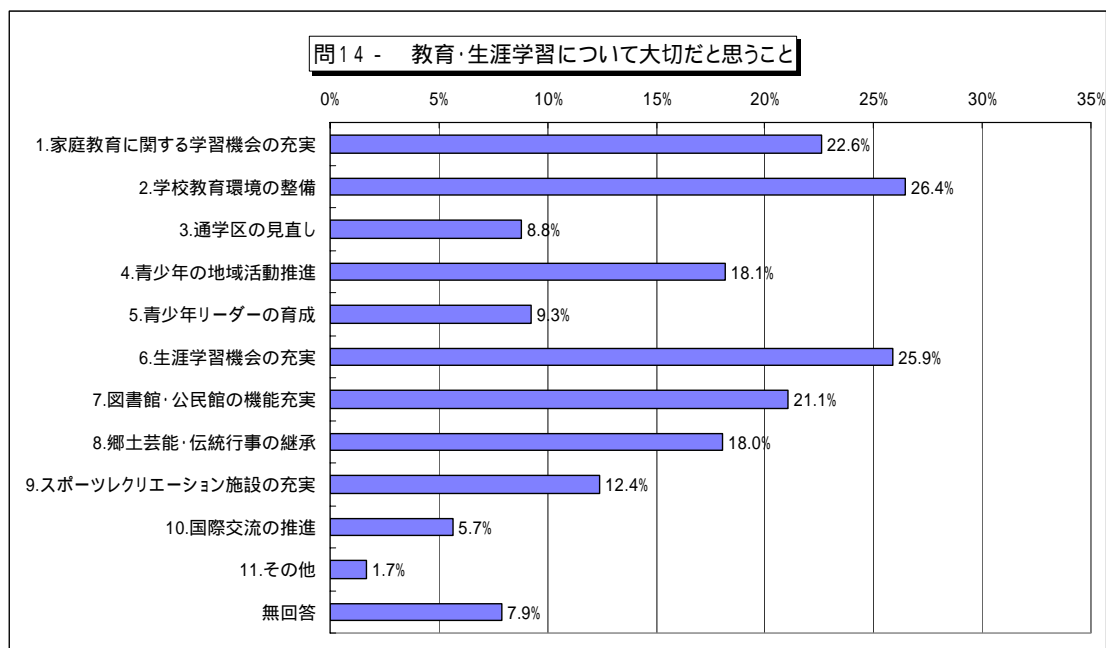
- ・「3.高齢者福祉の充実」「2.地域ぐるみの福祉の充実」は、高齢層になるほど高い割合になる傾向にある。
- ・「5.子育て支援の充実」は、若年層になるほど高い割合になる傾向にある。
- ・40代以下では、「9.防犯体制の充実」が4位から5位までに入っている。
- ・50代、60代、70代は、5位までの項目が全体と同じである。

居住地別傾向

居住地	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
旧黒部市	3.高齢者福祉の 充実	1.保健・医療の 充実	5.子育て支援の 充実	2.地域ぐるみの 福祉の充実	6.介護保険相談 窓口の充実
	42.0%	37.7%	28.0%	20.0%	15.4%
旧宇奈月町	3.高齢者福祉の 充実	1.保健・医療の 充実	5.子育て支援の 充実	2.地域ぐるみの 福祉の充実	6.介護保険相談 窓口の充実
	41.6%	40.1%	24.8%	24.0%	13.1%

- ・旧黒部市、旧宇奈月町ともに全体と同じ順位である。

教育・生涯学習
分野別傾向



	1位	2位	3位	4位	5位
全 体	2. 学校教育環境の整備	6. 生涯学習機会の充実	1. 家庭教育に関する学習機会の充実	7. 図書館・公民館の機能充実	4. 青少年の地域活動推進
	26.4%	25.9%	22.6%	21.1%	18.1%

・「2 学校教育環境の整備」が 26.4%と最も多く、次いで「6.生涯学習機会の充実」が 25.9%、「1.家庭教育に関する学習機会の充実」が 22.6%となっている。

性別傾向

性 別	1位	2位	3位	4位	5位
男 性	6. 生涯学習機会の充実	2. 学校教育環境の整備	1. 家庭教育に関する学習機会の充実	8. 郷土芸能・伝統行事の継承	4. 青少年の地域活動推進
	28.1%	27.9%	20.9%	20.3%	19.2%
女 性	2. 学校教育環境の整備	1. 家庭教育に関する学習機会の充実	6. 生涯学習機会の充実	7. 図書館・公民館の機能充実	4. 青少年の地域活動推進
	25.5%	24.3%	23.9%	23.6%	17.8%

・男性は、1位から3位と5位の項目は全体と同じであるが、「8.郷土芸能・伝統行事の継承」が4位に入っている。
 ・女性は、1位から5位までの項目は全体と同じであるが、「1.家庭教育に関する学習機会の充実」（全体3位）が2位となっている。

年齢別傾向

年 齢	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
20 代	2. 学校教育環境の整備	7. 図書館・公民館の機能充実	6. 生涯学習機会の充実	8. 郷土芸能・伝統行事の継承	9. スポーツレクリエーション施設の充実
	26.7%	25.0%	18.3%	18.3%	
30 代	2. 学校教育環境の整備	7. 図書館・公民館の機能充実	9. スポーツレクリエーション施設の充実	1. 家庭教育に関する学習機会の充実	8. 郷土芸能・伝統行事の継承
	38.2%	25.5%	23.6%	21.8%	16.4%
40 代	2. 学校教育環境の整備	7. 図書館・公民館の機能充実	6. 生涯学習機会の充実	1. 家庭教育に関する学習機会の充実	9. スポーツレクリエーション施設の充実
	36.6%	26.9%	25.5%	18.6%	16.6%
50 代	6. 生涯学習機会の充実	2. 学校教育環境の整備	4. 青少年の地域活動推進	7. 図書館・公民館の機能充実	1. 家庭教育に関する学習機会の充実
	31.4%	26.5%	22.1%	20.8%	19.9%
60 代	6. 生涯学習機会の充実	1. 家庭教育に関する学習機会の充実	2. 学校教育環境の整備	8. 郷土芸能・伝統行事の継承	7. 図書館・公民館の機能充実
	33.2%	25.7%	23.9%	21.2%	17.7%
70 歳以上	1. 家庭教育に関する学習機会の充実	6. 生涯学習機会の充実	4. 青少年の地域活動推進	2. 学校教育環境の整備	7. 図書館・公民館の機能充実
	26.8%	22.4%	20.1%	18.1%	

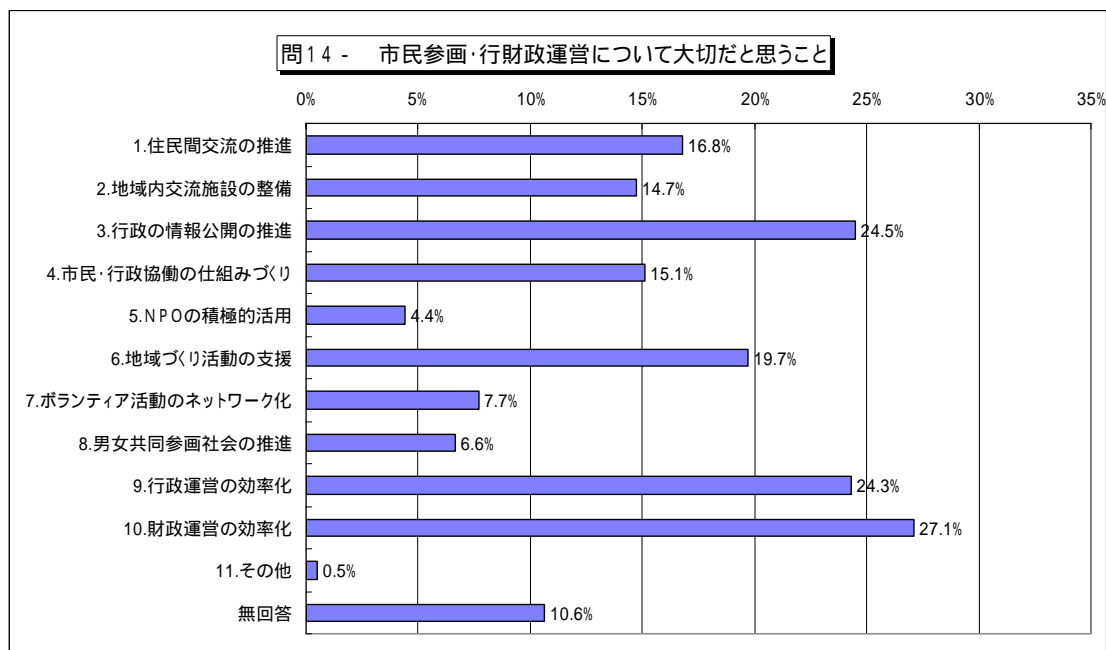
- ・「1. 家庭教育に関する学習機会の充実」「6. 生涯学習機会の充実」は、高齢層になるほど高い割合になる傾向にある。
- ・「2. 学校教育環境の整備」「7. 図書館・公民館の機能充実」は、若年層になるほど高い割合になる傾向にある。
- ・40 代以下では、「9. スポーツレクリエーション施設の充実」が3 位から5 位までに入っている。

居住地別傾向

居住地	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
旧黒部市	2. 学校教育環境の整備	6. 生涯学習機会の充実	7. 図書館・公民館の機能充実	1. 家庭教育に関する学習機会の充実	4. 青少年の地域活動推進
	29.6%	24.4%	24.1%	23.9%	18.0%
旧宇奈月町	6. 生涯学習機会の充実	8. 郷土芸能・伝統行事の継承	2. 学校教育環境の整備	1. 家庭教育に関する学習機会の充実	4. 青少年の地域活動推進
	28.5%	24.5%	22.0%	20.8%	18.6%

- ・旧黒部市は、5 位までの項目は全体と同じであるが、「1. 家庭教育に関する学習機会の充実」(全体3 位)と「7. 図書館・公民館の機能充実」(全体4 位)の順位が入れ替わっている。
- ・旧宇奈月町は、全体と比較すると、1 位と3 位から5 位までの項目は全体と同じであるが、「8. 郷土芸能・伝統行事の継承」が2 位となっている。

市民参画・行財政運営
分野別傾向



	1位	2位	3位	4位	5位
全 体	10. 財政運営の効率化 27.1%	3. 行政の情報公開の推進 24.5%	9. 行政運営の効率化 24.3%	6. 地域づくり活動の支援 19.7%	1. 住民間交流の推進 16.8%

- ・「10. 財政運営の効率化」が 27.1%と最も多く、次いで「3. 行政の情報公開の推進」が 24.5%、「9. 行政運営の効率化」が 24.3%となっている。

性別傾向

性 別	1位	2位	3位	4位	5位
男 性	10. 財政運営の効率化 31.2%	9. 行政運営の効率化 28.3%	3. 行政の情報公開の推進 26.8%	6. 地域づくり活動の支援 20.0%	4. 市民・行政協働の仕組みづくり 18.5%
女 性	10. 財政運営の効率化 24.3%	3. 行政の情報公開の推進 23.0%	9. 行政運営の効率化 21.0%	6. 地域づくり活動の支援 19.7%	1. 住民交流の推進 18.3%

- ・男性は、1位から4位までの項目は全体と同じであるが、「4. 市民・行政協働の仕組みづくり」が5位に入っている。
- ・女性は、全体と同じ順位である。

年齢別傾向

年 齢	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
20 代	6. 地域づくり活動の支援	10. 財政運営の効率化	2. 地域内交流施設の整備	1. 住民交流の推進	3. 行政の情報公開の推進
	26.7%	25.0%	18.3%	16.7%	
30 代	10. 財政運営の効率化	3. 行政の情報公開の推進	6. 地域づくり活動の支援	1. 住民交流の推進	9. 行政運営の効率化
	29.1%	24.5%	20.9%	19.1%	18.2%
40 代	10. 財政運営の効率化	9. 行政運営の効率化	3. 行政の情報公開の推進	2. 地域内交流施設の整備	4. 市民・行政協働の仕組みづくり
	29.0%	27.6%	21.4%	20.7%	18.6%
50 代	3. 行政の情報公開の推進	10. 財政運営の効率化	9. 行政運営の効率化	4. 市民・行政協働の仕組みづくり	1. 住民交流の推進
	28.8%	27.0%	26.5%	16.8%	16.4%
60 代	10. 財政運営の効率化	9. 行政運営の効率化	3. 行政の情報公開の推進	6. 地域づくり活動の支援	1. 住民交流の推進
	31.9%	28.3%	21.2%	19.9%	18.1%
70 歳以上	3. 行政の情報公開の推進	6. 地域づくり活動の支援	10. 財政運営の効率化	9. 行政運営の効率化	1. 住民交流の推進
	27.6%	22.4%	22.0%	21.7%	18.9%

- ・20代では、「6. 地域づくり活動の支援」との回答の割合が高く、「3. 行政の情報公開の推進」との回答の割合が低い。
- ・40代、50代、60代では、「9. 行政運営の効率化」との回答の割合が高い。
- ・40代、50代では、「4. 市民・行政協働の仕組みづくり」との回答がみられる。
- ・20代、40代では、「2. 地域内交流施設の整備」との回答がみられる。

居住地別傾向

居住地	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
旧黒部市	10. 財政運営の効率化	9. 行政運営の効率化	3. 行政の情報公開の推進	4. 市民・行政協働の仕組みづくり	6. 地域づくり活動の支援
	29.1%	25.7%	23.6%	17.4%	16.7%
旧宇奈月町	3. 行政の情報公開の推進	6. 地域づくり活動の支援	10. 財政運営の効率化	9. 行政運営の効率化	1. 住民交流の推進
	25.7%	24.3%		22.3%	19.6%

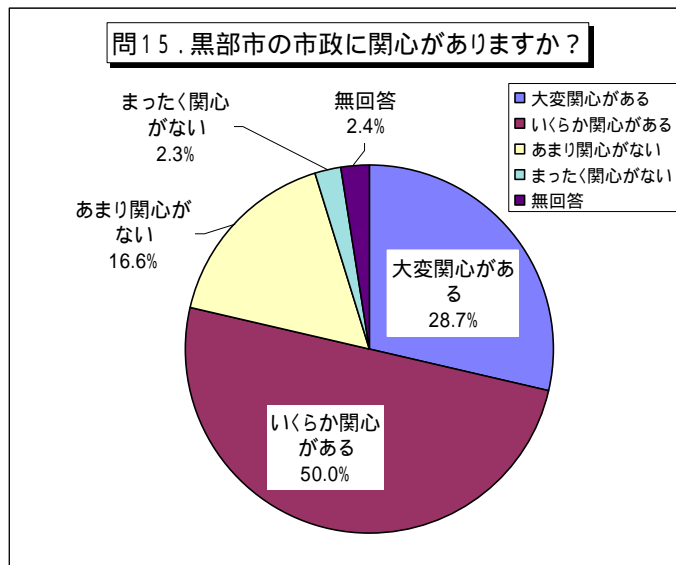
- ・旧黒部市は、「4. 市民・行政協働の仕組みづくり」が4位に入っている。
- ・旧宇奈月町は、5位までの項目は全体と同じである。

7) 市政への関心 (問 15)

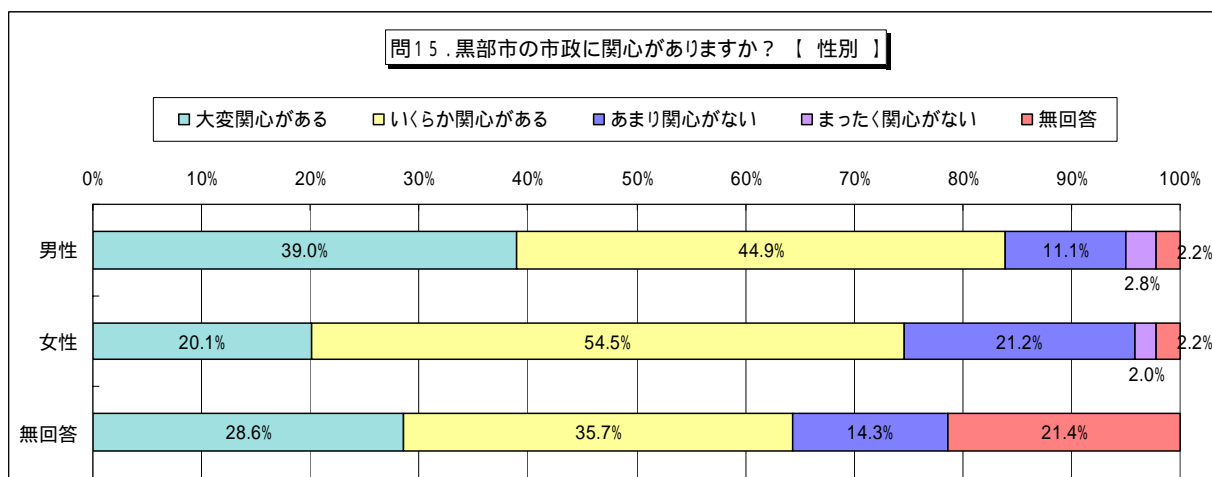
全体傾向

選択項目	人数	構成比
大変関心がある	294	28.7%
いづらか関心がある	512	50.0%
あまり関心がない	170	16.6%
まったく関心がない	24	2.3%
無回答	25	2.4%
合計	1,025	100%

- ・「大変関心がある」(28.7%)「いづらか関心がある」(50.0%)をあわせると、78.7%の人が、市政になんらかの関心を持っている。

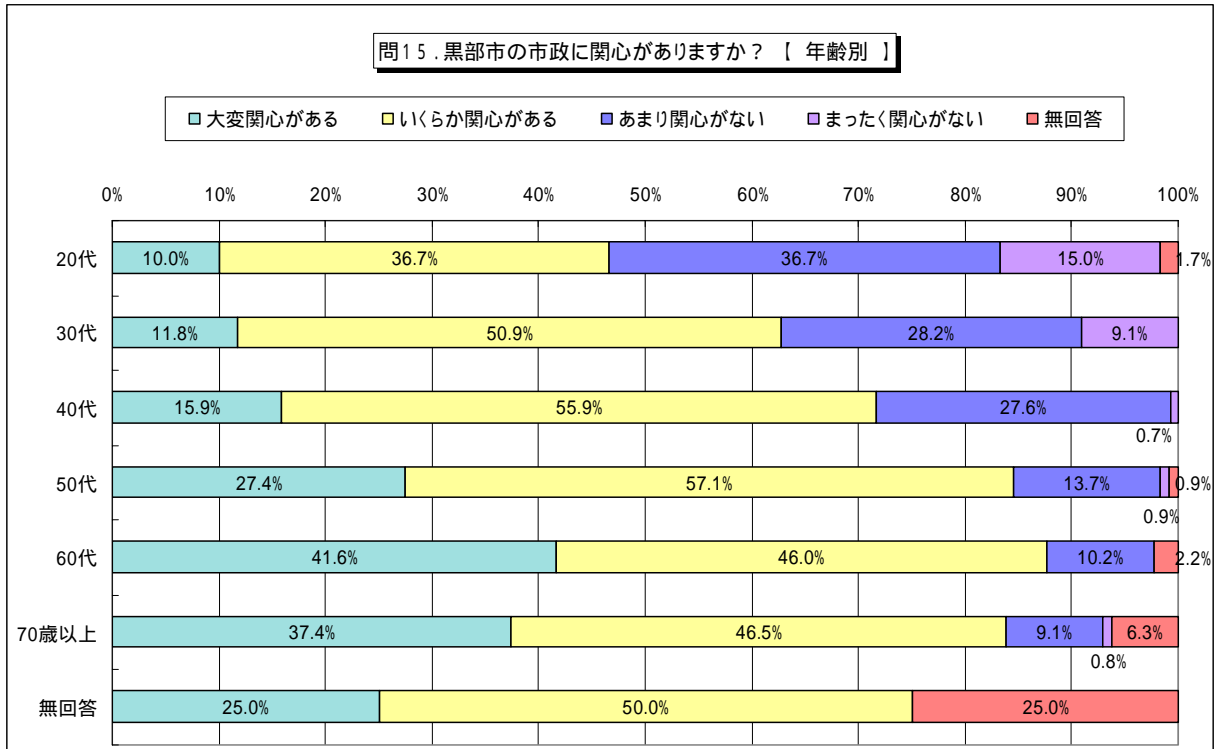


性別傾向



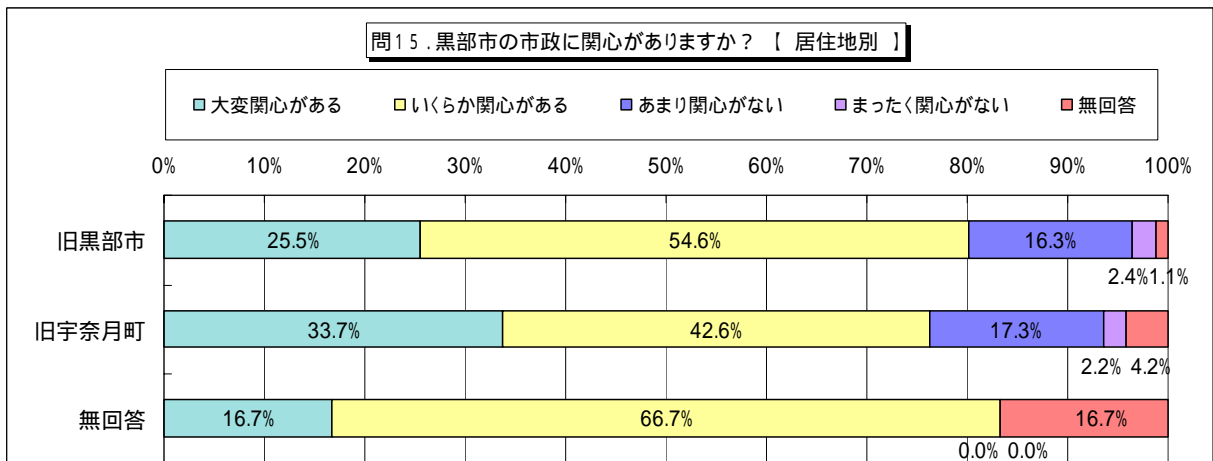
- ・「大変関心がある」「いづらか関心がある」をあわせると、男性(83.9%)の方が女性(74.6%)より、1割程度多い。

年齢別傾向



- ・「大変関心がある」「いくらか関心がある」をあわせると、高齢層になるほど割合が高くなり、50歳以上（50代84.5%、60代87.6%、70歳以上83.9%）では8割を超えている。
- ・60歳以上では、「大変関心がある」（60代41.6%、70歳以上37.4%）の割合が高い。

居住地別傾向

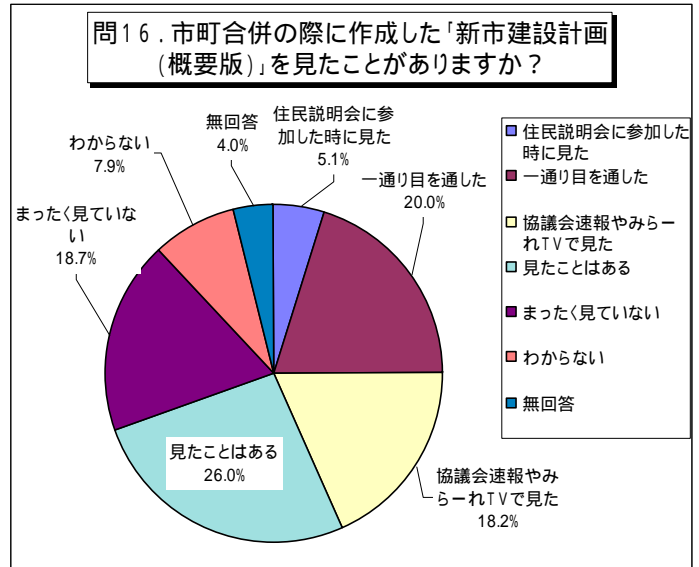


- ・「大変関心がある」「いくらか関心がある」をあわせると、旧黒部市（80.1%）、旧宇奈月町（76.3%）ともに高い割合となっている。
- ・「大変関心がある」については、旧黒部市（25.5%）より旧宇奈月町（33.7%）の方が高い割合となっている。

8)「新市建設計画(概要版)」について (問16)

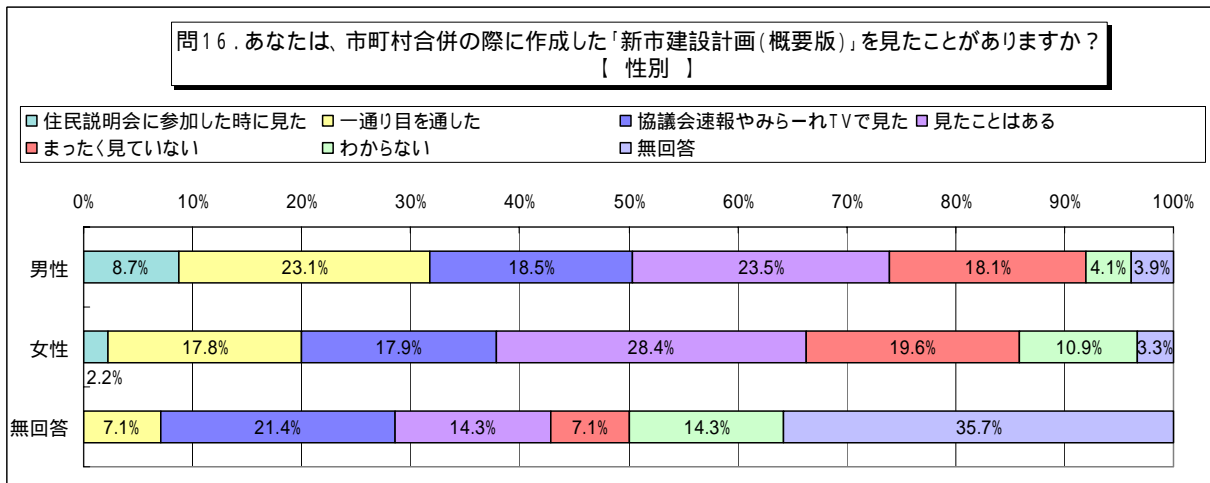
全体傾向

選択項目	人数	構成比
住民説明会に参加した時に見た	52	5.1%
一通り目を通した	205	20.0%
協議会速報やみらーれTVで見た	187	18.2%
見たことはある	267	26.0%
まったく見ていない	192	18.7%
わからない	81	7.9%
無回答	41	4.0%
合計	1,025	100%



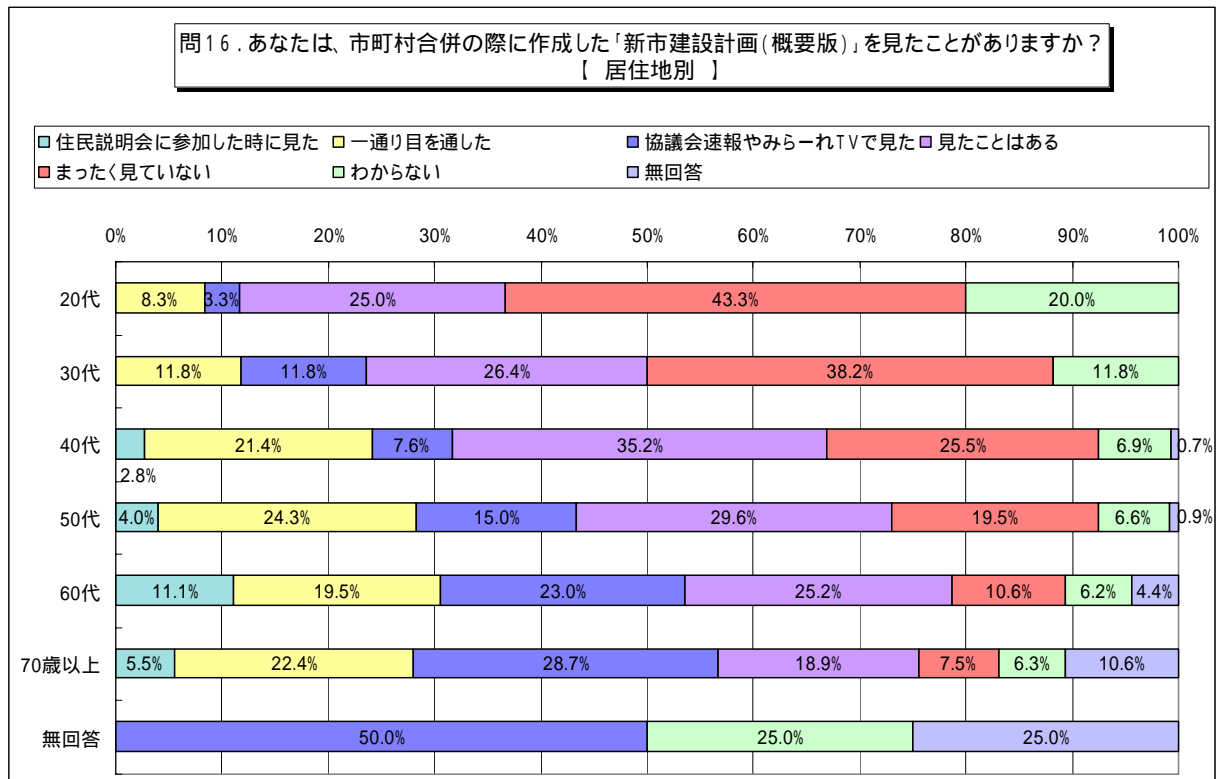
- ・「住民説明会に参加した時に見た」(5.1%)「一通り目を通した」(20.0%)「協議会速報やみらーれTVで見た」(18.2%)「見たことはある」(26.0%)をあわせると、69.3%の人が新市建設計画(概要版)を見たことがある。

性別傾向



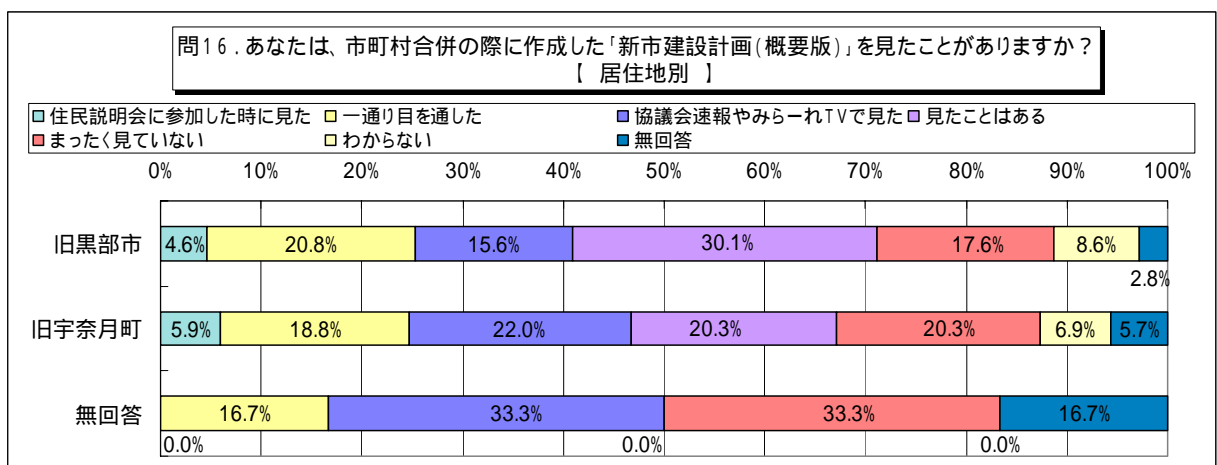
- ・「住民説明会に参加した時に見た」「一通り目を通した」「協議会速報やみらーれTVで見た」「見たことはある」をあわせると、男性(73.8%)の方が女性(66.3%)より、新市建設計画(概要版)を見たことがある割合が高い。
- ・男性女性ともに、「協議会速報やみらーれTVで見た」(男性23.5%、女性28.4%)との回答が最も多い。

年齢別傾向



- ・「住民説明会に参加した時に見た」「一通り目を通した」「協議会速報やみらーれTVで見た」「見たことはある」をあわせると、高齢層になるほど割合が高くなり、50歳以上（50代72.9%、60代78.8%、70歳以上75.5%）では7割を超えている。
- ・高齢層になるほど「協議会速報やみらーれTVで見た」の割合が高くなる傾向にある。

居住地別傾向



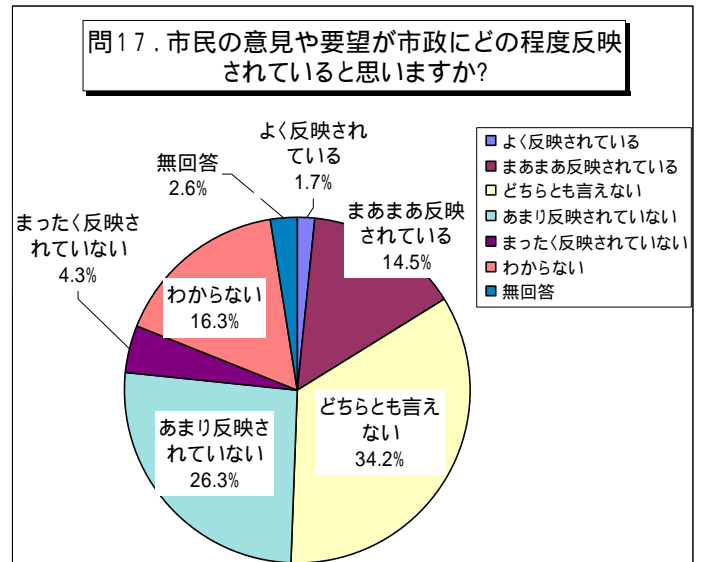
- ・「住民説明会に参加した時に見た」「一通り目を通した」「協議会速報やみらーれTVで見た」「見たことはある」をあわせると、旧黒部市（71.1%）の方が旧宇奈月町（67.0%）より高い割合となっている。
- ・旧黒部市は、「見たことはある」（30.1%）との回答が最も多い。
- ・旧宇奈月町は、「協議会速報やみらーれTVで見た」（22.0%）との回答が最も多い。

9) 市民意見反映について (問17)

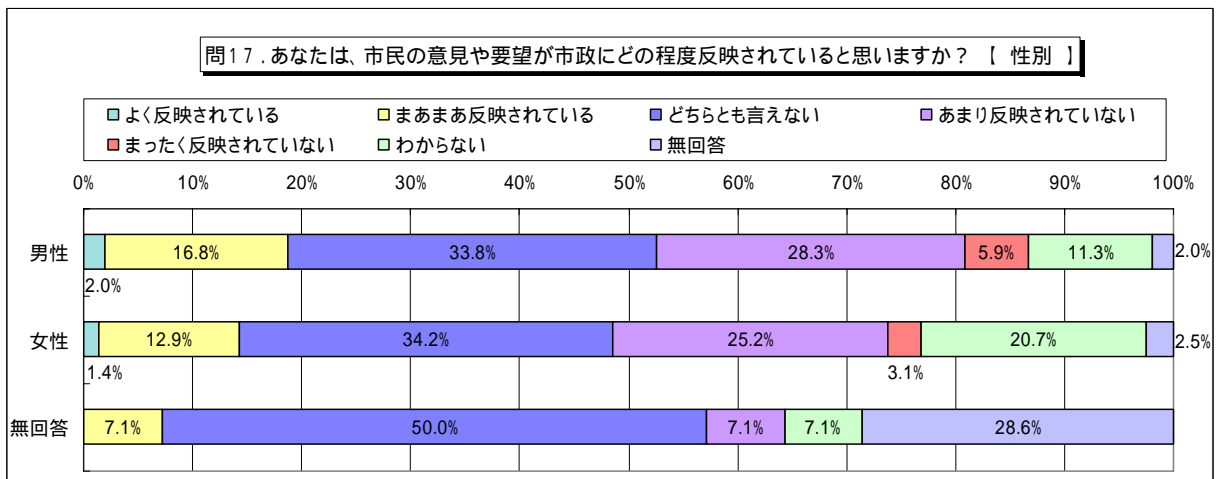
全体傾向

選択項目	人数	構成比
よく反映されている	17	1.7%
まあまあ反映されている	149	14.5%
どちらとも言えない	351	34.2%
あまり反映されていない	270	26.3%
まったく反映されていない	44	4.3%
わからない	167	16.3%
無回答	27	2.6%
合計	1,025	100%

- ・「よく反映されている」(1.7%)「まあまあ反映されている」(14.5%)をあわせると、意見が何らかの形で反映されていると感じている人は、わずか16.2%である。

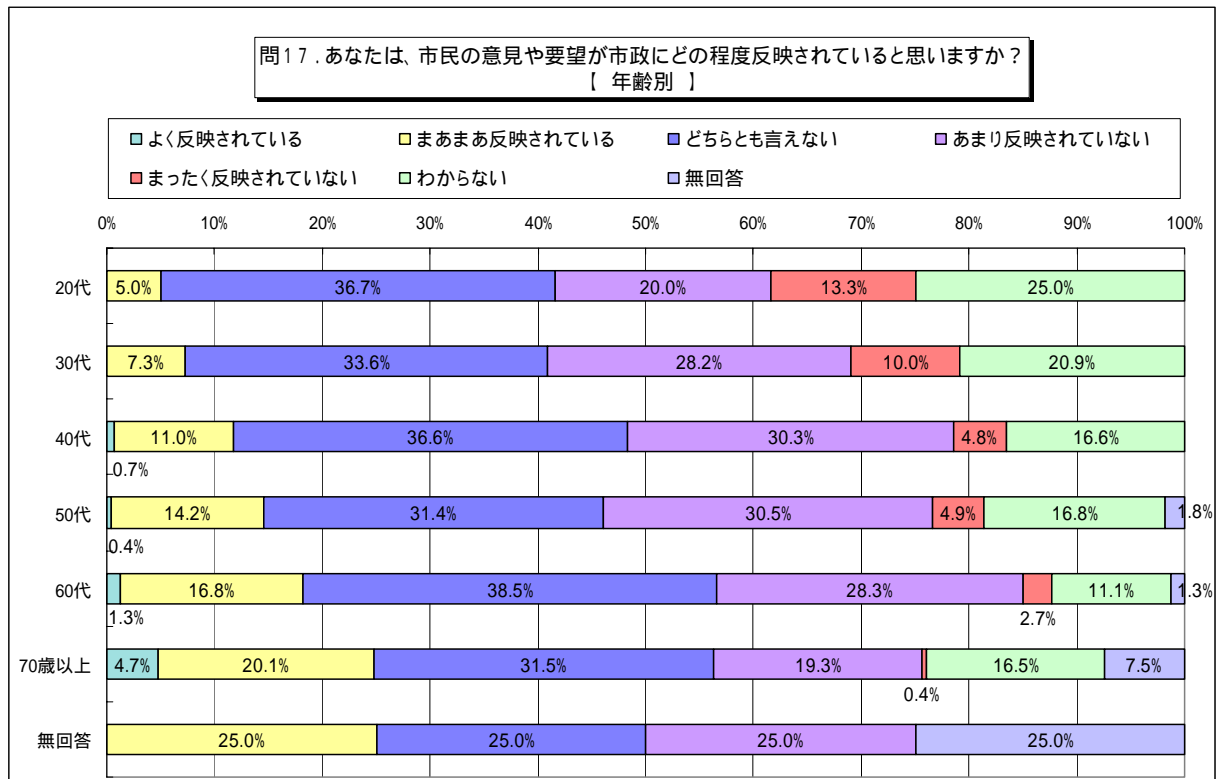


性別傾向



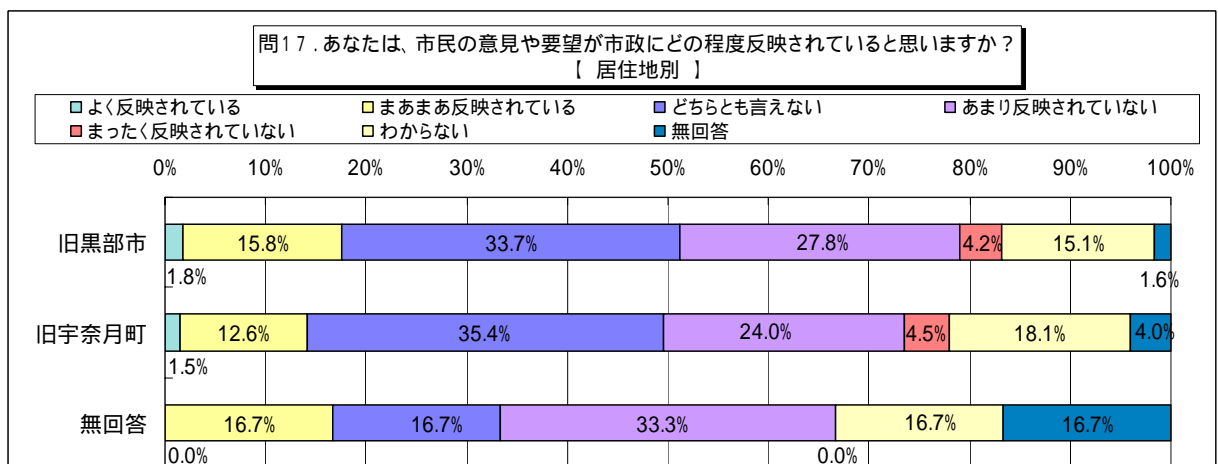
- ・男性女性ともに、「よく反映されている」と「まあまあ反映されている」の合計(男性18.8%、女性14.3%)より、「あまり反映されていない」と「まったく反映されていない」の合計(男性34.2%、女性28.3%)の方が高い割合となっている。
- ・男性女性ともに、「どちらとも言えない」(男性33.8%、女性34.2%)との回答が最も多い。

年齢別傾向



- ・「よく反映されている」と「まあまあ反映されている」をあわせると、高齢層になるほど高い割合になる傾向にある。
- ・70歳以上では、「あまり反映されていない」と「まったく反映されていない」をあわせると19.7%と最も低い割合となっている。その他の年齢層では、30～40%程度となっている。

居住地別傾向



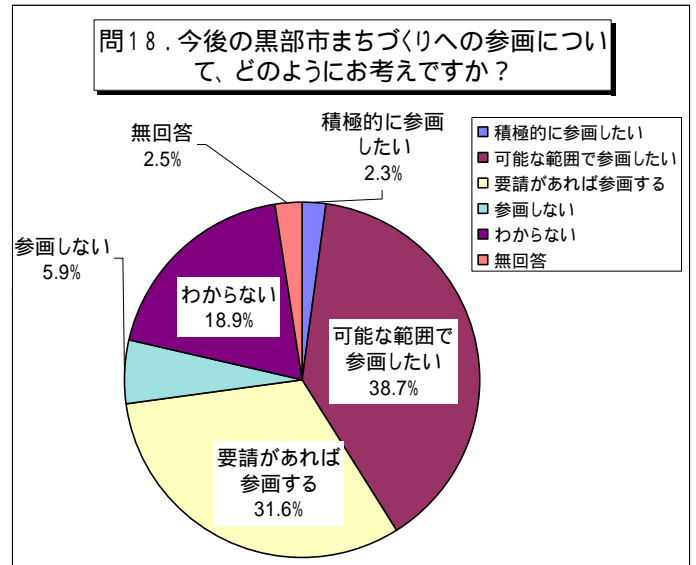
- ・旧黒部市、旧宇奈月町ともに、「よく反映されている」と「まあまあ反映されている」の合計（旧黒部市17.6%、旧宇奈月町14.1%）より、「あまり反映されていない」と「まったく反映されていない」の合計（旧黒部市32.0%、旧宇奈月町28.5%）の方が高い割合となっている。
- ・旧黒部市、旧宇奈月町ともに、「どちらとも言えない」（旧黒部市33.7%、旧宇奈月町35.4%）との回答が最も多い。

10) 今後の黒部市のまちづくりへの参画について (問18)

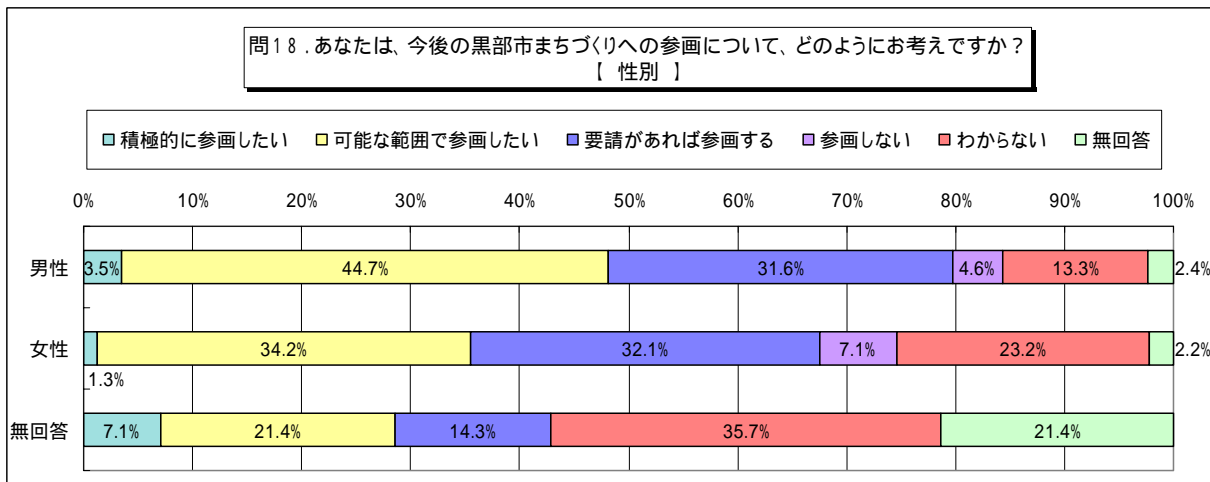
全体傾向

選択項目	人数	構成比
積極的に参画したい	24	2.3%
可能な範囲で参画したい	397	38.7%
要請があれば参画する	324	31.6%
参画しない	60	5.9%
わからない	194	18.9%
無回答	26	2.5%
合計	1,025	100%

- ・「積極的に参画したい」(2.3%)「可能な範囲で参画したい」(38.7%)「要請があれば参画する」(31.6%)をあわせると、72.6%の人が、まちづくりへの参画意思を持っている。

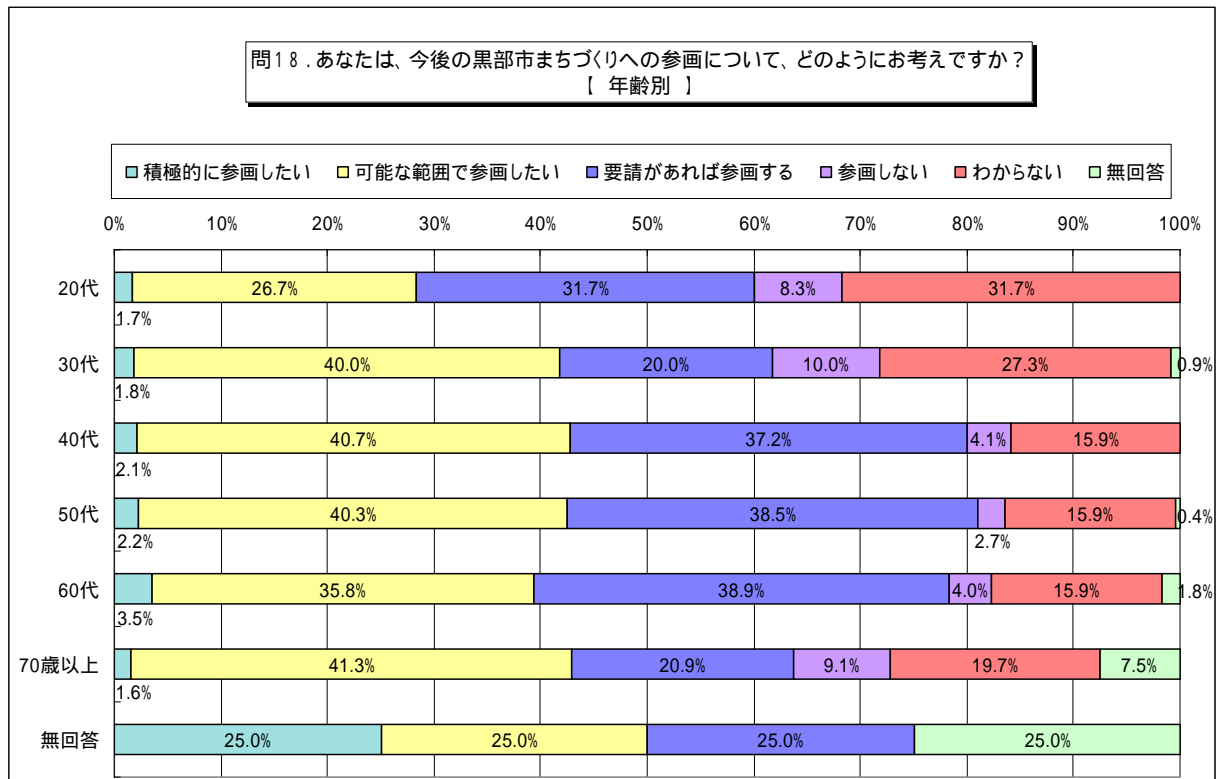


性別傾向



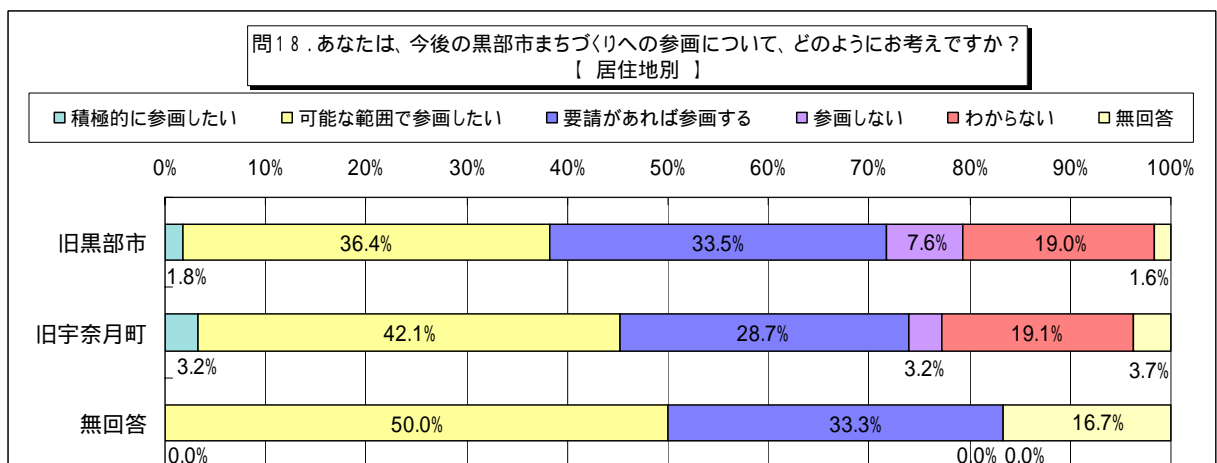
- ・「積極的に参画したい」「可能な範囲で参画したい」「要請があれば参画する」をあわせると男性(79.8%)の方が、女性(67.6%)より高い割合となっている。
- ・男性女性ともに、「可能な範囲で参画したい」(男性44.7%、女性34.2%)との回答が最も多い。

年齢別傾向



- ・「積極的に参画したい」「可能な範囲で参画したい」「要請があれば参画する」をあわせると、高齢層になるほど高い割合になる傾向にある。
- ・「参画しない」との回答とが、20代（8.3%）、30代（10.0%）、70歳以上（9.1%）で多い。
- ・20代では、「可能な限り参画したい」との回答とが、26.7%と少ない。
- ・30代、70歳以上では、「要請があれば参画する」との回答とが、それぞれ20.0%、20.9%と少ない。

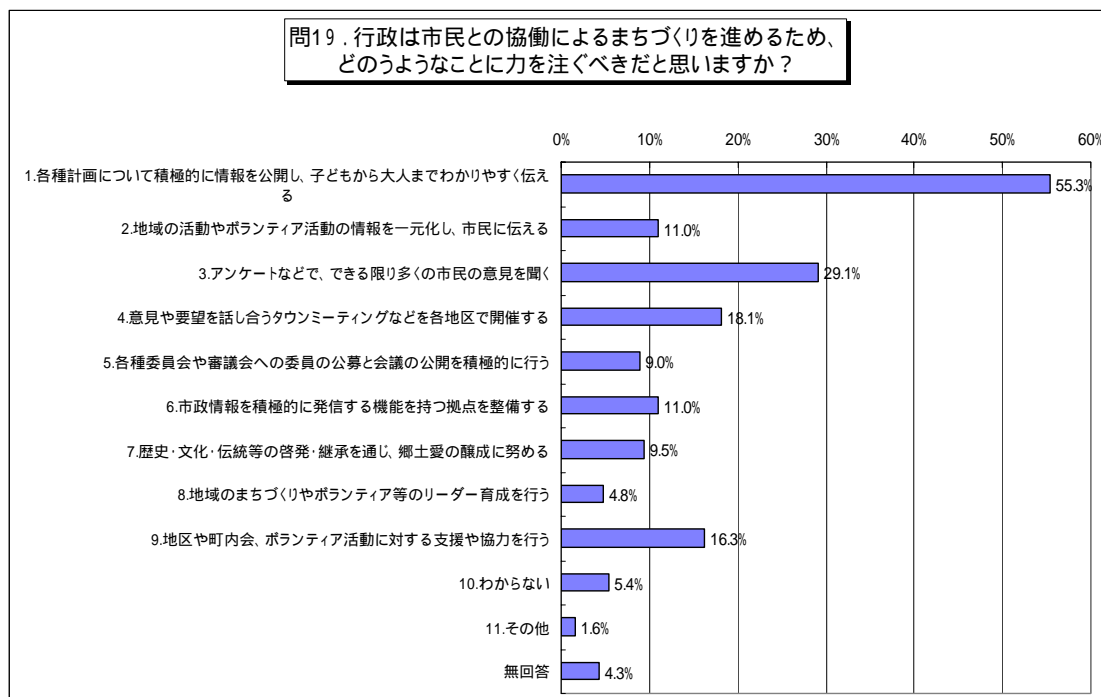
居住地別傾向



- ・「積極的に参画したい」「可能な範囲で参画したい」「要請があれば参画する」をあわせると旧黒部市（71.7%）より、旧宇奈月町（74.0%）の方が高い割合となっている。
- ・旧黒部市、旧宇奈月町ともに、「可能な範囲で参画したい」（旧黒部市36.4%、旧宇奈月町42.1%）との回答が最も多い。

1 1) 市民の協働によるまちづくりについて (問 19)

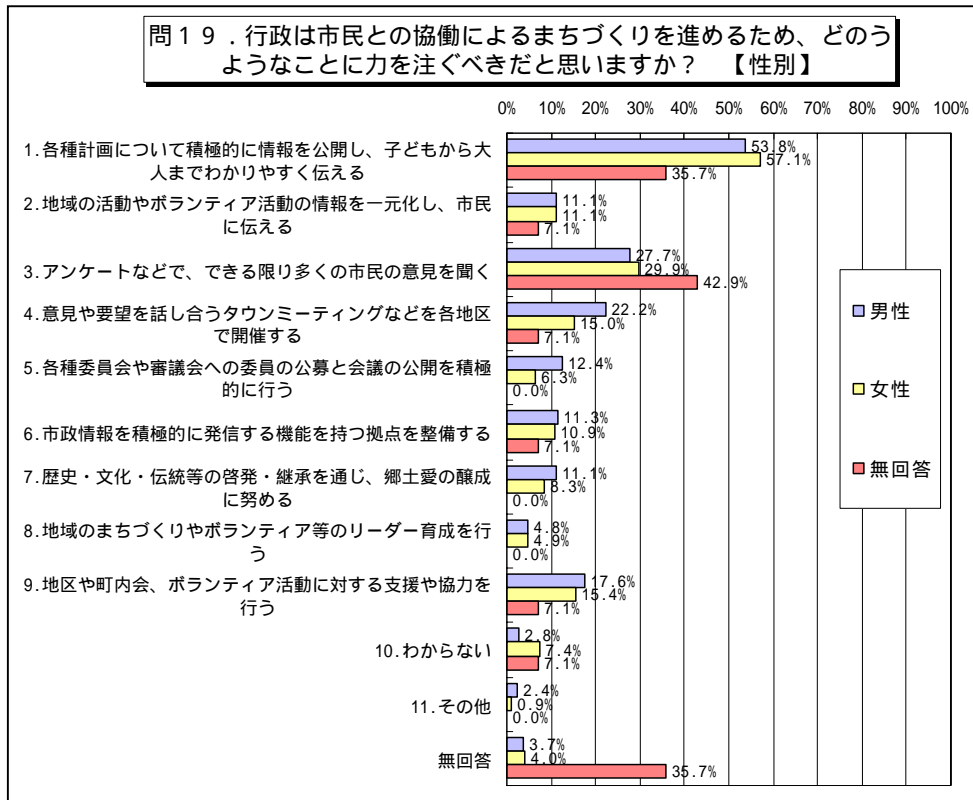
全体傾向



	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体	1.各種計画について積極的に情報を公開し、子どもから大人までわかりやすく伝える	3.アンケートなどで、できる限り多くの市民の意見を聞く	4.意見や要望を話し合うタウンミーティングなどを各地区で開催する	9.地区や町内会、ボランティア活動に対する支援や協力を行う	2.地域の活動やボランティア活動の情報を一元化し、市民に伝える
	55.3%	29.1%	18.1%	16.3%	11.0%

- ・「1.各種計画について積極的に情報を公開し、子どもから大人までわかりやすく伝える」が55.3%と最も多く、次いで「3.アンケートなどで、できる限り多くの市民意見を聞く」が29.1%、「4.意見や要望を話し合うタウンミーティングなどを各地で開催する」が18.1%となっている。

性別傾向



性別	1位	2位	3位	4位	5位
男性	1. 各種計画について積極的に情報を公開し、子どもから大人までわかりやすく伝える 53.8%	3. アンケートなどで、できる限り多くの市民の意見を聞く 27.7%	4. 意見や要望を話し合うタウンミーティングなどを各地区で開催する 22.2%	9. 地区や町内会、ボランティア活動に対する支援や協力をを行う 17.6%	5. 各種委員会や審議会への委員の公募と会議の公開を積極的に行う 12.4%
女性	1. 各種計画について積極的に情報を公開し、子どもから大人までわかりやすく伝える 57.1%	3. アンケートなどで、できる限り多くの市民の意見を聞く 29.9%	9. 地区や町内会、ボランティア活動に対する支援や協力をを行う 15.4%	4. 意見や要望を話し合うタウンミーティングなどを各地区で開催する 15.0%	2. 地域の活動やボランティア活動の情報を一元化し、市民に伝える 11.1%

- 性別順位では、男性女性ともに「1. 各種計画について積極的に情報を公開し、子どもから大人までわかりやすく伝える」「3. アンケートなどで、できる限り多くの市民の意見を聞く」「4. 意見や要望を話し合うタウンミーティングなどを各地区で開催する」「9. 地区や町内会、ボランティア活動に対する支援や協力をを行う」の4項目が4位までに入っている。

性別格差がみられる項目

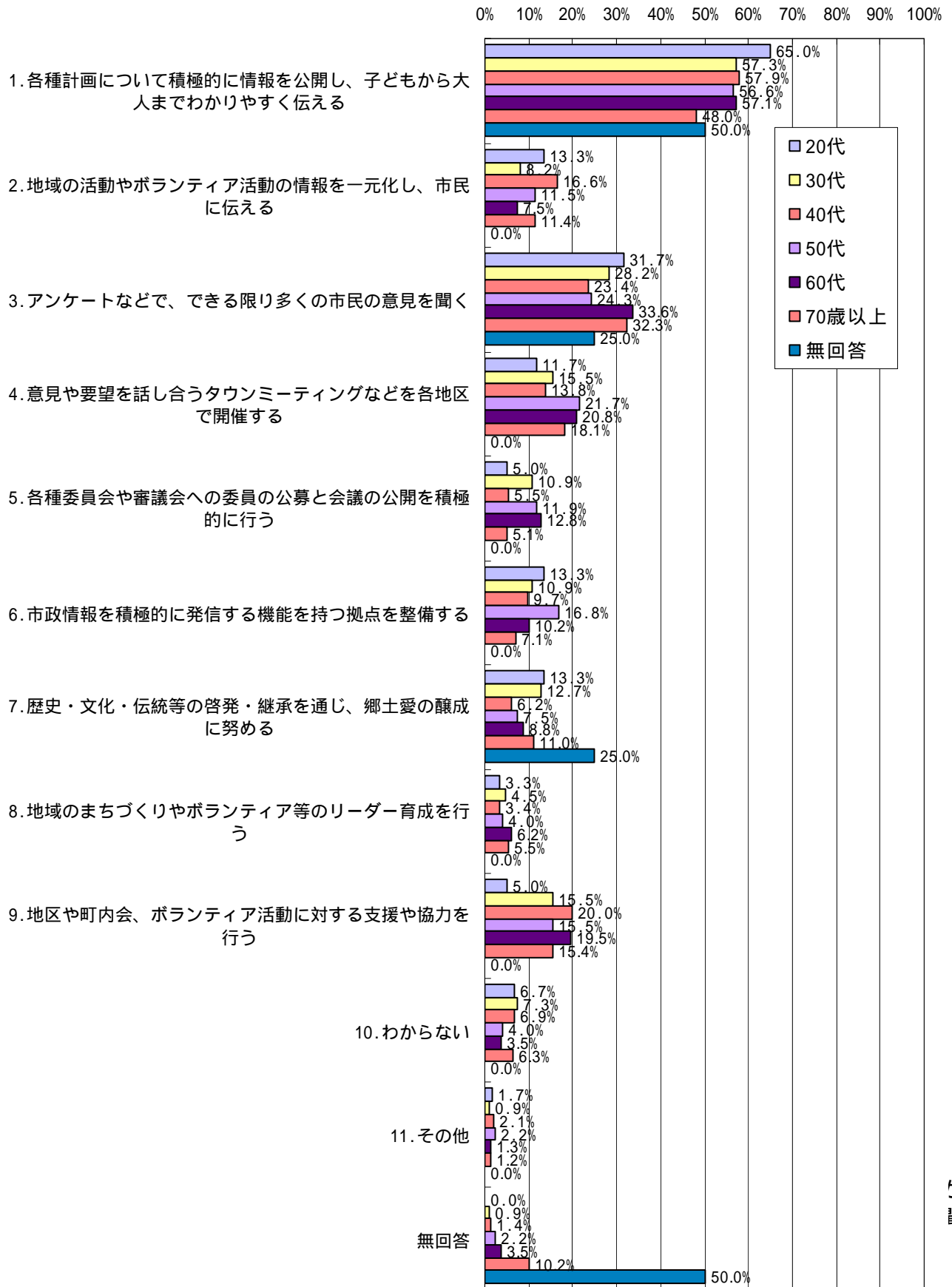
- 「4. 意見や要望を話し合うタウンミーティングなどを各地区で開催する」(男性 22.2%、女性 15.0%)「5. 各種委員会や審議会への委員の公募と会議の公開を積極的に行う」(男性 12.4%、女性 6.3%)は、男性の方が高い割合となっている。

性別格差が小さい項目

- 「2. 地域の活動やボランティア活動の情報を一元化し、市民に伝える」「6. 市政情報を積極的に発信する機能を持つ拠点を整備する」「8. 地域のまちづくりやボランティア等のリーダー育成を行う」は、性別による格差が小さい。

年齢別傾向

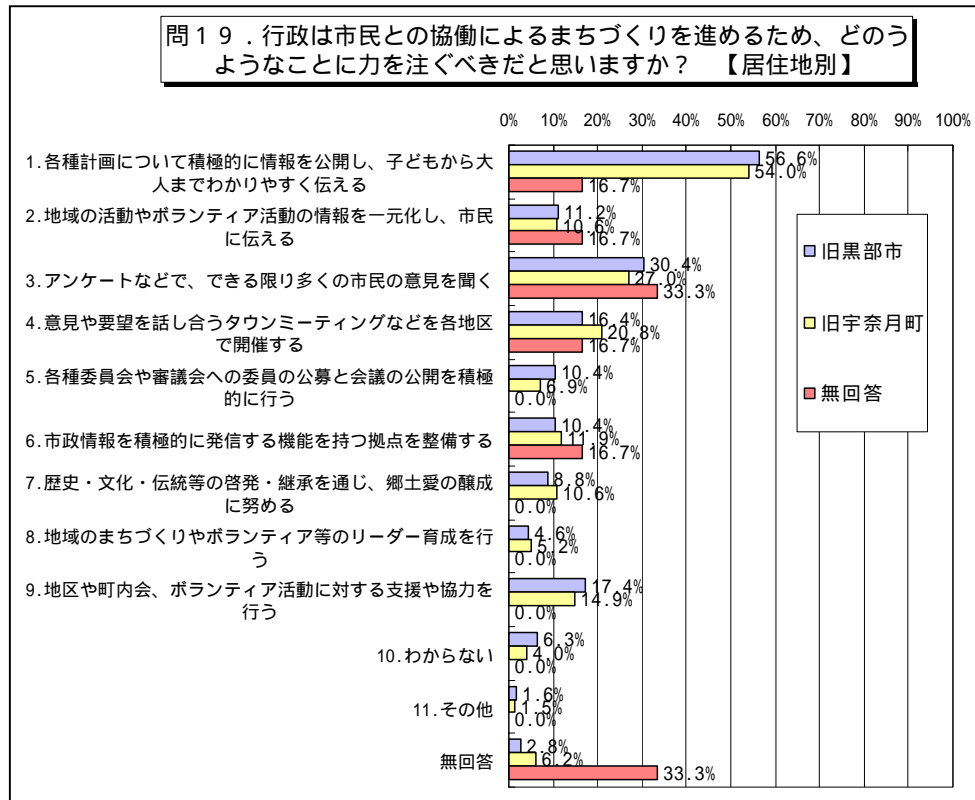
問19. 行政は市民との協働によるまちづくりを進めるため、どのようなことに力を注ぐべきだと思いますか？ 【年齢別】



年 齢	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
20 代	1. 各種計画について積極的に情報を公開し、子どもから大人までわかりやすく伝える	3. アンケートなどで、できる限り多くの市民の意見を聞く	2. 地域の活動やボランティア活動の情報を一元化し、市民に伝える	6. 市政情報を積極的に発信する機能を持つ拠点を整備する	7. 歴史・文化・伝統等の啓発・継承を通じ、郷土愛の醸成に努める
	65.0%	31.7%	13.3%		
30 代	1. 各種計画について積極的に情報を公開し、子どもから大人までわかりやすく伝える	3. アンケートなどで、できる限り多くの市民の意見を聞く	4. 意見や要望を話し合うタウンミーティングなどを各地区で開催する	9. 地区や町内会、ボランティア活動に対する支援や協力を行う	7. 歴史・文化・伝統等の啓発・継承を通じ、郷土愛の醸成に努める
	57.3%	28.2%	15.5%		12.7%
40 代	1. 各種計画について積極的に情報を公開し、子どもから大人までわかりやすく伝える	3. アンケートなどで、できる限り多くの市民の意見を聞く	9. 地区や町内会、ボランティア活動に対する支援や協力を行う	2. 地域の活動やボランティア活動の情報を一元化し、市民に伝える	4. 意見や要望を話し合うタウンミーティングなどを各地区で開催する
	57.9%	23.4%	20.0%	16.6%	13.8%
50 代	1. 各種計画について積極的に情報を公開し、子どもから大人までわかりやすく伝える	3. アンケートなどで、できる限り多くの市民の意見を聞く	4. 意見や要望を話し合うタウンミーティングなどを各地区で開催する	6. 市政情報を積極的に発信する機能を持つ拠点を整備する	9. 地区や町内会、ボランティア活動に対する支援や協力を行う
	56.6%	24.3%	21.7%	16.8%	15.5%
60 代	1. 各種計画について積極的に情報を公開し、子どもから大人までわかりやすく伝える	3. アンケートなどで、できる限り多くの市民の意見を聞く	4. 意見や要望を話し合うタウンミーティングなどを各地区で開催する	9. 地区や町内会、ボランティア活動に対する支援や協力を行う	5. 各種委員会や審議会への委員の公募と会議の公開を積極的に行う
	57.1%	33.6%	20.8%	19.5%	12.8%
70 歳以上	1. 各種計画について積極的に情報を公開し、子どもから大人までわかりやすく伝える	3. アンケートなどで、できる限り多くの市民の意見を聞く	4. 意見や要望を話し合うタウンミーティングなどを各地区で開催する	9. 地区や町内会、ボランティア活動に対する支援や協力を行う	2. 地域の活動やボランティア活動の情報を一元化し、市民に伝える
	48.0%	32.3%	18.1%	15.4%	11.4%

- ・年齢順位では、全ての年齢層で「1.水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち」が1位、「3.アンケートなどで、できる限り多くの市民の意見を聞く」が2位となっている。年齢格差がみられる項目
- ・「1.水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち」「13.学校・家庭・生涯教育などの教育環境が充実したまち」「15.スポーツや健康づくりの環境が充実した、元気で健やかなまち」は、若年層になるほど高い割合となる傾向がある。
- ・「10.誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち」「16.市民と行政が一体となったまちづくりを推進するまち」は、高齢層になるほど高い割合となる傾向がある。年齢格差が小さい項目
- ・「11.高齢者や障害者にやさしい、バリアフリーのまち」「14.文化・芸術活動が盛んな、文化の薫り高いまち」「17.地域のコミュニティ活動が盛んな、心ふれあうまち」は、年齢による格差が小さい。

居住地別傾向

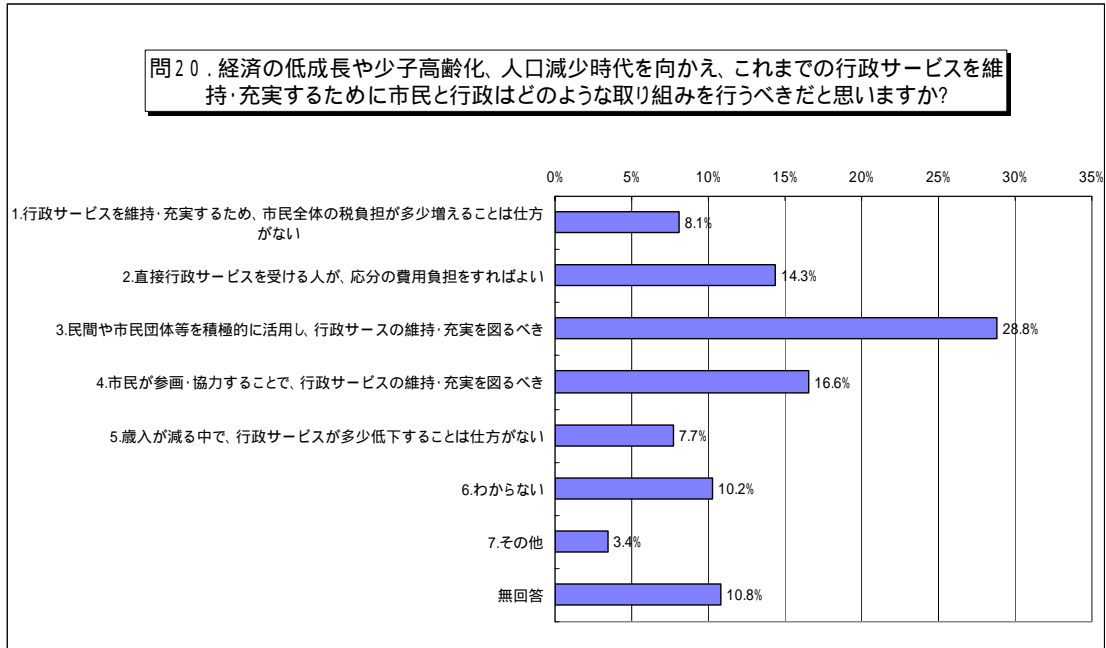


居住地	1位	2位	3位	4位	5位
旧黒部市	1. 各種計画について積極的に情報を公開し、子どもから大人までわかりやすく伝える 56.6%	3. アンケートなどで、できる限り多くの市民の意見を聞く 30.4%	9. 地区や町内会、ボランティア活動に対する支援や協力を行う 17.4%	4. 意見や要望を話し合うタウンミーティングなどを各地区で開催する 16.4%	2. 地域の活動やボランティア活動の情報を一元化し、市民に伝える 11.2%
旧宇奈月町	1. 各種計画について積極的に情報を公開し、子どもから大人までわかりやすく伝える 54.0%	3. アンケートなどで、できる限り多くの市民の意見を聞く 27.0%	4. 意見や要望を話し合うタウンミーティングなどを各地区で開催する 20.8%	9. 地区や町内会、ボランティア活動に対する支援や協力を行う 14.9%	6. 市政情報を積極的に発信する機能を持つ拠点を整備する 11.9%

- ・居住地順位では、旧黒部市、旧宇奈月町ともに「1. 各種計画について積極的に情報を公開し、子どもから大人までわかりやすく伝える」[3. アンケートなどで、できる限り多くの市民の意見を聞く]「4. 意見や要望を話し合うタウンミーティングなどを各地区で開催する」「9. 地区や町内会、ボランティア活動に対する支援や協力を行う」の4項目が上位4位に入っている。
居住地別格差が小さい項目
- ・「2. 地域の活動やボランティア活動の情報を一元化し、市民に伝える」「6. 市政情報を積極的に発信する機能を持つ拠点を整備する」「7. 歴史・文化・伝統等の啓発・継承を通じ、郷土愛の醸成に努める」「8. 地域のまちづくりやボランティア等のリーダー育成を行う」は、居住地による格差が小さい。

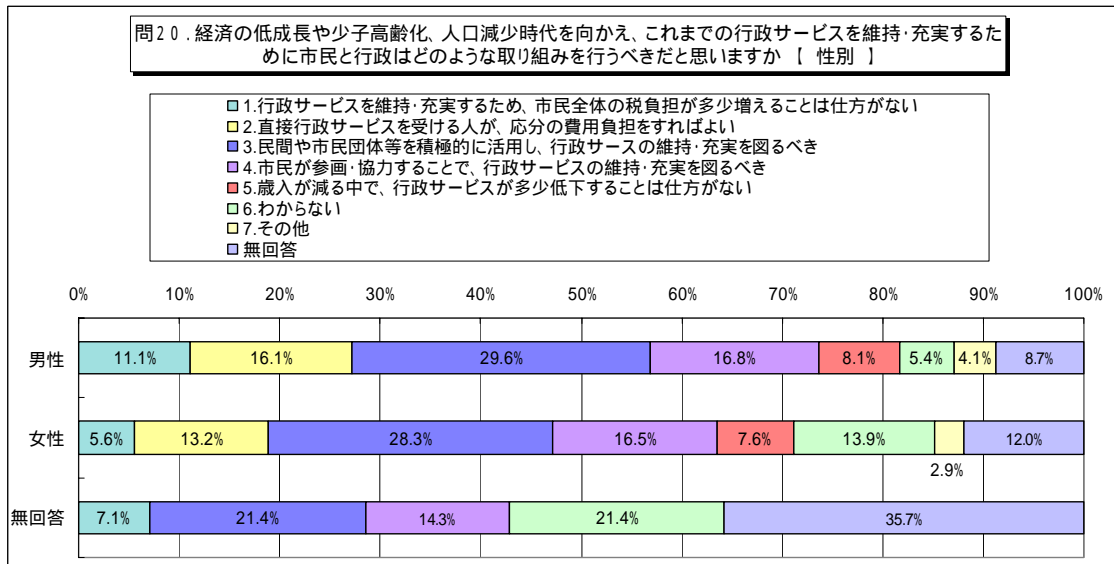
1 2) 行政サービスの維持・充実について (問 20)

全体傾向



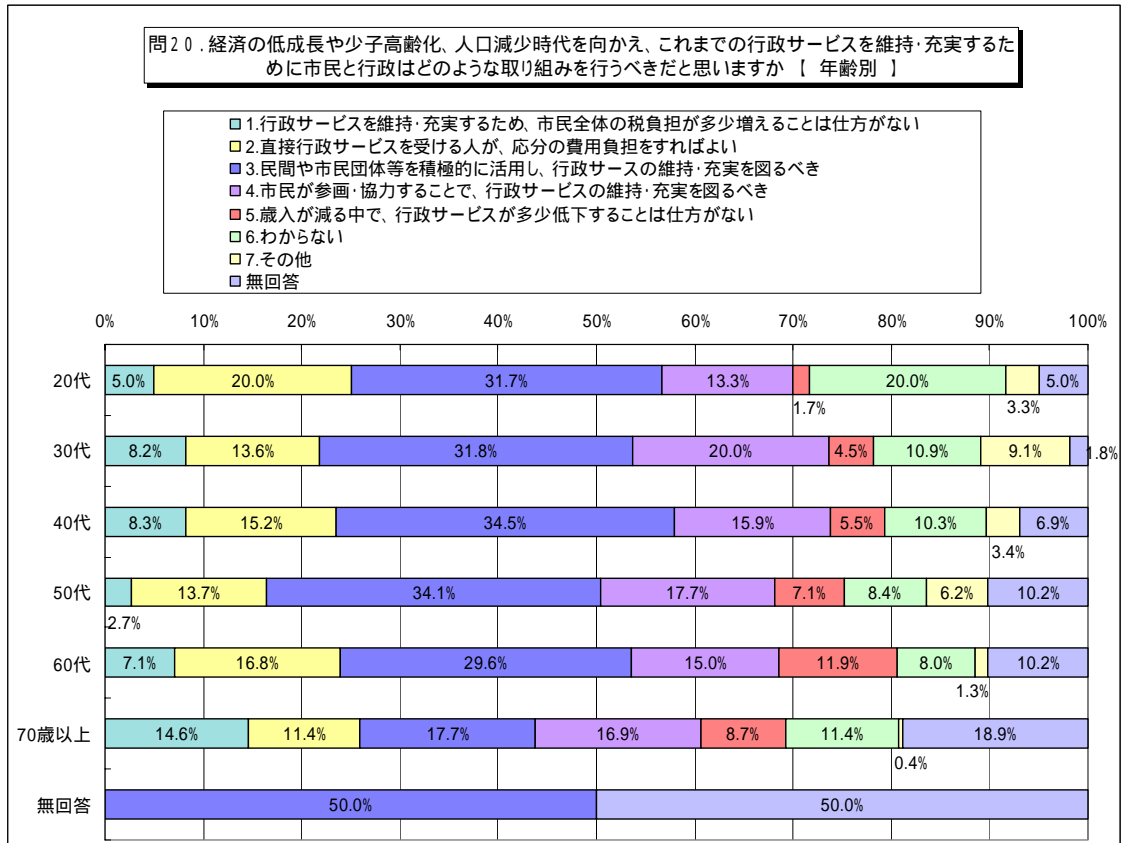
- ・「3.民間や市民団体等を積極的に活用し、行政サービスの維持・充実を図るべき」が 28.8%と最も多く、次いで「4.市民が参画・協力することで、行政サービスの維持・充実を図るべき」が 16.6%、「2.直接行政サービスを受ける人が、応分の費用負担をすればよい」が 14.3%となっている。

性別傾向



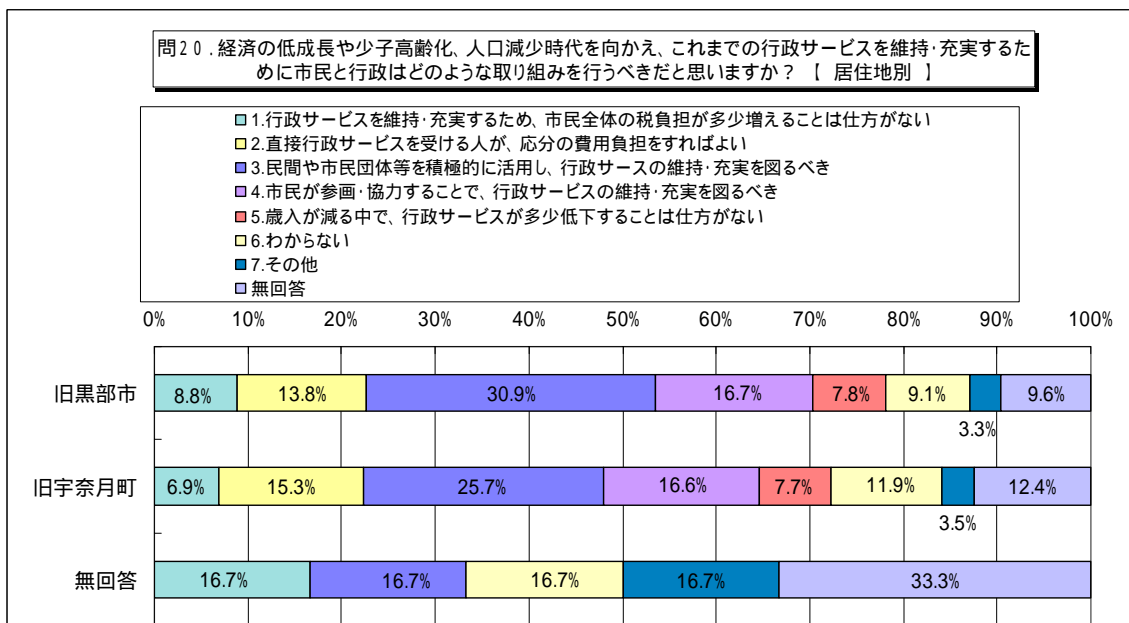
- ・男性女性ともに、「3.民間や市民団体等を積極的に活用し、行政サービスの維持・充実を図るべき」(男性 29.6%、女性 28.3%) が最も多く、次いで「4.市民が参画・協力することで、行政サービスの維持・充実を図るべき」(男性 16.8%、女性 16.5%) となっている。

年齢別傾向



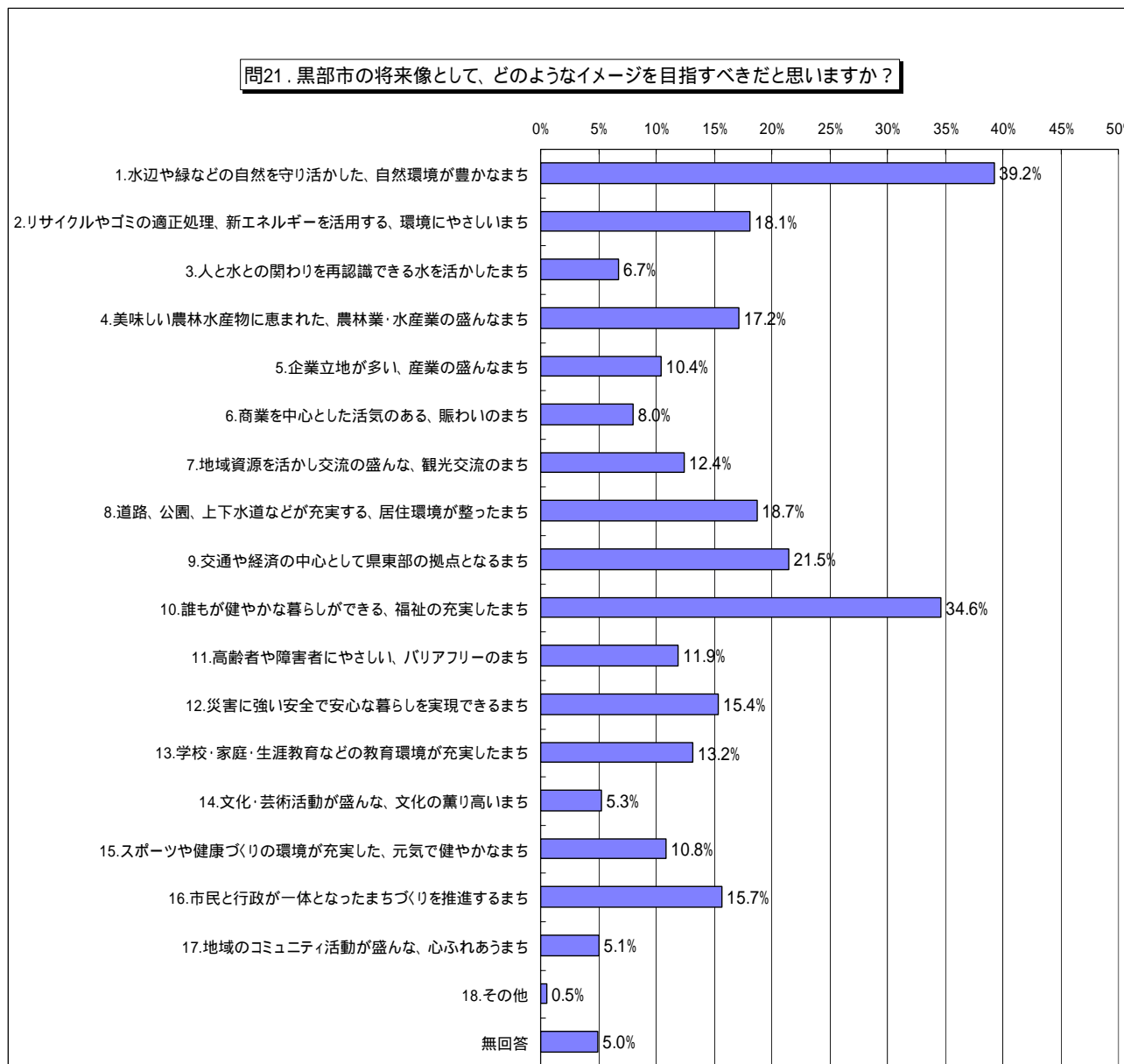
- ・全ての年齢層において、「3. 民間や市民団体等を積極的に活用し、行政サービスの維持・充実を図るべき」が最も多い。
- ・「5. 歳入が減る中で、行政サービスが多少することは仕方がない」は、高齢層になるほど割合が高くなる傾向にある。

居住地別傾向



- ・男性女性ともに、「3. 民間や市民団体等を積極的に活用し、行政サービスの維持・充実を図るべき」(旧黒部市 30.9%、旧宇奈月町 25.7%) が最も多く、次いで「4. 市民が参画・協力することで、行政サービスの維持・充実を図るべき」(旧黒部市 16.7%、旧宇奈月町 16.6%) となっている。

13) 黒部市の将来像 (問21) 全体傾向

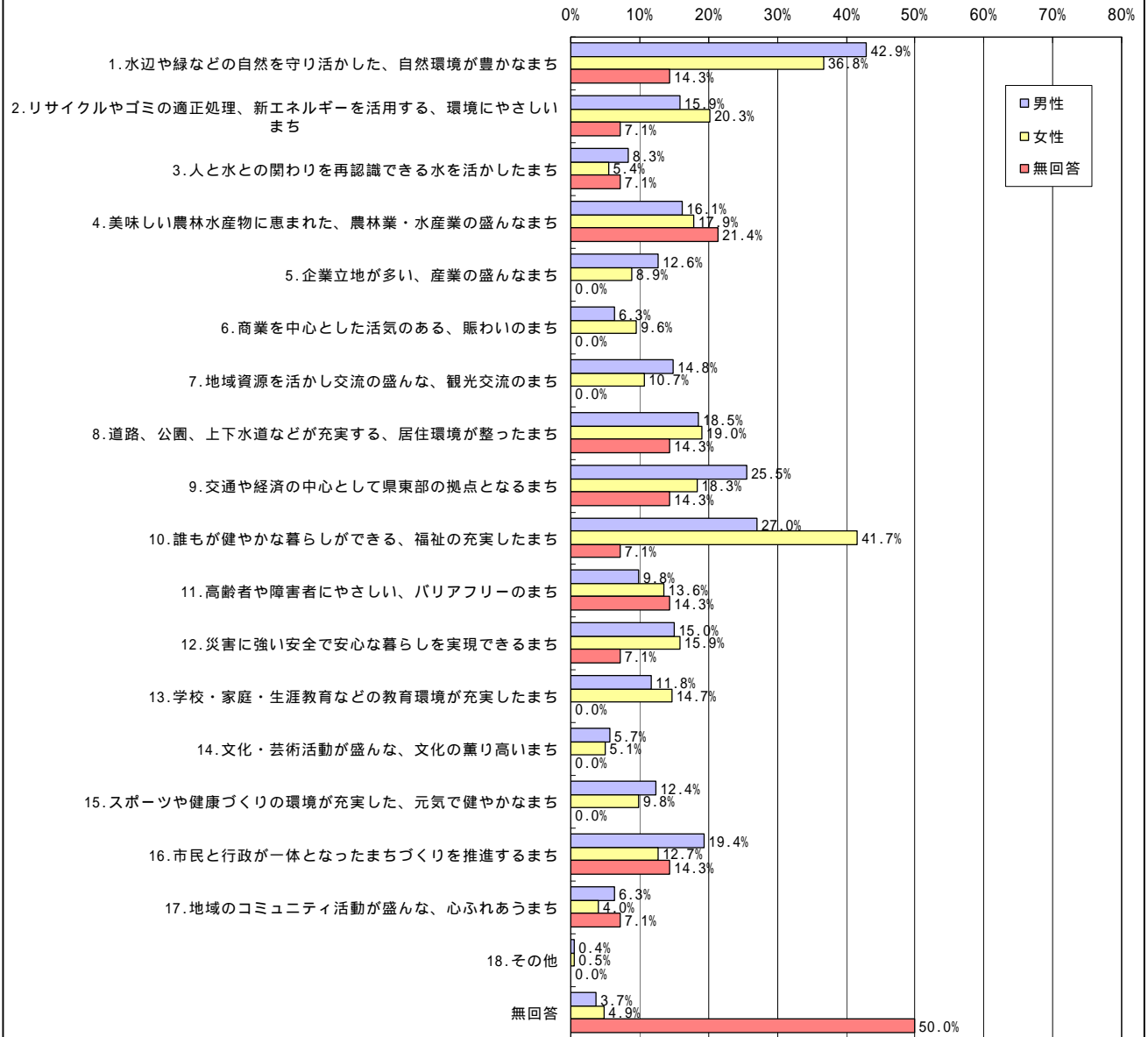


	1位	2位	3位	4位	5位
全体	1. 水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち	10. 誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち	9. 交通や経済の中心として県東部の拠点となるまち	8. 道路、公園、上下水道などが充実する、居住環境が整ったまち	2. リサイクルやゴミの適正処理、新エネルギーを活用する、環境にやさしいまち
	39.2%	34.6%	21.5%	18.7%	18.1%

・「1. 水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち」が 39.2%と最も多く、次いで「10. 誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち」が 34.6%、「9. 交通や経済の中心として県東部の拠点となる」が 21.5%となっている。

性別傾向

問21. 黒部市の将来像として、どのようなイメージを目指すべきだと思いますか？ 【性別】



性別	1位	2位	3位	4位	5位
男性	1. 水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち	10. 誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち	9. 交通や経済の中心として県東部の拠点となるまち	16. 市民と行政が一体となったまちづくりを推進するまち	8. 道路、公園、上下水道などが充実する、居住環境が整ったまち
	42.9%	27.0%	25.5%	19.4%	18.5%
女性	10. 誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち	1. 水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち	2. リサイクルやゴミの適正処理、新エネルギーを活用する、環境にやさしいまち	8. 道路、公園、上下水道などが充実する、居住環境が整ったまち	9. 交通や経済の中心として県東部の拠点となるまち
	41.7%	36.8%	20.3%	19.0%	18.3%

- ・性別順位では、男性女性ともに「1.水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち」「8.道路、公園、上下水道などが充実する、居住環境が整ったまち」「9.交通や経済の中心として県東部の拠点となるまち」「10.誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち」の4項目が5位までに入っている。

性別格差がみられる項目

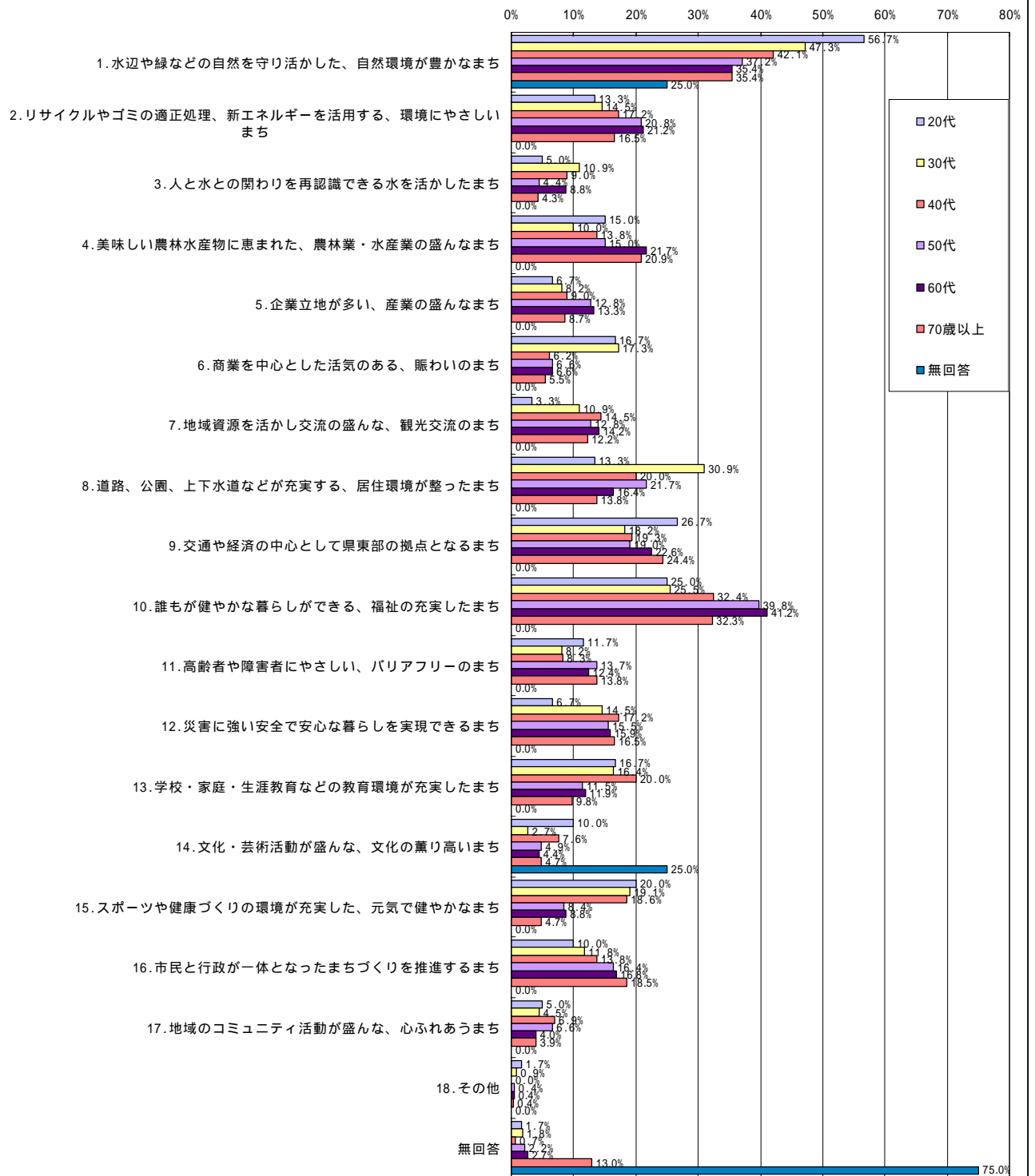
- ・「1.水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち」(男性42.9%、女性36.8%)
「9.交通や経済の中心として県東部の拠点となるまち」(男性25.5%、女性18.3%)「16.市民と行政が一体となったまちづくりを推進するまち」(男性19.4%、女性12.7%)は、男性の方が高い割合となっている。
- ・「10.誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち」(男性27.0%、女性41.7%)は、女性の方が高い割合となっている。

性別格差が小さい項目

- ・「4.美味しい農林水産物に恵まれた、農林業・水産業の盛んなまち」「8.道路、公園、上下水道などが充実する、居住環境が整ったまち」「12.災害に強い安全で安心な暮らしを実現できるまち」「14.文化・芸術活動が盛んな、文化の薫り高いまち」は、性別による格差が小さい。

年齢別傾向

問21. 黒部市の将来像として、どのようなイメージを目指すべきだと思いますか？ 【年齢別】



年 齢	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
20 代	1.水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち	9.交通や経済の中心として県東部の拠点となるまち	10.誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち	15.スポーツや健康づくりの環境が充実した、元気で健やかなまち	6.商業を中心とした活気のある、賑わいのまち
	56.7%	26.7%	25.0%	20.0%	16.7%
30 代	1.水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち	8.道路、公園、上下水道などが充実する、居住環境が整ったまち	10.誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち	15.スポーツや健康づくりの環境が充実した、元気で健やかなまち	9.交通や経済の中心として県東部の拠点となるまち
	47.3%	30.9%	25.5%	19.1%	18.2%
40 代	1.水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち	10.誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち	8.道路、公園、上下水道などが充実する、居住環境が整ったまち	13.学校・家庭・生涯教育などの教育環境が充実したまち	9.交通や経済の中心として県東部の拠点となるまち
	42.1%	32.4%	20.0%	20.0%	19.3%
50 代	10.誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち	1.水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち	8.道路、公園、上下水道などが充実する、居住環境が整ったまち	2.リサイクルやゴミの適正処理、新エネルギーを活用する、環境にやさしいまち	9.交通や経済の中心として県東部の拠点となるまち
	39.8%	37.2%	21.7%	20.8%	19.0%
60 代	10.誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち	1.水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち	9.交通や経済の中心として県東部の拠点となるまち	4.美味しい農林水産物に恵まれた、農林業・水産業の盛んなまち	2.リサイクルやゴミの適正処理、新エネルギーを活用する、環境にやさしいまち
	41.2%	35.4%	22.6%	21.7%	21.2%
70 歳以上	1.水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち	10.誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち	9.交通や経済の中心として県東部の拠点となるまち	4.美味しい農林水産物に恵まれた、農林業・水産業の盛んなまち	16.市民と行政が一体となったまちづくりを推進するまち
	35.4%	32.3%	24.4%	20.9%	18.5%

- ・年齢順位では、全ての年齢層で「1.水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち」「9.交通や経済の中心として県東部の拠点となるまち」「10.誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち」の3項目が5位までに入っている。

年齢格差がみられる項目

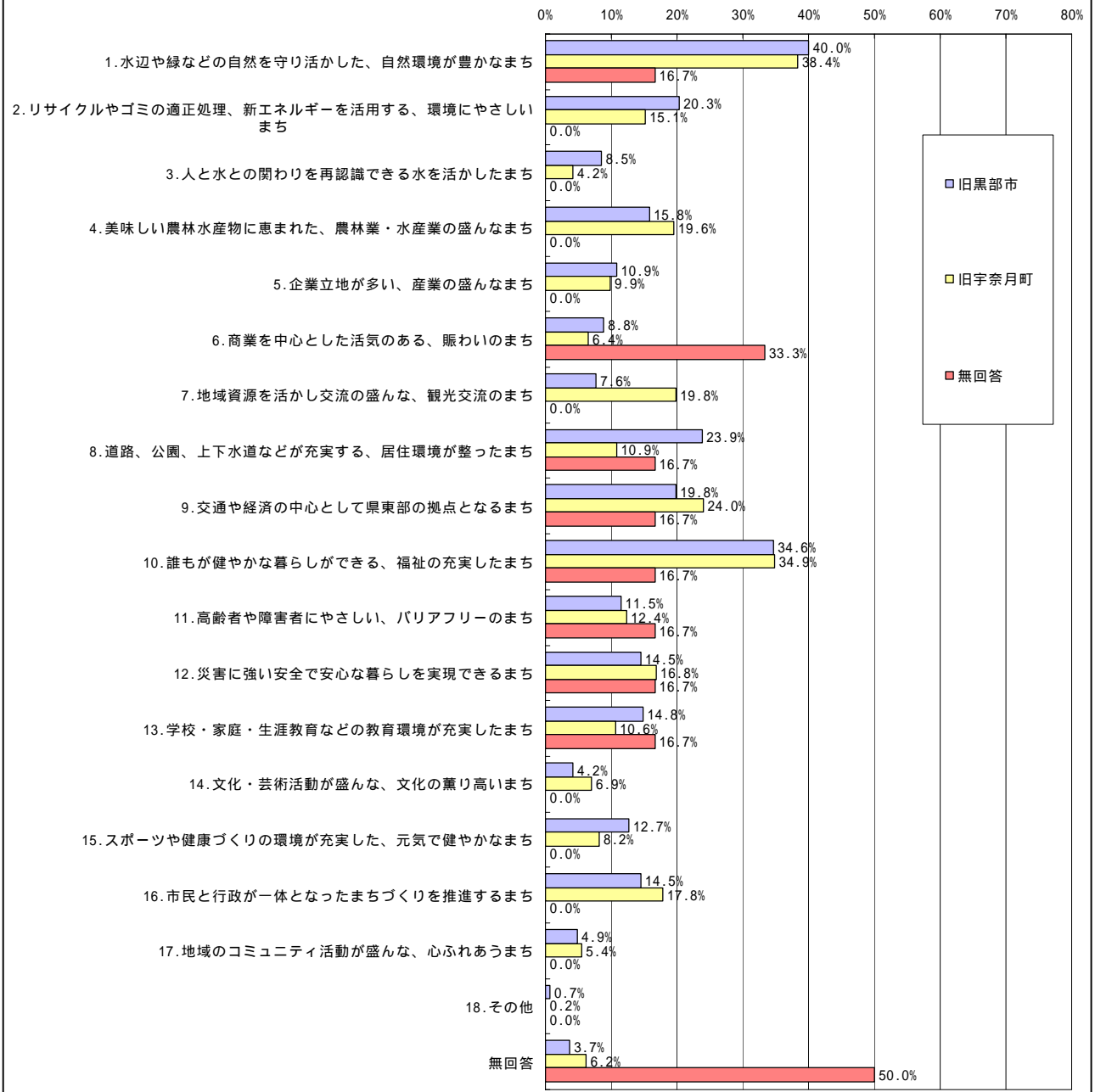
- ・「1.水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち」「13.学校・家庭・生涯教育などの教育環境が充実したまち」「15.スポーツや健康づくりの環境が充実した、元気で健やかなまち」は、若年層になるほど高い割合となる傾向がある。
- ・「10.誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち」「16.市民と行政が一体となったまちづくりを推進するまち」は、高齢層になるほど高い割合となる傾向がある。

年齢格差が小さい項目

- ・「11.高齢者や障害者にやさしい、バリアフリーのまち」「14.文化・芸術活動が盛んな、文化の薫り高いまち」「17.地域のコミュニティ活動が盛んな、心ふれあうまち」は、年齢による格差が小さい。

居住地別傾向

問21. 黒部市の将来像として、どのようなイメージを目指すべきだと思いますか？ 【居住地別】



居住地	1位	2位	3位	4位	5位
旧黒部市	1.水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち	10.誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち	8.道路、公園、上下水道などが充実する、居住環境が整ったまち	2.リサイクルやゴミの適正処理、新エネルギーを活用する、環境にやさしいまち	9.交通や経済の中心として県東部の拠点となるまち
	40.0%	34.6%	23.9%	20.3%	19.8%
旧宇奈月町	1.水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち	10.誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち	9.交通や経済の中心として県東部の拠点となるまち	7.地域資源を活かし交流の盛んな、観光交流のまち	4.美味しい農林水産物に恵まれた、農林業・水産業の盛んなまち
	38.4%	34.9%	24.0%	19.8%	19.6%

- ・居住地順位では、旧黒部市、旧宇奈月町ともに「1.水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち」が1位、「10.誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち」が2位となっている。「9.交通や経済の中心として県東部の拠点となるまち」は旧黒部市の5位、旧宇奈月町の3位となっている。

居住地別格差がみられる項目

- ・「2.リサイクルやゴミの適正処理、新エネルギーを活用する、環境にやさしいまち」(旧黒部市 20.3%、旧宇奈月町 15.1%)「8.道路、公園、上下水道などが充実する、居住環境が整ったまち」(旧黒部市 23.9%、旧宇奈月町 10.9%)は、旧黒部市のほうが高い割合となっている。
- ・「7.地域資源を活かし交流の盛んな、観光交流のまち」は、旧宇奈月町の方が高い割合となっている。

居住地別格差が小さい項目

- ・「1.水辺や緑などの自然を守り活かした、自然環境が豊かなまち」「5.企業立地が多い、産業の盛んなまち」「10.誰もが健やかな暮らしができる、福祉の充実したまち」「11.高齢者や障害者にやさしい、バリアフリーのまち」「17.地域のコミュニティ活動が盛んな、心ふれあうまち」は、居住地による格差が小さい。